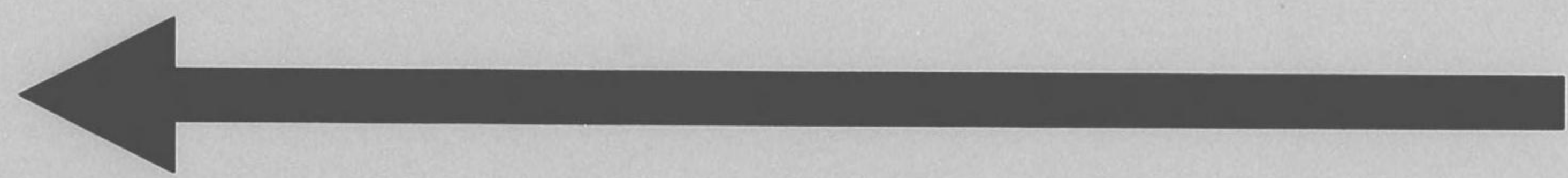


始



景滕之本目

401
49

Ⓜ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5

景勝之本日

觀美國帝名一

所纂編史地國帝

行 印



秀素

高雅

高洁



掌中萬里觀光
風里中

五言保書

親筆

子之

Constantine

John

John

John

John

徳人の

兄

あかあか

あかあか

あかあか

序

予友小泉墨城奇行之士也。生平埋頭於圖書堆裏，著述以自娛，倦則一劍飄々，出遊於四方，披襟於海山之巔涯，縱神於洪荒之際，以遣其鬱抑，往々浹旬而歸，所過溪山，必攝影之，一水之奇，一石之幽，不敢等閒視也。是以芒鞋已徧於八道，而名邑大都窮山絕海，若宏社巨刹廢墟荒城，皆集中之於其書樓，一窓之下，坐以得觀天下之奇勝矣。予一日訪子於其澗涯寓居，墨城手方批放翁劍南集，顧而晤曰：放翁云，四海道途行大半，百年光景近中分，我今三十又六歲，雖百年未至中分，轍纔止於蜻州之一半，不能遠聚宇內之勝概，與之同棲，歲月騁馳而宿志未遂，爲之遺憾也。予聽而壯之，曰：子今徧撮海內之奇秀，俱同其起臥，快則快矣，雖然，子獨專其快，是私天下之溪山者，不如付之剗劂，使天下同好之士，俱與享其快，是豈非快之大者耶？墨城曰：我邦今無車轍不通之地，奇勝未必須剗劂，特海外士女耳。我邦之勝概，而未見其真景者，比々皆然，教之知悉，我邦之山川古蹟風土物產等，於國際上，或不爲無所裨補也。予倍奇之，遂懲憊其事，使附地誌刊行焉。及稟成，錄當日之談柄以爲序。

明治三十有五年初冬念之

帝國地史編纂所長

從七位勳六等 黑阪芳七郎

緒言

本書出版の目的は既に自序に明記せる如く、而して其の計畫の頗る大あるが爲めに私かに收局に焦慮すること尠からざりしに、大に江湖の賛同を得たると、名士大家の助力に頼り、豫想外の好結果を得て、しかも期日以前に發刊することを得たるは、深く本書の榮譽とする所にして、亦本所が誇張する所とす。

本書に收むる所の寫眞は、五畿八道より臺灣、琉球に涉り、其の天然の風景、著名の舊蹟と共に、模範とすべき建造物、及び内外に對し極めて確實にして最も信用ある所の會社、商店、工場等に及べり、而して和英兩文を以てその説明沿革を附せり、今や東西交通頻繁の時に際し、之を内外に紹介するは最も必要ありと信ずるものあり。

今茲に本書の主用を略列するに、詩人は此書に仍りて以て宇宙の妙を歌ふの料とあすべく、畫工は由つて以て天地の美を畫くの材とあすべく、令嬢は居らして東西の勝景を探り、以て大に美的情操を養ふべく、學生は地理歴史の参考とあし、以て科學的智識を確實にすべく、兒童は見て以て英雄往年の跡を慕ふべく、貴紳の應接所に備へては、以て來賓の徒然を慰むべく、名社古刹は一朝祝融に遭ふも、以て舊規遺模を保全し得べく、旅行者は以て名所舊蹟の指導に頼むべく、更らに竿頭一步を進めて之れを交際場裡の要具とあし、家庭教育の資料とあすに至りては、其實益の偉大ある蓋し鮮少にあらざるあり。

行文は極めて簡潔明瞭あるを期し、漫りに形容の文字章句を以て佳趣雅味を弄することを爲さず、又其の眞を誤らざらんことを期すればあり。

本書の編纂に就て特に便宜を與へられたるは左の諸氏ありとす、こゝに特筆してその好意を謝す。

公 爵	近衛篤磨君	伯 爵	東久世通禧君
農商務大臣	平田東助君	男 爵	澁澤榮一君
從三位	村田保君	勳四等	大谷嘉兵衛君
五二會頭	前田正名君	大阪府知事	高崎親章君
前大阪府知事	菊池侃二君	大阪市長	鶴原定吉君
工學博士	平賀義美君	大阪商船會社長	中橋徳五郎君
	光村利藻君	從五位	土居通夫君
審査總長	大鳥圭介君		兼松房次郎君
	範多龍太郎君	京都府知事	大森鐘一君
	松本重太郎君	京都市長	内貴甚三郎君
	藤田傳三郎君	ナヤルス、フアブル、ブランド君	トリリス、ドラム君
		シル	アルブレクト君
		ジ、グリーソン君	フリッツ、エス、ブラシユ君
		ダニエル君	ゼ、パ、ン君
		アグチス、モルガン君	トリリス、ドラム君
		デ、ロバート君	ヂ、チャプマン君
		シヨウナウス君	ブラツシユ君
		ワイ、ウオルフ君	エム、エル、バルレン君

有名なる勝區名境にして本書に收むること能はざるもの
猶多く、更に冊を重ねて漸次網羅せんことを期するあり。
各地の社寺、名所、舊蹟、會社、商店等にして本書に掲載を申込
まれたるもの頗る多きも紙數限あり止を得ず謝絶せしもの
あり、是等は再版の時を待て蒐録すべく、只會社、商店等に
於て其信用疑はくきものは總て掲載を謝絶せり、見る者其
意を諒せられんことを希ふ。

のあり是等は再版の時を待て、
於て其信用疑はくきものは總て掲載を謝絶せり、見る者其
意を諒せられんことを希ふ。

舊内裏御所

(京都)

明治維新に入り都を東の空に遷させ給ひく以前の皇居は、京都御苑と稱する舊九門内の中央に位す、現時の御所は、孝明天皇の御宇安政二年の御造營にして、宸宮雲深く御溝水清く、人をして覺えず容を整へ襟を正さくむ。

CASTLE NIJYŌ.

Castle Nijyō is situated few distance south-east of the Imperial Palace in Kyōto, which built by Nobunaga, a commander, in A. D. 1569. Unfortunatry it was burned during fight of Nobunaga and Mitsuhide, but was rebuilt by Iyeyasu in 1602.

The Imperial Residence at Kyōto.

Fomer Palace is destroyed by fire, but present Imperial Residence was rebuilt in 1855. The entire space of ground is occupied by the public park now, the interior portion contained the *Shishū-den*, which were arranged the various structures pertaining to the Imperial Family and the Court.

今出川通に達す、四方石壘を築き芝草を伏せ、花卉を交植す、面積凡そ貳拾五萬餘坪といふ、昔は外廓内に於て皇族をはじめ攝家清華の公卿に多くは其の邸第を興へられしが遷都と共に廢地に歸し、今や樹木を移し栽えて遊園地となし御苑と呼べり。

御所は南門を以て其の正門とし、建禮門といふ、門内更に宮垣を遶らして瑞氣飄颻たるは紫宸殿なり、承明、日華、月華の三門より階下に通すべく、清涼殿内侍所、清所、常御殿、御學問所、小御所、女院御殿、二對屋、一對屋、かどの宮殿は、雲を列ねたりと雖も固より九重雲深くして、芥臣の窺ひ得べきにあらざるなり。

御苑内に於て昔の偲ばるゝものは、後水尾法皇の御愛樹なりし車返しの櫻と、後光嚴帝の愛でさせ給ひし紅梅とあり、其の他櫻の馬場の糸櫻、九條家の庭園、及び藤波家の跡ある紫藤等、すべて風光の幽邃にして、布置の雅趣に富

める、低回去る能はざらむ、而して建造物の最なるは仙洞御所、大宮御所、久邇宮の御殿、主殿、寮出張所、京都博覽會々場、測候所、京都美術工藝學校等に於て、京都停車場より三十町餘とす。

京師

廣瀬 旭莊

奠鼎千秋又万秋。西人莫訛夏商周。叡山北峙皇基固。
鴨水南通王化流。滿地伽籃多古跡。一天烟雨入春秋。
佛威更助昇平觀。輻湊扶桑六十洲。

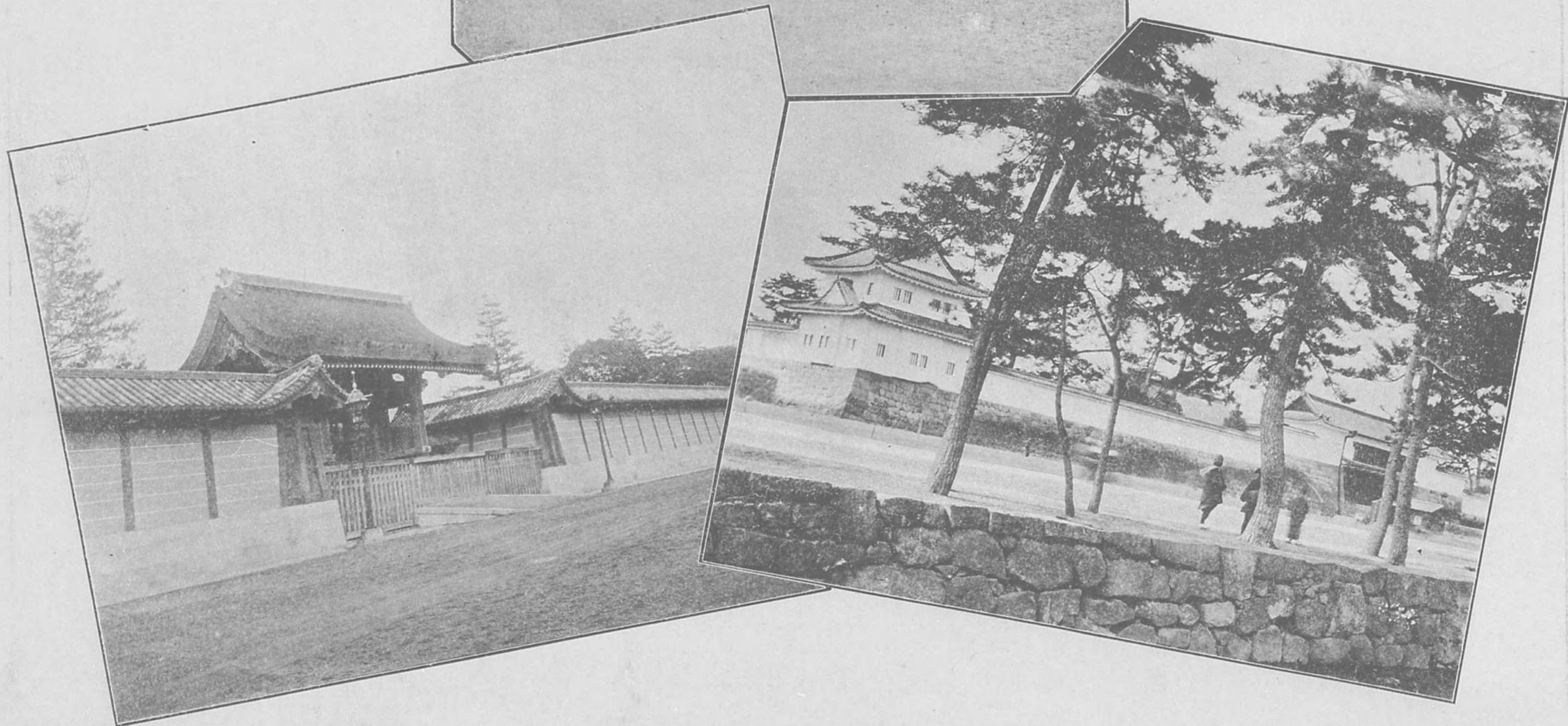
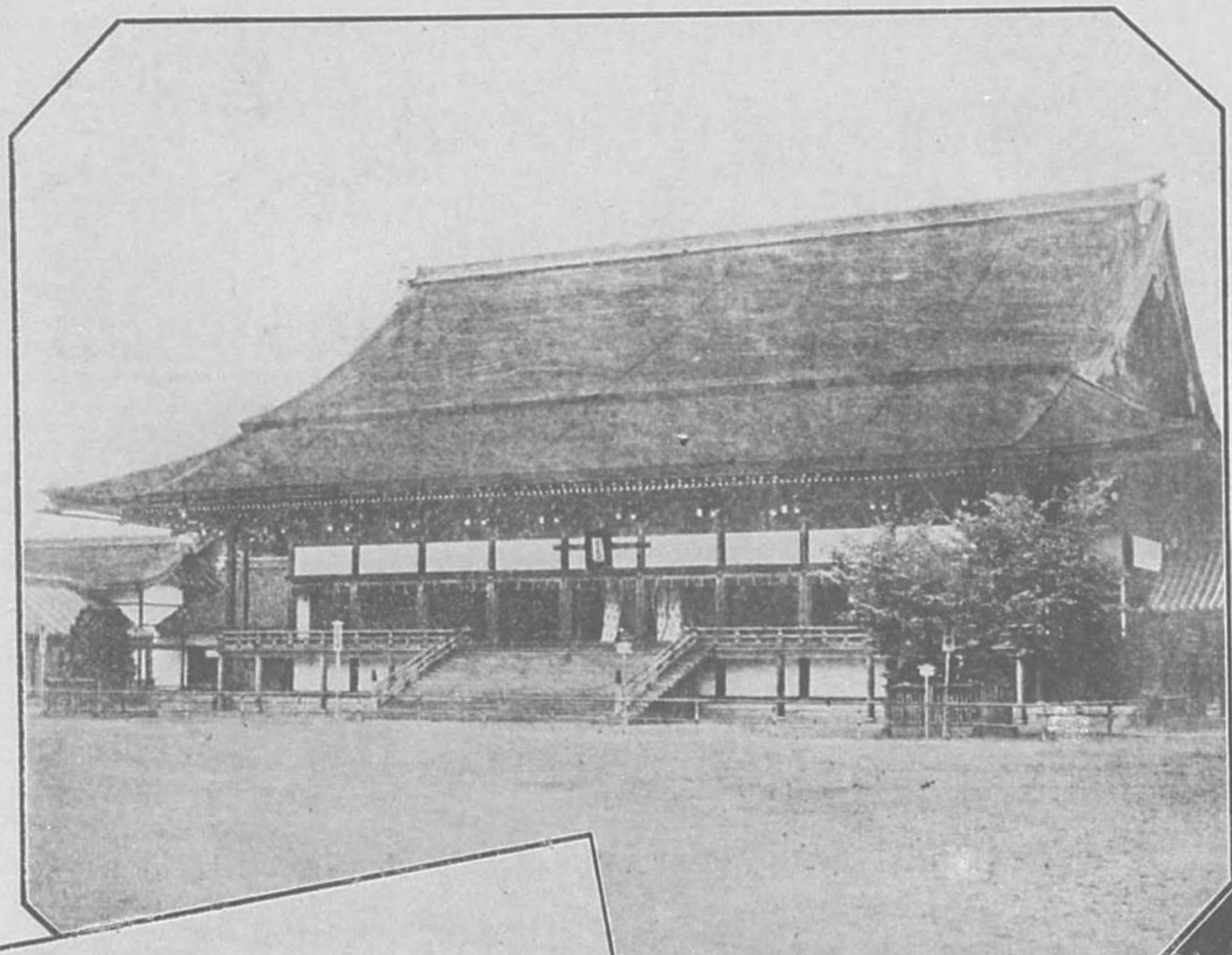


める、低回去る能はざらむ、而して建造物の最なるは仙洞御所、大宮御所、久邇宮の御殿、主殿、寮出張所、京都博覽會々場、測候所、京都美術工藝學校等にして、京都停車場より三十町餘とす。

京師

廣瀬旭莊

奠鼎千秋又万秋。西人莫詫夏商周。叡山北峙皇基固。
鴨水南通王化流。滿地伽籃多古跡。一天烟雨入春秋。
佛威更助昇平觀。輻湊扶桑六十洲。



(都京) 門南所御、殿宸紫、城條二
Castle Nijō, Former Palace Shishinden, Southern Gate of Palace Kyōto.

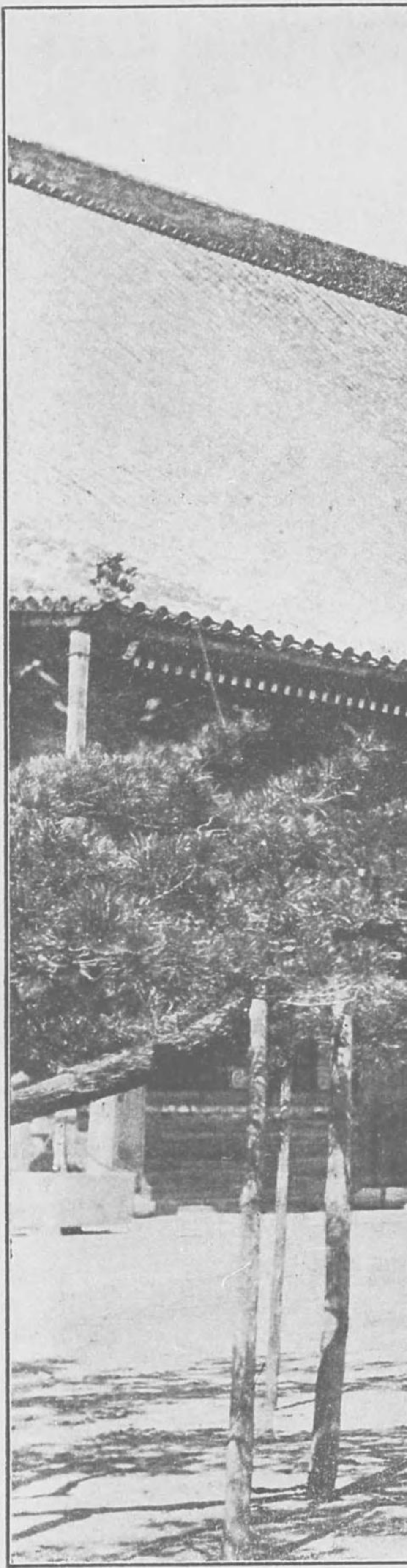
西本願寺

(京都)

京の七條通り堀川の邊りに嚴めき一區を成せるもの即ち西本願寺にして實に本願寺の本派あり域内壯肅にして堂閣の結構極めて宏大到全國各地の信徒毎歲來りて堂前に頽拜するもの幾千萬の多きに上る一見以て如何にその渴仰の盛なるかを知るべきなり抑も本寺創立の由緒は今より六百三十年以前 龜山天皇文永九年親鸞上人の女覺



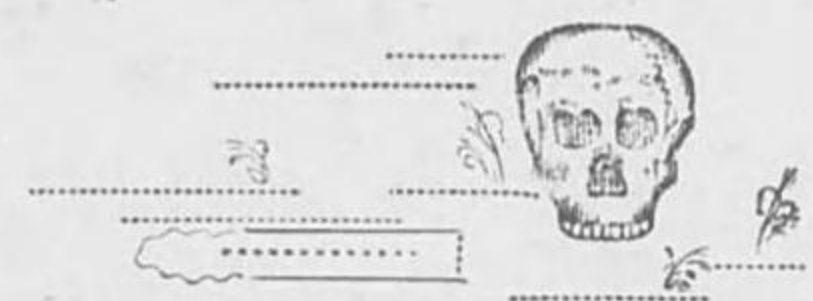
(都京) 寺願本西
Nishihonganji, Temple, Kyōto.



西本願寺

(京都)

京の七條通り堀川の邊りに嚴めき一區を成せるもの即ち西本願寺にして、實に本願寺の本派あり、城内壯肅にして堂閣の結構極めて宏大に、全国各地の信徒毎歲來りて堂前に類拜するもの幾千萬の多きに上る、一見以て如何にその渴仰の盛なるかを知るべきなり、抑も本寺創立の由緒は今より六百三十年以前、龜山天皇文永九年、親鸞上人の女覺信尼始めて救許を蒙り、上人の廟を今の智恩院の境内に營み、世に稱するどころの骨肉の像を安んぜしが、爾來戰亂相絶たざりより、各所に



移轉してこれを避け、天正十九年第十一世顯如上人の時に至り、地を茲に卜して佛閣を建立し、攝州天滿より移して安置崇敬せりと、現今本堂に安んずるところの本尊は即ちこの骨肉の像なりとす、爾來傳燈いよいよ炳然として絶ゆることなく、眞宗大本山としてその名を内外に發揚するに至れり、寺域凡そ二万八千餘坪、本堂、阿彌陀堂、轉輪藏、集會所、鐘樓、鼓樓等あり、その鼓は大和の西大寺に藏せしもの、その鐘は太秦の廣隆寺に懸りしもの、いづれも稀世の珍とする所なり、城内殿舎の最あるものは白書院、黒書院、開明院、續春院、桃仙館、永安館、寅の間、波の間、對面所等にして、その結構の美ある紙筆の能く盡すべきにあらず、而

NISHI-HONGWAN-JI.

This edifice is the central temple of the Western Branch of the great Buddhism sect. It is in Kyōto, on Shichijō, a little west of the railway station. In the main hall, there is shown an image of Amida, carved by Shinran, the founder of the sect. It is said that certain bones of Shinran were pulverised and mixed with the lacquer with which the image is covered.

In one of the buildings is hung a bell reported to have been removed from Kōryū-ji, a shrine at Udzumasa, a little west of Kyōto. Connected with the temple is a beautiful garden, in which there is a building of three stories, transferred from Hideyoshi's palace at Momoyama, Fushimi. It is called *hium-kaku*, or Temple of the Flying Clouds. It is said that the Nishi-Hongwan-ji is visited by several hundred thousand worshippers each year.

して名高き滴翠園は集會所の東にありて

黄鶴臺、滄浪池、龍背橋、嘯月坡、踏花場

醒眠泉、青蓮樹、胡蝶亭、夜光石、艷雪林

の十勝を數じ、春花秋月、夏夕冬晨、緩遊の間、自から仙寰にあるの思ひあらむ、その傍に飛雲閣あり、三層の高閣にして、曾て豊太閤の聚樂の邸にありしものを賜はりしかりといふ、泉石の清趣に富める、風月の佳景を縦にする、眞に人間の極樂淨土を占有せしものと謂ふべきなり。

大極殿 (京都)

TAIKYOKU-DEN.

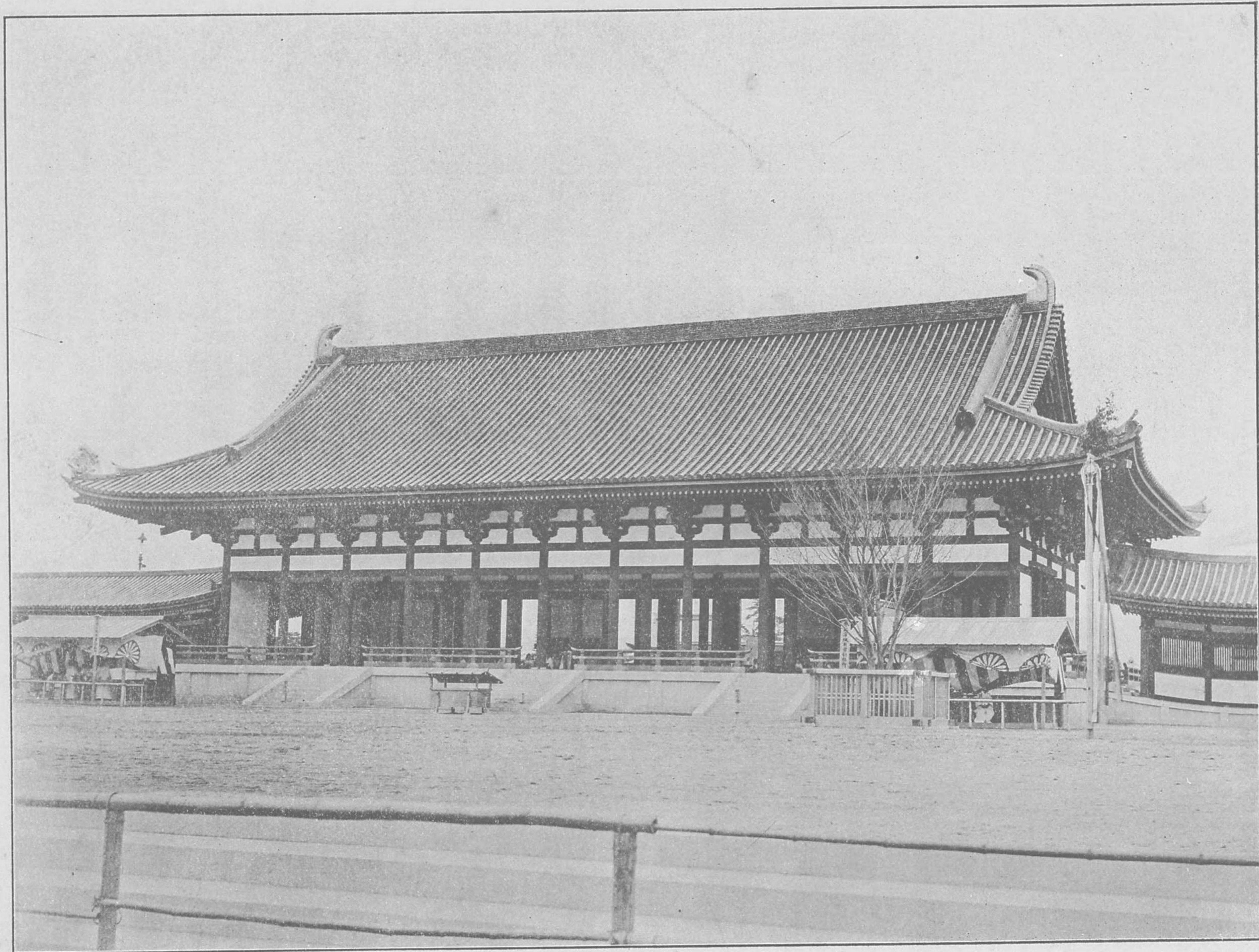
Taikyoku-den is a imitation buildings of the palace which was erected the time of Kyōto Exhibition in 1895, and a Thousand years festivities of Emperor Kwammu. It is said to can not comparably with formally one.

The shrine Heian is noted as site of the Emperor Kwammu, and buildings are made by timbers of quality, it is stands backward of the Taikyoku-den.

桓武天皇奠都一千百年の紀念祭を、明治二十八年の春に擧げたる京都市が、その儀典をて更に華麗からしめ、紀念をて長へに存留せしめんとて、地を洛東聖護院の東にトして、模造大極殿を作りたり。前には疏水運河の水を引き、三方は東山の翠を圍らし、その形勝實に當年の觀に勝れりといふも不可かきなり。
巍々たる應天門に入れば、右に棲鳳左に白虎の二樓あり。綠豊朱楹繪くが如く、金銅の鷄尾高くなり、東山の翠微に映じ、雄麗壯大なり。石砦一道寸埃を留めず、走つて龍尾壇に至りて、大極殿に達す。歩廊閣廊徐やかに左右に

度る、人をして舊時の盛觀を想はしむ。
規模此の如く宏壯なりといへども、これを往時の大極殿に比すれば、結構その半にも及ばずと聞く。昔はこの棲鳳、白虎の二樓の外に更に蒼龍、翔鸞の二樓、北安殿、東西の朝集堂、康樂堂等あり、應天門の外に更に昭慶、重慶、章善、政宣の四門あり。そのの偉麗なりしを知るべきなり。
大極殿の後背に平安神宮あり、桓武天皇を祀れる官幣社とす。神殿は白木造檜皮葺にして、清々しく神苑これを廻り、その北に蒼龍池、白虎池あり、樹木枝を垂れ葉を重ね、而して大極殿はその拜殿に供せらる。その東北に隣りて博覽會場の一部及び美術館を存し、毎年新古美術展覽會を開けり、その南面には武徳殿あり。前面を一帶に短芝生ひ茂り、一の園園をなせり。遊觀には得難き場域ありとす。





(都京) 殿極大
Taikyoku-den, Palace, Kyōto.

りくごその偉麗なりしを知るべきなり。
大極殿の背後に平安神宮あり、桓武天皇を祀れる官幣社
とす、神殿は白木造檜皮葺にして清々しく神苑これを廻り
その北に蒼龍池、白虎池あり、樹木枝を垂れ葉を重ね而して
大極殿はその拜殿に供せらるその東北に隣りて博覽會場
の一部及び美術館を存し、毎年新古美術展覧會を開けり、そ
の南面には武徳殿あり、前面を一帶に短芝生ひ茂り、一の園
面をなせり、遊觀には得難き場域ありとす。

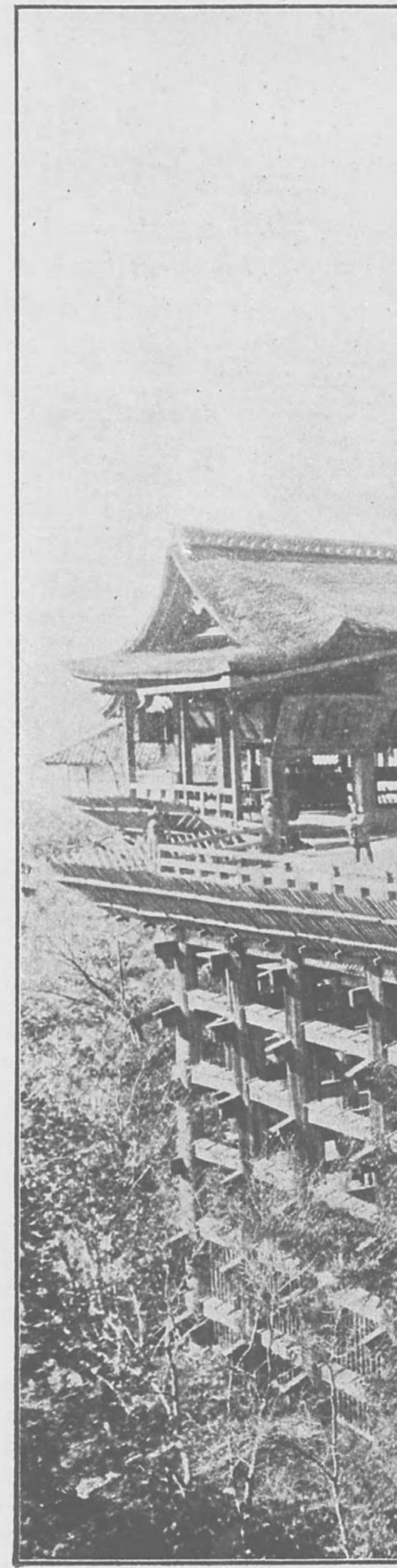
清水寺

(京都)



(都京) 寺水清
Kiyomizudera, Temple, Kyōto.

京都東山第一の靈場として指を屈するものは清水寺なりとす、音羽山と號して清水坂の東端に位せり。
按ずるに、光仁天皇の寶龜年中僧延鎮なる者木津川の水源に溯りて、異人行叡居士に邂逅、其の草庵に代住すること五年、延曆二年坂上田村曆の獵するに會し、翌年相謀りて此地に堂宇を創建し、北觀音寺と號



清水寺

(京都)

京都東山第一の靈場として指を屈するものは清水寺なりとす、音羽山と號して清水坂の東端に位せり。

按ずるに 光仁天皇の寶龜年中僧延鎮なる者木津川の水源に溯りて、異人行叡居士に邂逅し其の草庵に代住すること五年、延曆二年坂上田村曆の獵するに會し、翌年相謀りて此地に堂宇を創建し北觀音寺と號せり、桓武帝の時一たび殿舎を田村曆に賜ひて堂宇を修營し、平城帝の時更に紫宸殿を賜はりて大に土木を起し翌年に及びて竣工せりと、以てその結構の雄偉に輪奐の壯大なるを知るべし。

本堂は懸崖に架して立ち、その前に舞臺を設けたり、本尊は長け八尺十一面四十臂の觀音にして化人の作なりと傳ふ、その兩壇の脇士は所謂勝敵毘沙門と勝軍地藏とにして、田村將軍が東夷を征せし時、本尊と共に常に陣頭に現はれたる靈像にして、今も處々に箭痕を印せりといふ。

境内名勝の最なるものは、田村曆、行叡居士、延鎮法師の像を安んずる田村堂、延鎮住居の舊蹟たる奥の院、法然上人が念佛三昧開闢の處たりし阿彌陀堂、維新の偉人月照上人の住せし成就院、その他音羽の瀧は塵俗の臭を洗ふべく、爪形觀音は景清の人と爲りを想はしむ、鼻の水、轟の橋一として其の名を傳へざるはなし。

The Buddhist Temple, Kiyomidzu.

Kiyomidzu Temple is situated in east of an ascent Kiyomidzu, and it is founded by Enchin, a priest, many years after it was rebuilt by the Emperor Kwammu and Heijyō. It is stand on the elevated ground and has a dancing hall in front of buildings, and its sight is very beautiful as wellknown.

若し舞臺に立て眺を縦まゝにすれば、淡路の諸山は雲烟の間に漂渺とし、河内の諸峯は糝糊の中に隠見す、臺下に設けし新高雄の如き櫻花紅葉共に勝遊に適して、亦景色を添ふるものといふべし。

清水寺拾詠 三節

層臺晴雪

江馬 天江

風收微雪歇。人倚九層臺。下界瑤林晚。寒鴉數點回。

深樹鶻聲

小林 卓齋

花落春山靜。深林愜野情。身非羈旅客。喜聽杜鶻聲。

塔尖斜月

長谷川秋水

曉雲微破處。輪缺影纖々。殘月似初月。眉尖補塔尖。

智恩院

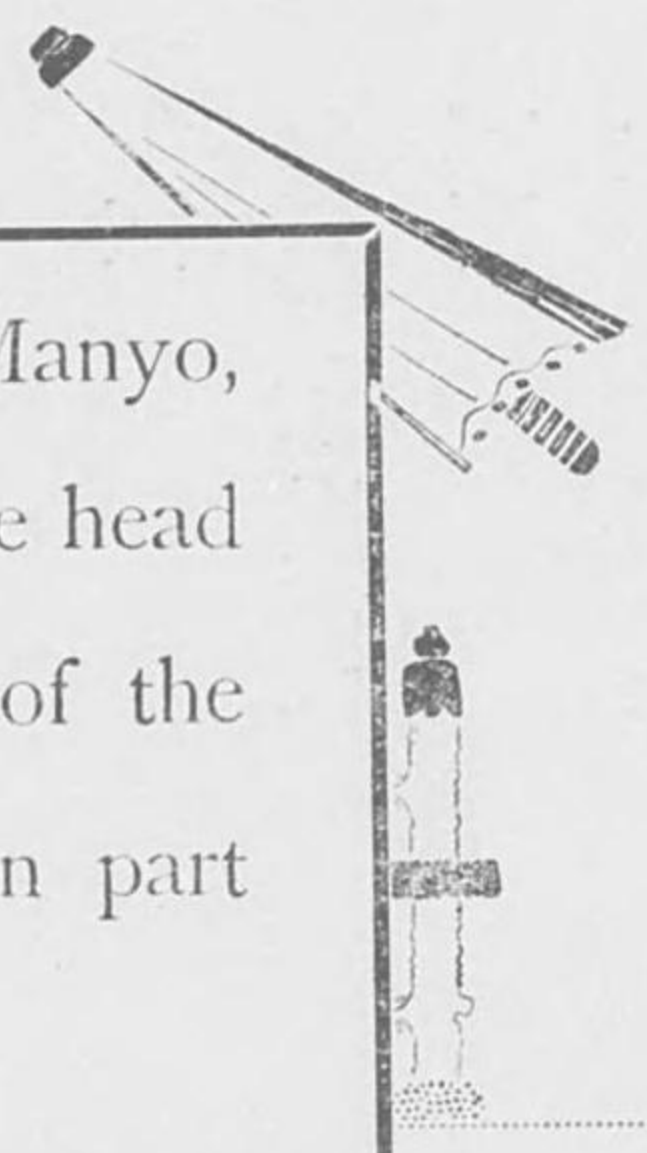
(京都)

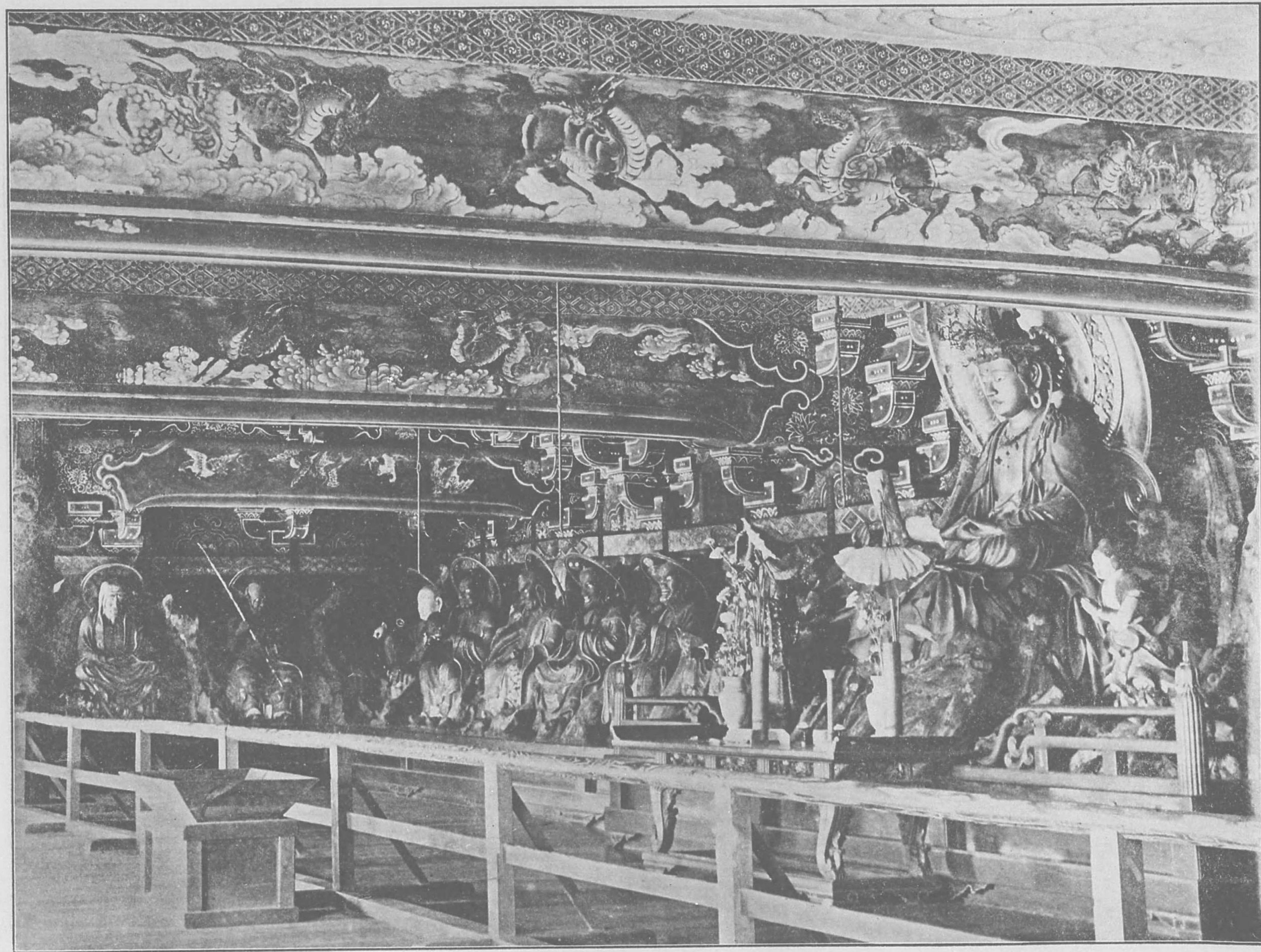
京都圓山の公園に隣り、東山第一の巨刹として京名勝の隨一に數へらるゝ智恩院は、實に淨土宗鎮西派の總本山にして華頂山大谷寺と稱せるもの是かり、山腹に寄りて淨域を開き、極めて廣濶に、極めて秀麗に、老樹その後方を擁し、前は開けて街市を臨むべし、本堂は東西二十二間五尺、南北十七間三尺五寸の大伽藍にして、徳川家康の命によりて滿譽和尚の造營せしものと傳ふ、表面に掲げたる大谷寺の額は、後奈良天皇の宸筆にして、世に名高き智恩院の傘は其の東南隅の檐に挿みしものなり、その他結構の偉麗なるは筆の盡す所にあらざるなり、本堂の背後より鶯のさゝ啼きする如き妙音を發する廻廊を渡りて方丈に通ずべし、寺僧に請はゞ導ひてその各室を觀せしむ、室内の廣き庭園の寂びたる、觀るべきものは多きが中にも襖の畫は多く狩野諸大家の筆になりしものにして、八方睨の猫、拔雀などは最も著名なるものなりとす。

本堂の東南ある山間に鐘樓あり、方四間にして有名なる洪鐘を懸ぐ、その高さ一丈八尺、直徑九尺にして、厚さ九寸五分ありといふ、寛永年間の鑄造に係れり、其の他本堂の背後に勢至堂、紫雲水、法然上人の廟など名蹟を以て稱するもの頗る多し、山門の下一帯の路傍には遍ねく櫻樹を栽う、春風駘蕩の日に至れば樹間各所に榻を設け亭を置き、以て雅俗觀花の客を引く、則ち常に幽寂を以て稱するの區も、忽ち喧鬧の巷とある、傳へ云ふ、此地元は南隣圓山の封域中にありしを、慈鎮和尚のときに至りて法然上人に割與せしものありと、地勢を按ずるにそれ或は然らん。

CHION-IN.

Chion-in was built by the priest Manyo, in the era of Iyeyasu. Chion-in is the head temple of the Chinzai Denomination of the Jōdo-sect. It is situated in the eastern part of the city Kyōto.





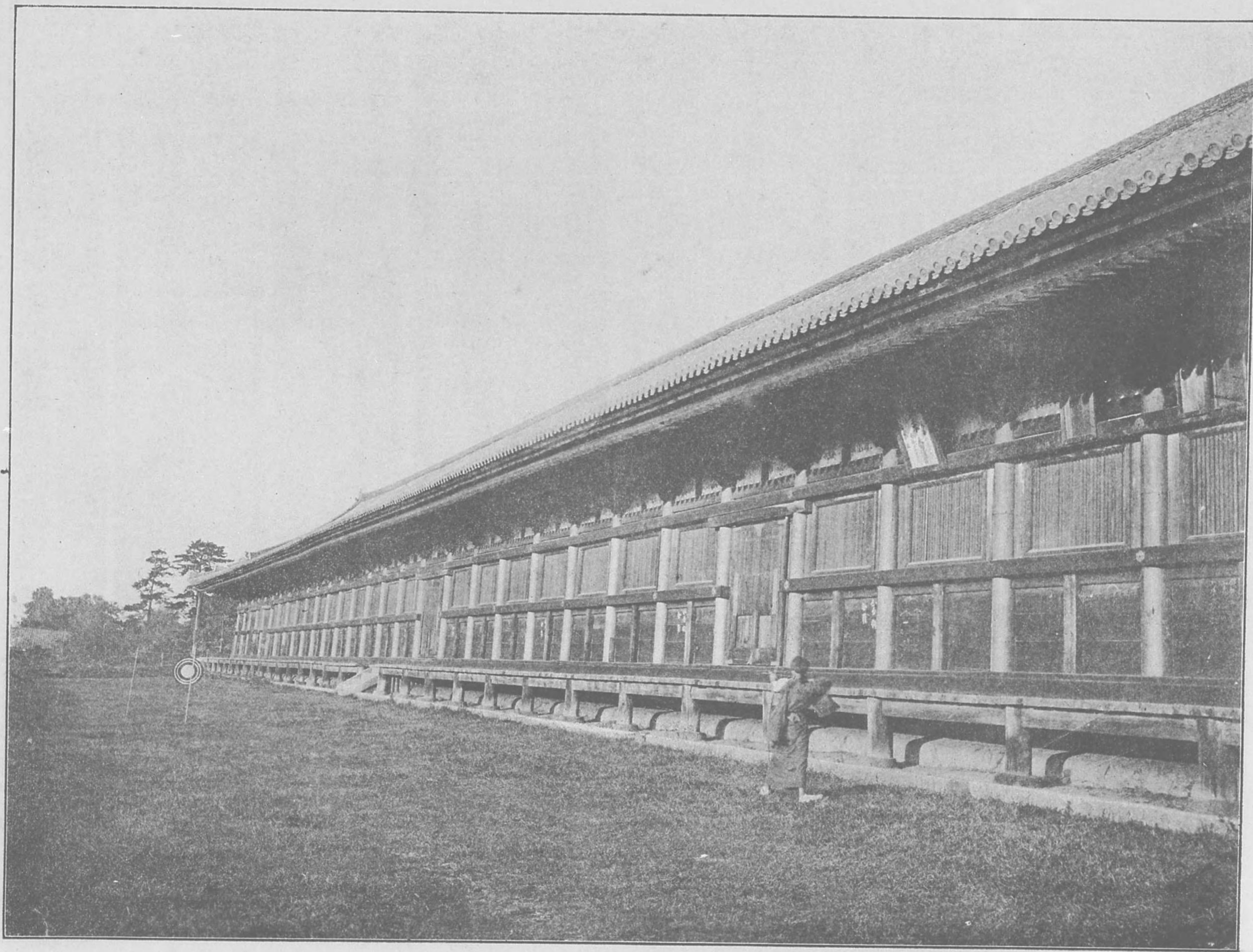
(都京) 陣内院恩智
Interior of the temple Chionin, Kyōto.

勢至堂、紫雲水、法然上人の廟など名蹟を以て稱するもの頗
 る多し、山門の下一帯の路傍には遍ねく櫻樹を栽う、春風駘
 蕩の日に至れば樹間各所に榻を設け亭を置き、以て雅俗觀
 花の客を引く、則ち常に幽寂を以て稱するの區も、忽ち喧鬧
 の巷どかる、傳へ云ふ、此地元は南隣圓山の封域中にあり、
 を慈鎮和尚のときに至りて法然上人に割與せしものあり
 と、地勢を按ずるにそれ或は然らん。

三十三間堂

(京都)

京都の古刹として、東山の名勝として稱揚せらるゝ三十三間堂は、加茂川の東、帝國博物館の南に隣り、天台宗にして蓮華王院と號せり。
寺傳に由るに初め、鳥羽上皇長承元年この地に三十三間堂を營築して、一千一軀の觀音を安置し給ふ、得長壽院とい



(都京) 堂間三十三
Sanjusangendō, Buddhist Temple, Kyōto.

三十三間堂

(京都)

京都の古刹として、東山の名勝として稱揚せらるゝ三十三間堂は、加茂川の東、帝國博物館の南に隣り、天台宗にして蓮華王院と號せり。

寺傳に由るに初め鳥羽上皇長承元年この地に三十三間堂を營築して、一千一軀の觀音を安置し給ふ、得長壽院といひは是かり、後に後白河上皇長寛元年別に又三十三間堂を建造して、一千一軀の觀音を安置し給ふ、蓮華王院とはこれかり、後八十四年を経て深草院の寶治二年中、兩堂ともに火災に罹りしかば、十八年の後に至り龜山院の文永三年再建の工を起し、一堂とて單に蓮華王院の號のみを存せりと。

現今の堂はその當時のまゝにして、今に至るまで實に六百八十年を経たり、南北の桁行六十六間にして、二間毎に一柱を立てたるに由り、これを三十三間堂と稱せしかり、本尊は八尺坐像の千手觀音にして、康慶の作といひ、左右の二十八部衆は、長け四尺にして亦有數の作と稱せり、別に内陣に列するところの千軀千手觀音こそ、俗にいふ三万三千三百三十三佛にして、丈け五尺ばかりの立像あり、運慶、湛慶の作かりとて世に稱せらる、これに本尊を合せて一千一軀の觀音と號けしかり。

堂後に射的場を設けて弓術演習のところとす、そのむかし武人の技を競ひし所にして、廻廊の楣間に歷々その狀を存せり、城内廣潤多く胡枝花を栽じ、亦賽人觀客の情を慰むるの料とす。

The Buddhist Temple Sanjusangendō.

The Temple is situated in eastern side of Kamo-river and south of the Imperial museum, and it belongs to Tendai sect. Its buildings is narrow and thirty three sections, and noted for site of one thousand and one Buddhas.



金閣寺

(京都)

金閣寺は京都名刹の一にして、地は葛野郡に屬し衣笠山の西麓に位せり、三條大橋を距ること一里二十三町とす、この地舊西園寺公繼の山莊に屬せしを、足利義滿請ひ得て金閣を築き優遊の所とせしが、後に寺とし鹿苑寺と號せり。

城内壹萬五千餘坪、老松鬱々四境を遶り幽寂にして且つ閑雅なるは蓋し此寺の獨得と謂ふべし、其の林泉の結構布置は當時義滿の聲威を以て妙技を凝らせしもの、其の巧緻なるは筆を俟たざるなり。

有名なる金閣は園の中央にありて三層より成る、天井、壁、勾欄など皆金箔を鏤めたるものなりといふ、今尙各處に金色を存す以て如何に當時の華美なりしかを想ひ見るべきなり、

下層は如來殿といひ又鏡堂ともいふ、中層は潮音洞にして上層は究竟頂と稱す、閣下に池あり鏡の如し鏡湖といふ、丸山八海石、夜泊石、赤松石、島山石等の奇石其の水面に浮點し、恰も游龜の落花を吹て出沒するが如し、岩下水、龍門瀧、鯉魚石等の勝は閣の北にあり、有名なる夕佳亭は少丘の上にあり、亭の床柱には周圍八寸許の南天燭樹を用ゐ、更に胡枝花の枝を以て違棚を編む、その雅致頗る稱すべし。

この庭園を縱覽せんと欲せば、先づ寺僧に請ふべし、寺僧は懇慫にその勝景を指點し且つ説明すること詳かにして、終に夕佳亭に引て茶を供す、亭の東門を出れば既に門前の馬場なりとす。

KINKAKU-JI.

This famous temple, in the north-western part of Kyōto, was originally built by Ashikaga Yoshimitsu in 1397 as a villa. It is especially interesting one, because both the building and the grounds around it is preserved as nearly as possible in the original form.

銀閣寺

(京都)

足利義政が閑居にして、その死後佛寺とし慈照寺と號せしところの銀閣寺は、上京區鹿ヶ谷の、北淨土寺町にあり、その銀閣と稱するは西山の金閣に對せし名にして、慈照と稱せしは、義政の法號を慈照院と號せしに依れり、寺内の東求堂は義政の持佛堂にして、義政の木像及び觀世音の像を安んず、義政の像は烏巾を戴き服して手を拱す、顔色黝黒、眼睛炯々たり、像のあるところ幔帳深く垂れ、上に同仁齋の匾額を掲げたり。

堂の東端に茶室あり、義政の嗜好に成るもの、四疊半茶室の嘴矢といふ、著名なる銀閣は庭園の一畔にありて二層をなす、上を心空殿といひ、下を潮來閣といふ、殿に上りて泉石の幽なるを下瞰すべし、更に下りて庭園を行くに、こは本阿彌の經營に係り、天地の好景を聚めたるものにして、一株の樹も一片の石も築庭の方式に適はざるものなく、後世の範とするに足るものとす、その橋、その瀑、その石、その樹、各々佳名を命じ、撞の指して説くこと甚だ詳なり、曰く千代の楨、曰く洗月泉、曰く臥雲橋、曰く追仙橋、曰く月待山、曰く細川石、曰く山水石と、寺僧に請はゞ丁寧指示してその因縁を説くこと詳かなり。

或人曰ふ、金閣は壁上處々金粉を留むといへども、この銀閣は片箔の存するものをも見ず、これその名に背くにあらまやと、相傳ふ義政未だ工の成らざるに先立ちて卒去せしが爲め、銀を施すに及ばざりしと、果してその然るや否やを知らず。

GINKAKU-JI.

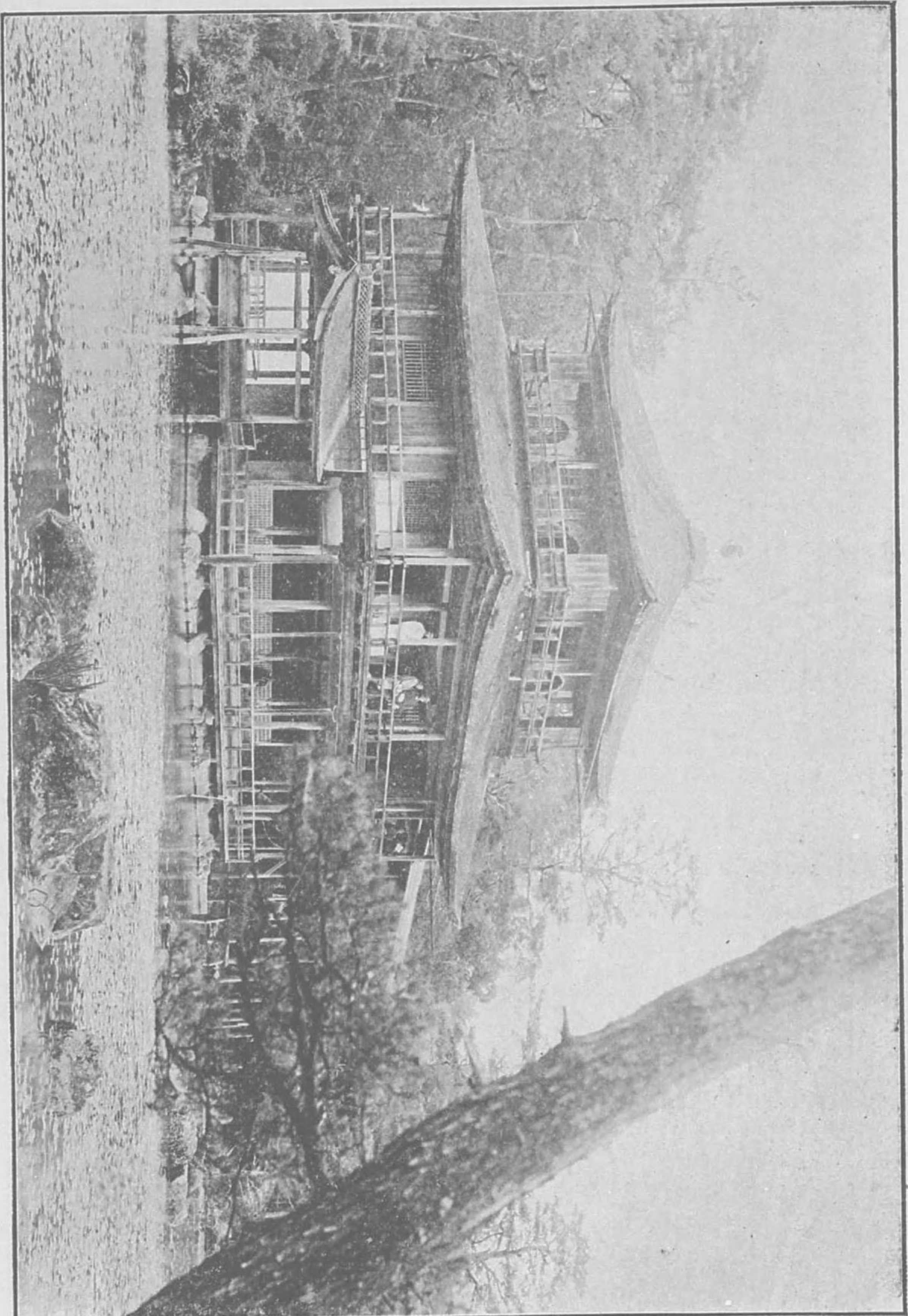
Ginkaku-ji, now which is a Buddhist temple, was originally built as a villa, by Ashikaga Yoshimasa about 1480. Yoshimasa was a great patron of art, and is reputed to be the originator of Japanese style landscape gardening and a loom of *cha-no-yu*, so called "tea ceremony."



現れたるものにして、一枚の樹も一片の石も築庭の方
 式に適はざるものなく、後世の範とするに足るものと
 す、その橋、その瀑、その石、その樹、各々佳名を命
 じ、僮の指して説くこと甚だ詳なり、曰く千代の檜、
 曰く洗月泉、曰く臥雲橋、曰く追仙橋、曰く月待山、
 曰く細川石、曰く山水石と、寺僧に請はゞ丁寧指示し
 てその因縁を説くこと詳かなり。
 或人曰ふ、金閣は壁上處々金粉を留むといへども、この銀閣は片箔の存するものをも見ず、
 これその名に背くにあらずやと、相傳ふ義政未だ工の成らざるに先立ちて卒去せしが爲め、
 銀を施すに及ばざりしと、果してその然るや否やを知らず。

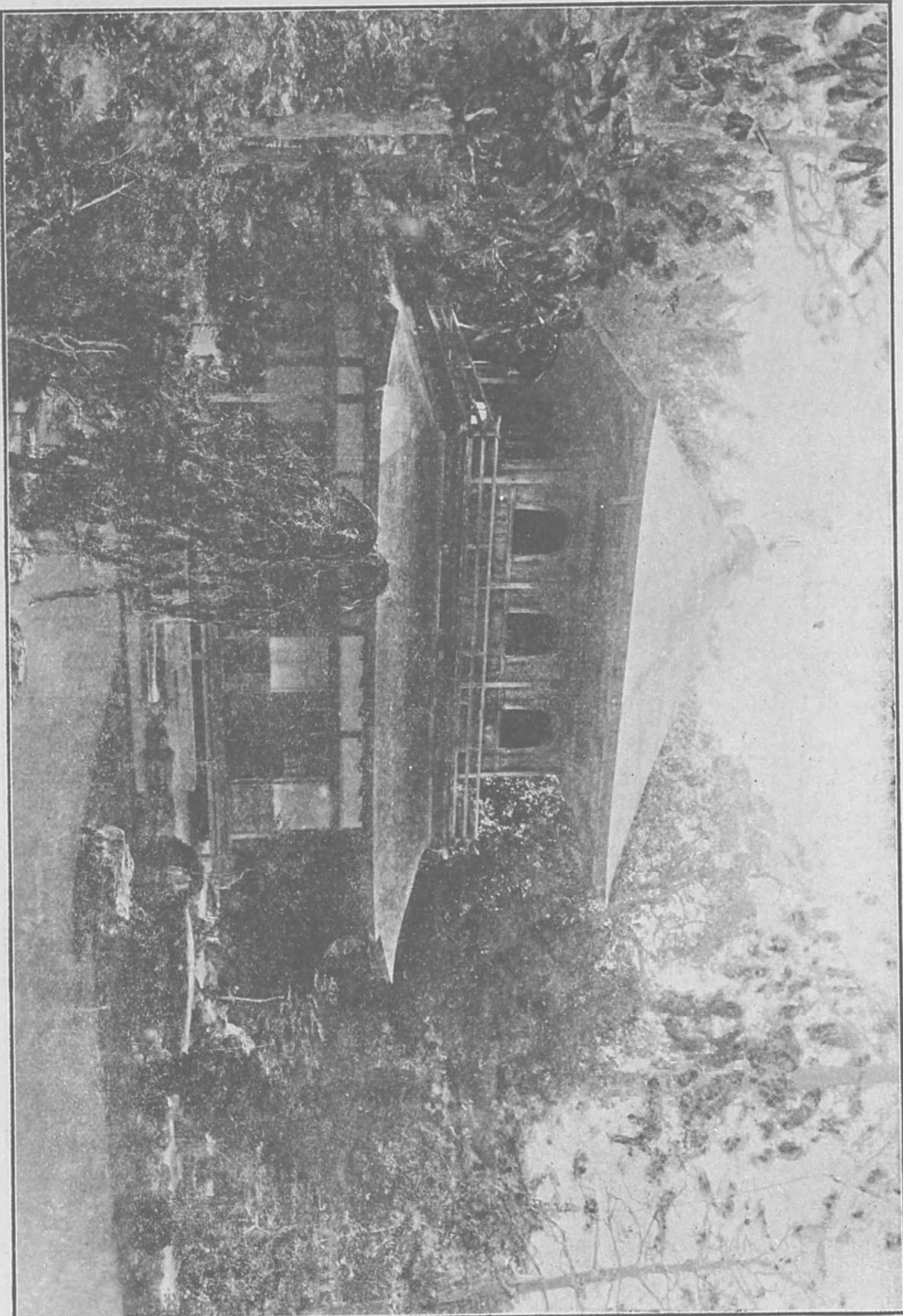
GINKAKU

Ginkaku-ji, now wh
 temple, was originall
 by Ashikaga Yoshin
 Yoshimasa was a gr
 and is reputed to b
 of Japanese style lan
 and a loom of cha
 "tea ceremony."



Kinkakuji, Buddhist Temple, Kyoto.

(都京) 寺 閨 金



Ginkakuji, Buddhist Temple, Kyoto.

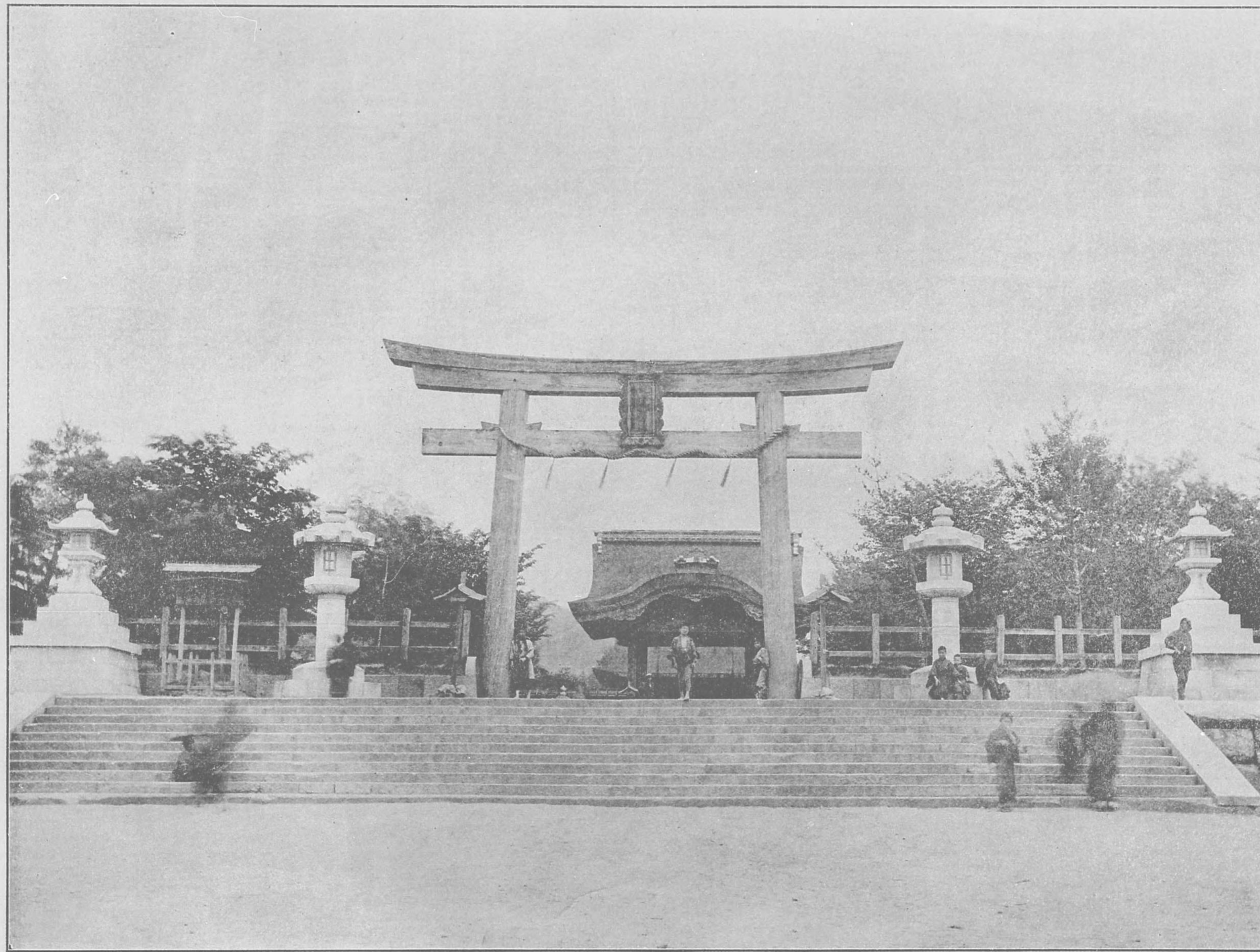
(都京) 寺 閨 銀

豊國神社 (京都)

豊國神社は千古の豪傑たる
豊太閤秀吉の靈を祀れると
ころにして、京都の洛東大佛
殿方廣寺の南に隣りす、初め
慶長四年秀吉に豊國大明神
の神號を下賜せられ、よ

ISHA.

is situated in Kyō-
dedicated to Hide-
lred years ago, but
perial Household in
is shown in the rear
ke a sharp distinction
sed heroes like Hide-
ne and possibly a few
ed to be more fully



(都京) 社神國豊
Hōkoku, Shintō Temple, Kyōto.

豊國神社 (京都)

豊國神社は千古の豪傑たる豊太閤秀吉の靈を祀れるところにして、京都の洛東大佛殿方廣寺の南に隣りす、初め慶長四年秀吉に豊國大明神の神號を下賜せられしに、より、地を方廣寺境内に卜して其祠を造營せしが、寛政年間一たび雷火の爲めに焼失せられてより復た再建の計畫もなく、たゞ一基の石碑を存するのみなりしが、明治十年に至り官これを別格官幣社に列し、新に土木を起して社祠を造營したるもの即ち今の豊國神社これなり。

社の後方阿彌陀峯は、東山三十六峯の一にして實に豊太閤の英骨を埋めし地とす、山上の最高處に華表あり、内に廟舎を築く、遠山近水氣象萬千を呑む、實に英雄死後の佳城といふべし、舊史によると、慶長當時の豊國廟は、頗る瑰麗と雄偉とを極めたりしもの、如く、而して風雨三百年荒草荆棘の斷礎を留むるのみとありしは、誰れか俯仰感慨の涙を落さざるものあらんや、明治三十一年は恰も公の薨後三百年に當るが故に、公と縁故最も深き黒田長成侯、これが首唱者として豊國會を興し、資を全國に募りて大祭を執行し、先づ榛莽を芟拓して地域を廣くし、舊墳のところに偉大なる瑩域を作り、而して道を通ずること亦夷に就く、太閤坦と稱するものは是かり、一たび公の遺烈を拜し、更に眼を遠近に轉ずれば、胸宇快闊氣象自ら舒暢するを覺ふ。

社前通路の傍に耳塚あり、豊公征韓の役に獲たる首級に代へ、削り剔りてこれを日本に送りしを、こゝに合せ埋めし所といふ、序なれば見るも可なり。

HŌKOKU-JINSHA.

This Shintō-temple, Hōkoku, is situated in Kyōto, south of Daibutsu, and is dedicated to Hideyoshi. It was burned a hundred years ago, but was rebuilt by order of the Imperial Household in 1877. The tomb of Hideyoshi is shown in the rear of the temple. The Japanese make a sharp distinction between the honors paid to deceased heroes like Hideyoshi, and those paid to Michizane and possibly a few others. The latter are supposed to be more fully adopted into the divine society.



平等院 (山城)

山城國宇治町より數町を距て、有名なる古刹あり平等院といふ、城内に本殿及び觀音堂あり、本殿は世に名高き鳳凰堂にして、其の影蓮池に落て漣漪の中に浮べり、中央大閣の屋角に左右相對して碧銅の鳳凰を置く、その高さ三尺許其の製甚だ巧妙にして、風に隨ふて翼を上下し翔舞するもの如く、堂の結構亦鳳凰の翼を張るに摸し、大閣の左右各四間を隔て、更に一閣を置き廊を以て通ず、蓋し双翼に擬せしなるべし、長松亭々として堂を護る、翠色は朱欄碧楹と相映して大に風趣を添へたり、堂に安置する本尊は長六尺の阿彌陀佛にして、佛師定朝の作るところ非凡の品なりといふ、佛壇の裝飾及び四壁の繪畫は其の精美を盡し、全國絶倫の美と稱せらる、曩に北米市俄古大博覽會に我國より出陳せしはこの堂を摸せしものなり。

The Buddhist Temple Byōdō-in.
Byōdō-in, is near the street of Uji in the province of Yamashiro, and it was ordinally the country residence of court noble Kawara-no-Sadaūjin. It has large hall, is called Hōō-dō;— a model of this hall was erected in grounds of the Columbian Exhibition at Chicago, United State, America.

抑此地は曾て河原左大臣融の別業にして、陽成、宇多、朱雀の三帝これを離宮となしたまひ、長徳年中藤原道長に賜ふ、道長之を山莊となし其の子頼道に至り喜捨して寺とせしなり。後醍醐帝の時楠正成が賊と此に戦ひ火を民舎に放ちしが、延て寺に及び伽藍は劫灰となりしも、獨鳳凰堂のみは存して今に至れり、蓋し祝融氏も亦この絶美を愛せしものか、寺に什寶多し刺を通じて觀んことを請へば寺僧懇ろに東道す。樓門内に扇の芝といへるあり、傳へいふ治承の亂に源三位頼政の屠腹したるところと、老雄血を濺ぎしより今に至る迄七百餘年、短草離々として青く亦當年を想ふべきあり、探訪の客は奈良鐵道の宇治驛に下車するを便とす。





(城山) 堂鳳凰ト院等平
Byōdō-in and Hōōdō, Temple, Yamashiro.

The Buddhist

Byōdō-in, is near the street of
and it was ordinally the country
Sadaijin. It has large hall, is ca
was erected in grounds of the
United State, America.

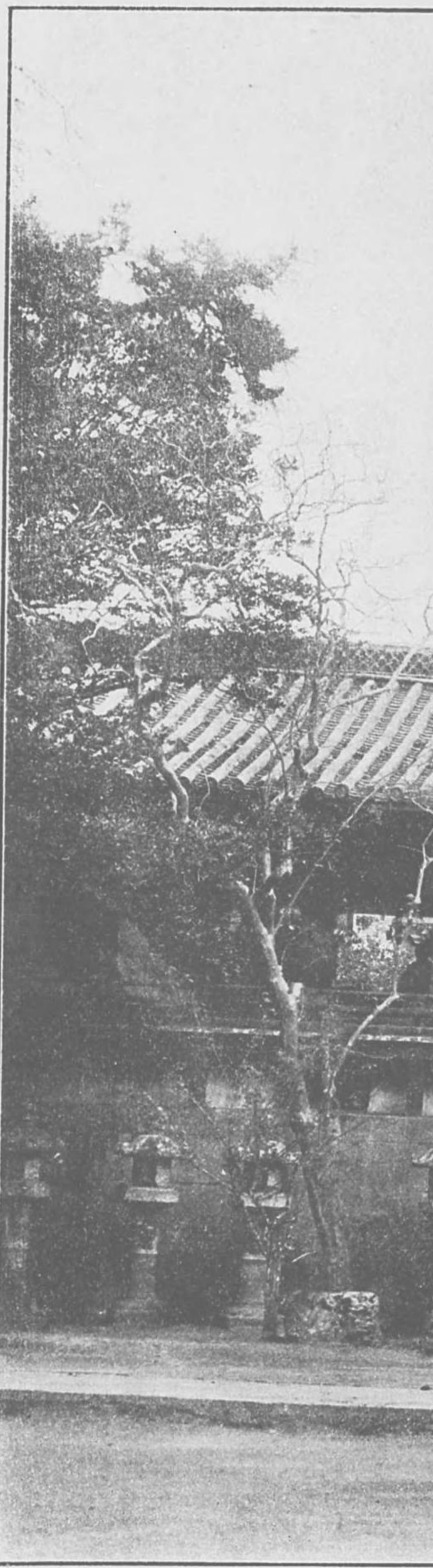
融氏も亦この絶美を愛せしものか、
寺に什寶多し刺を通して観んこと
を請へば寺僧懇ろに東道す。
樓門内に扇の芝といへるあり、傳へ
いふ治承の亂に源三位頼政の屠腹
したるところと、老雄血を濺ぎしよ
り今に至る迄七百餘年、短草離々ど
りて青く亦當年を想ふべきかり、探
訪の客は奈良鐵道の宇治驛に下車
するを便とす。

男山八幡 (山城)



(城山) 宮幡八山男
Otokoyama-Hachiman, Shintō Temple, Yamashiro.

山城國綴喜郡八幡町の上方男山鳩ヶ峰に鎮ずるを男山神社とす、有名なる官幣大社にして、應仁天皇、神功皇后および玉依姫の三座を祭祀せり、相傳ふ昔貞觀年中奈良の大安寺の僧に紀行教あるものあり、自ら武内宿禰の後胤なりと稱し、居常筑紫の宇佐八幡を崇拜せり、曾て宇佐に參籠すること二千日、その歸るや八幡の靈告を蒙りたりと稱し、勅



男山八幡 (山城)

山城國綴喜郡八幡町の上方男山鳩ヶ峰に鎮ずるを男山神社とす、有名なる官幣大社にして、應仁天皇、神功皇后および玉依姫の三座を祭祀せり、相傳ふ昔貞觀年中奈良の大安寺の僧に紀行教あるものあり、自ら武内宿禰の後胤なりと稱し、居常筑紫の宇佐八幡を崇拜せり、曾て宇佐に參籠すること二千日、その歸るや八幡の靈告を蒙りたりと稱し、勅許を仰で宇佐八幡の分靈を王城の南、男山を卜して奉祀せりと本社は即ち是なり。

山麓より幾多の勝景舊蹟を左右にして石階に達す、階上に門あり二の門といふ、唐破風作りにして左右に廻廊を繞らせり、門を入れば拜殿あり、その外に別に木造の瑞籬を以て圍めるを神殿とす、瑞籬は有名の美觀にして、その腰部は組格子となり、花鳥を彫刻して五彩を施し、更に飾るに金銀を以てす、その燦爛たる光彩、艷麗なる結構、賽人をして先づ眼眩み膽奪はれしむ、神殿の壯嚴亦これを以て推すべく、その兩楹は黄金を以て造れりと、以て其の偉大なるを知るべし。



The Shintō Temple
Otokoyama Hachiman.

The Shrine is situated in mount Hatoga-mine of the province Yamashiro, and it is celebrated as site of the Emperor Ōjin and His Mother the Empress Jingū. Its buildings are covered many interesting graves and grounds as wild as deep forest which is containing many famous shrines in it.

境内廣濶にして蒼蔚たる杉檜を以て圍む幽邃の狀掬すべし、名勝の特に顯著なるもの、石清水をはじめとし、楠公手植の樟樹、惡七兵衛景清が塚、御前の橋などにして、末社攝社も亦頗る多く、中にも仁徳天皇を祀れる若宮、稚郎子皇子を祀れる水の若宮、住吉社、狩野社など名あるものとす、例祭は四月にして流鏑馬の神事等あり殊に盛んかり。



伏見稻荷 (山城)

INARI.
This famous Shintō temple is situated only a few steps from the Inari Station of the Kyōto-Ōtsu Railway. The buildings are all painted red and form a striking contrast with surrounding foliage. The grounds are extensive and interesting. Inari is the patron deity of rice culture, whose messenger and symbol is the fox. Hence earthen images of the fox are made in that neighborhood and sold in large numbers as mementos to those who visit the shrine.

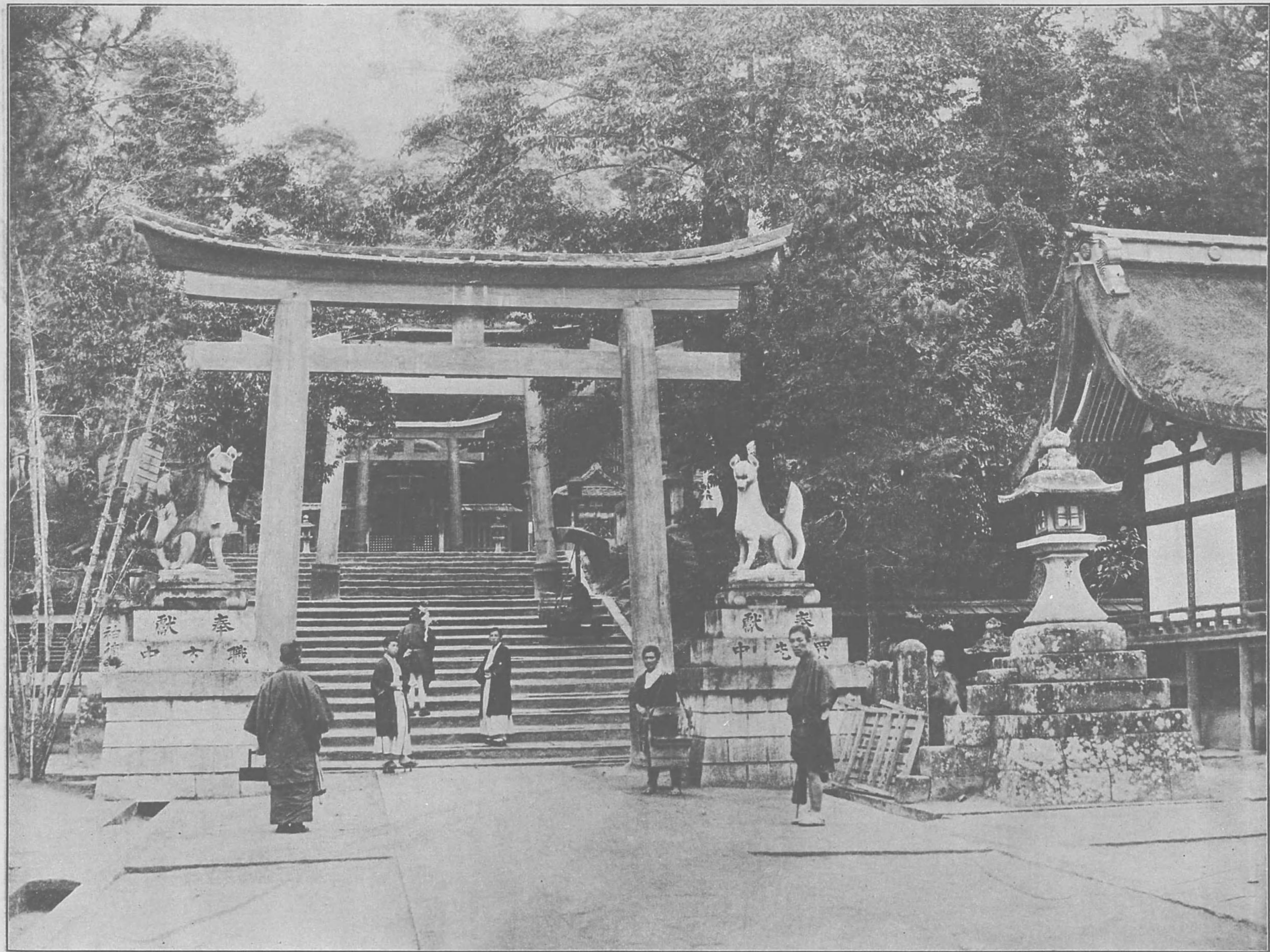
伏見街道の東側にある官幣大社にして倉稻魂命、素盞鳴尊、大市比賣神を祭る、社域頗る廣濶にして、稻荷山を後にす、亭々たる老杉の蒼翠は絢爛たる社殿の朱楹紅欄と相映じ、一層の壯麗を覺えしむ。按ずるに、元明天皇和銅四年二月、倉稻魂命始めてこの稻荷山に垂跡せしを、現今の三の峯と謂ふに鎮座せしが、醍醐天皇の時藤原時平社殿を修葺し、後永享十年に至りて今の社地に遷座したりといふ。

稻荷山は一に御山と唱ふ、峯巒起伏、溪谷盤紆の間に幾多の攝社末社あり、其赤き鳥居の隧道狀をなせる間を順次に參拜すること凡そ一里八町俗に稱して御山巡りといふ、陰森幽邃の境を探り、眺矚開豁の間に立つ、心神の快哉言ふべからず。

例月午の日には、味爽遠近より來賽するもの踵を接す、例祭は五月七日にして、五基の神輿は伏見街道を北に七條橋を渡り、九條村の御旅所に神幸の儀を擧ぐ、行装の美は京の祇園祭に亞ぐといふ、社前一市街を爲し、四方の賽客常に頻繁なり、店頭多くは伏見人形を賣る、初午土産はこれを以て最とす、町に接して鐵道を通ず、稻荷の停車場は實に本社鳥居前に在り、京都を距ること一哩六十三鎮、賽人のこの便に藉るもの年に幾百万人あるを知らず、關西に於ては稀に見るところなり。

○ 惠慶法師

いなり山みつの玉垣うちたゝき
わが願ひを神もこたへよ



(城山) 荷稻見伏
Fushimi-Inari, Shintō Temple, Yamashiro.

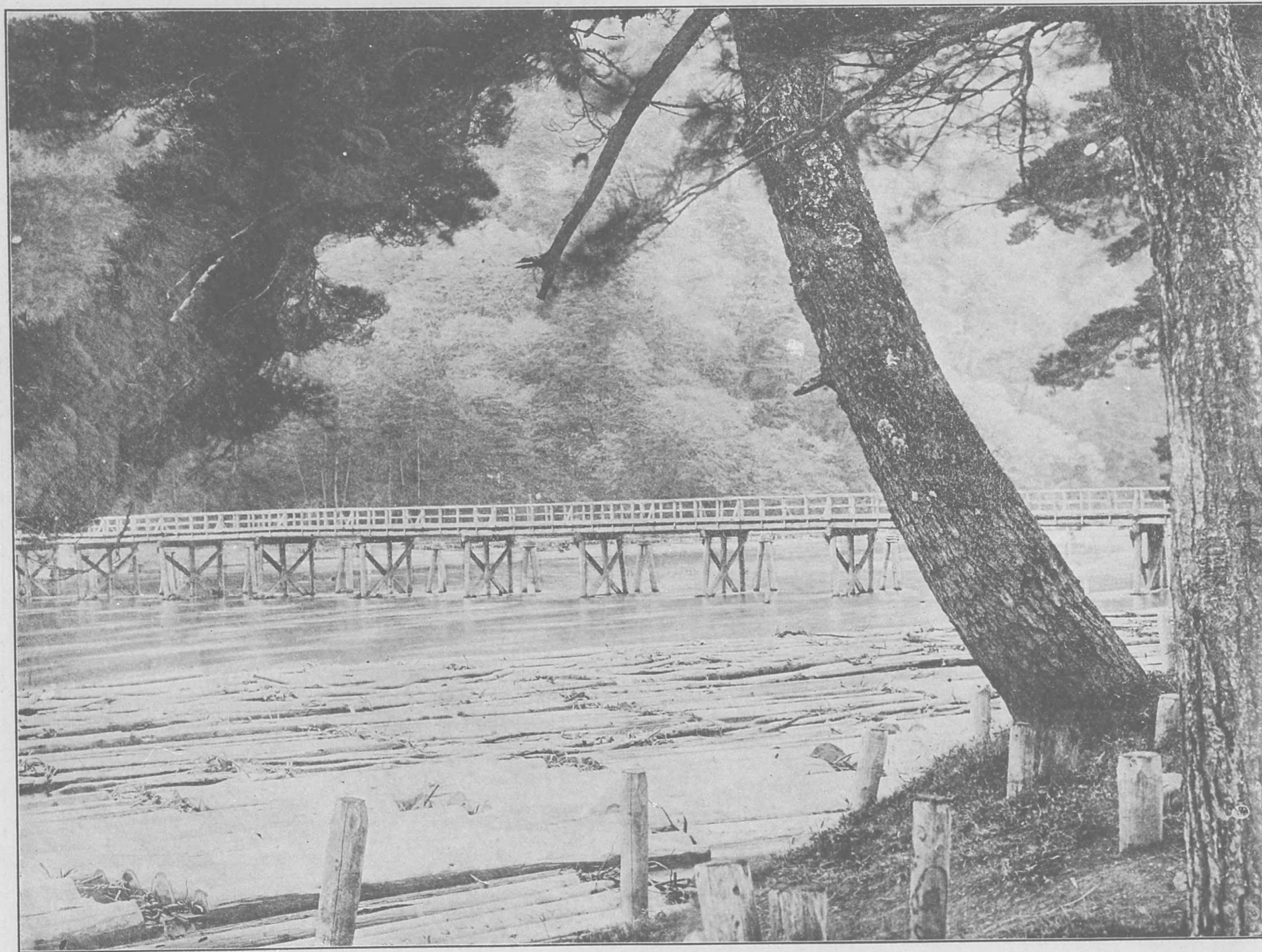
渡り、九條村の御旅所に神幸の儀を擧ぐ、行装の美は京の祇園祭に亞ぐといふ、社前一市街を爲し、四方の賽客常に頻繁なり、店頭多くは伏見人形を賣る、初午土産はこれを以て最とす、町に接して鐵道を通ず、稻荷の停車場は實に本社鳥居前に在り、京都を距ること一哩六十三鎮、賽人のこの便に藉るもの年に幾百万人あるを知らず、關西に於ては稀に見るところなり。

○ 惠慶法師

いなり山みつの玉垣うちたゝき
わが願ごとを神もこたへよ

嵐山渡月橋

(山城)



(城山) 山 嵐
Arashiyama, Kyōto.

嵐山は櫻樹を以て天下に知られたる勝地にして、大堰川の上方に在り、
京都を距ること三里とす、京都鐵道に便乗せば嵯峨驛に下車すべし、傳
へ言ふ 龜山上皇吉野の花を移して此山に栽えさせ給ひかりと、春
花既に定名あり、然りと雖も秋葉も亦敢て三尾の勝に譲らざるなり。
渡月橋は一に御幸橋といひ川の北岸ある三軒屋の下方より法輪寺の



嵐山渡月橋

(山城)

嵐山は櫻樹を以て天下に知られたる勝地に於て、大堰川の上方に在り、京都を距ること三里とす、京都鐵道に便乗せば嵯峨驛に下車すべし、傳へ言ふ、龜山上皇吉野の花を移して此山に栽えさせ給ひしかりと、春花既に定名あり、然りと雖も秋葉も亦敢て三尾の勝に譲らざるなり。渡月橋は一に御幸橋といひ川の北岸ある三軒屋の下方より法輪寺の山下に達す、長虹の清流に架するが如くにして亦一段の風趣を添ふ、橋の上流數町に千鳥ヶ淵といへるあり、淵上の岩を身投石といふ、相傳ふ古昔横笛が瀧口時頼を慕ひ三寶寺に至り、逢はざるを恨みて投身せし處ありと、山中に戸難瀬の瀧あり、淺黄櫻の巨幹ありて名を得たり、其の下流は戸難瀬川なり、この邊一帶の勝はこれを陸路よりせずして、渡月橋畔に舟を僦ひ川を溯りて討尋するを興ありとす、而して舟遊嵐山の風景を賞するものは、大悲閣の西北山麓ある鑛泉場を以て限りとなす、大悲閣は西方の山腹にある古刹にして亦登臨の勝に富めり。凡そ嵐山の風光は世既に定名あれば、これを贅するは愚に似たりといへども、若しその春花の候、渡月橋畔より川を隔て、望めば白雲の飄くが如く彩霞の簇がれるが如く、而して蒼松との間に點綴するの景何の言か能くこれを形容し得んや、紅葉の秋日に鮮美なる、銀雪の冬晨に妍麗なる、殊に舟遊の夏日に適する、四季の遊觀を集成せしものといふべし、而して月夜の風光は殊に一段の賞すべきものありといふ、近境名勝尙ほ多く嵐山の勝も亦何んぞ此に止らんや。

ARASHI-YAMA.

This name, if literally translated, would become the Ferry-moon Bridge. The moon as seen when crossing a river possesses for the Japanese, many poetical associations which have been transferred to this bridge across the Ōi River at the foot of Arashi-yama, west of Kyōto. Near by are two celebrated ravines, Chidori-gafuchi and Tonase-gawa which are much visited by the residents of Kyōto.

嵐山

頼山陽

春風吹雨過西溪。溪上遊人路欲迷。女伴相呼聯袂去。
紅裙半濕落花泥。

春日神社

(大和)

春日神社は大和國奈良市の東春日野に鎮坐せる官幣大社にして日本三社の一とす、神護景雲二年の創建にして正殿四宇あり一は武甕槌命、一は經津主命、一は天兒屋命、一は姫神を祀れり。

境域三十万六千餘坪、上方に春日山あり、一面の平蕪は草色烟の如く、風致の幽邃閑雅なること一幅の油畫を展べたるに似たり、樓門は畫の如き春日野の中に南嚮して立ち南門の名を稱せり、長さ百五間幅二間五尺の廻廊は左右に度り、幾多の祠宇は境内に散在せり。

廻廊に懸るところの古鐵燈籠は都て九百八十八個といふ、鏤華花の如く古色掬すべし、中にも金鳥、玉蟾を彫刻せし二個は最も希品なりと稱す、祠廟の四邊に立てる石燈籠は、その數實に一千七百八十九基、中にも寒蟬、臥鹿、板戸、雲朴などは、好古の士が夙に稱揚する所にして、世の描して摸範とするものとす。

本殿は嚴として中門内にあり、其の宏壯にして華麗なること、今故らに言ふまでもなし、その他若宮あり、紀伊神社あり、猿田彦神社あり、猶幾多の社祠何れも森嚴たるを見るべし、幣殿、舞樂殿、直會殿など一として整肅たらざるはなし、寶物の著はれしは有名な

鬘太鼓を始めとし、楠正成の兜、源義經の小手など其他數を知らず、大祭は三月十三日にして古式今尙存して壯嚴に執行せらる、名高き春日の神鹿は春日野一帯の青蕪に優遊自如として群を成せり、亦一段の風趣を添へて愛すべし、凡そ此邊名勝古蹟頗る多し、雪消澤、嫩草山、野守池などこの社に賽する人は必らず訪ふべきものとす。

春日神社

範 永

けふまつる三笠の山の神ませば
天の下には君ぞさかえん

雪消の澤

崇徳天皇

春來ればゆきげの澤に袖たれて
またうら若き若菜をぞ摘む

KASUGA JINSHA.

This is one of the most important Shintō strongholds in Japan. It was founded A. D. 1136, by the Emperor Sutoku. Among the temples which are here clustered together, the chief is called Seiden. In the grounds of the Jinsha are many deers, which are very tame. Some years ago they ventured even into the parlors of a neighboring inn.

猿 澤 池

(大和)

奈良市登大路なる興福寺の塔下に一碧の鏡池あり、名高き猿澤池とは是なり、天竺の彌猴池を摸せしよりこの名を稱せしといふ、興福寺天平年記には佐幣佐波とあり、又同寺流記には神龍の池なり、故に天下早魁すれども水半ばに減せずと見へたり。

形は恰も乃の字形にして、東西五十間南北四十間周回百八十六間餘、其の水清くして鏡の如く、無數の鯉魚は躍りて珠を碎く、微風水を度り漣漪を織り、日色笑へるが如く五重塔に反照して、塔の楯扉に奇紋を浮動す、凡そ這般の景趣は繪も亦描き得ざるべけん、聞くその昔は水の變ることなきが爲めに時として異臭を放ちしと、近來は率川の流れを引き流通をして停滯なからしめしより、水も自から清く魚自ら肥之而して遊人も不快の感を起すことなきに至れりと。

池西に小祠あり采女宮といふ、大和物語を按ずるに、昔時宮女采女なるもの恩寵の衰へたるを歎き、終にこの池に投身したりと、祠はその靈を祀りしものなり、池の東に一株の柳あり衣懸柳といふ、采女投身の當時衣を脱して懸けしものなりと、古柳は既に枯れ朽し、今の柳は後世襲植せしものなり、蕭條たる衰葉夕陽に散るの時は、轉た悽愴の情を起さしむ。

池畔殊に觀月に宜し、若し夫れ三五の良夜に當り、金丸一轉して嫩草山頭を出で、皎々たる清光を碧なす池上に映り來るときは、その風光の佳絶なること喻へんに言なきなり、亦以て奈良市中の一名物として指を屈すべきものなりとす。

猿澤の池のはとりに柳ありて月すめる
夜もすがら水の月をや結ぶらん

青柳たるゝさる澤の池

SARUSAWA NO IKE.

This is a small artificial pond at Nara, which is said to have been copied from a so-called Monkey pond, of Hindustan, which has an important place in Buddhist literature. The name Sarusawa-no-Ike may be rendered a "Monkey-Marsh pond."





SARUSAWA NO IKE.

This is a small artificial pond at Nara, which is said to have been copied from a so-called Monkey pond, of Hindustan, which has an important place in Buddhist literature. The name Sarusawa-no-Ike may be rendered a "Monkey-Marsh pond."

ことなきか爲めに時として異臭を放ちしと、近來は率川の流れを引き流通をして停滯なからしめしより、水も自から清く魚自ら肥之而して遊人も不快の感を起すことなきに至れりし。

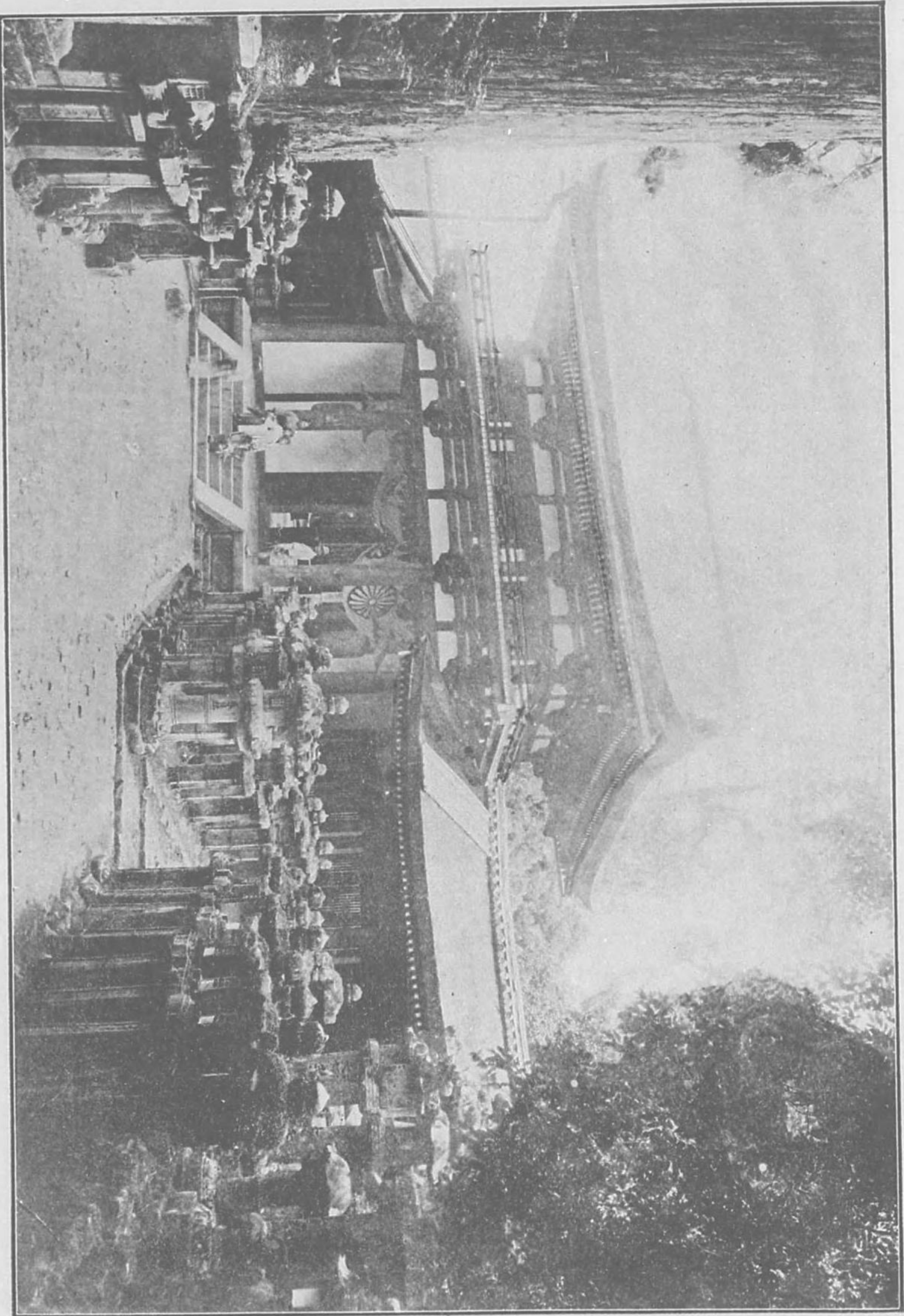
池西に小祠あり采女宮といふ、大和物語を按ずるに、昔時宮女采女なるもの恩寵の衰へたるを歎き、終にこの池に投身したりと、祠はその靈を祀りしものなり、池の東に一株の柳あり衣懸柳といふ、采女投身の當時衣を脱して懸けしものなりと、古柳は既に枯れ朽し、今の柳は後世襲植せしものなり、蕭條たる衰葉夕陽に散るの時は、轉た悽愴の情を起さしむ。

池畔殊に靚月に宜し、若し夫れ三五の良夜に當り、金丸一轉して嫩草山頭を出で、皎々たる清光を碧なす池上に映り來るときは、その風光の佳絶なること喩へんに言なきなり、亦以て奈良市中の一名物として指を屈すべきものなりとす。

猿澤の池のはとりに柳ありて月すめる

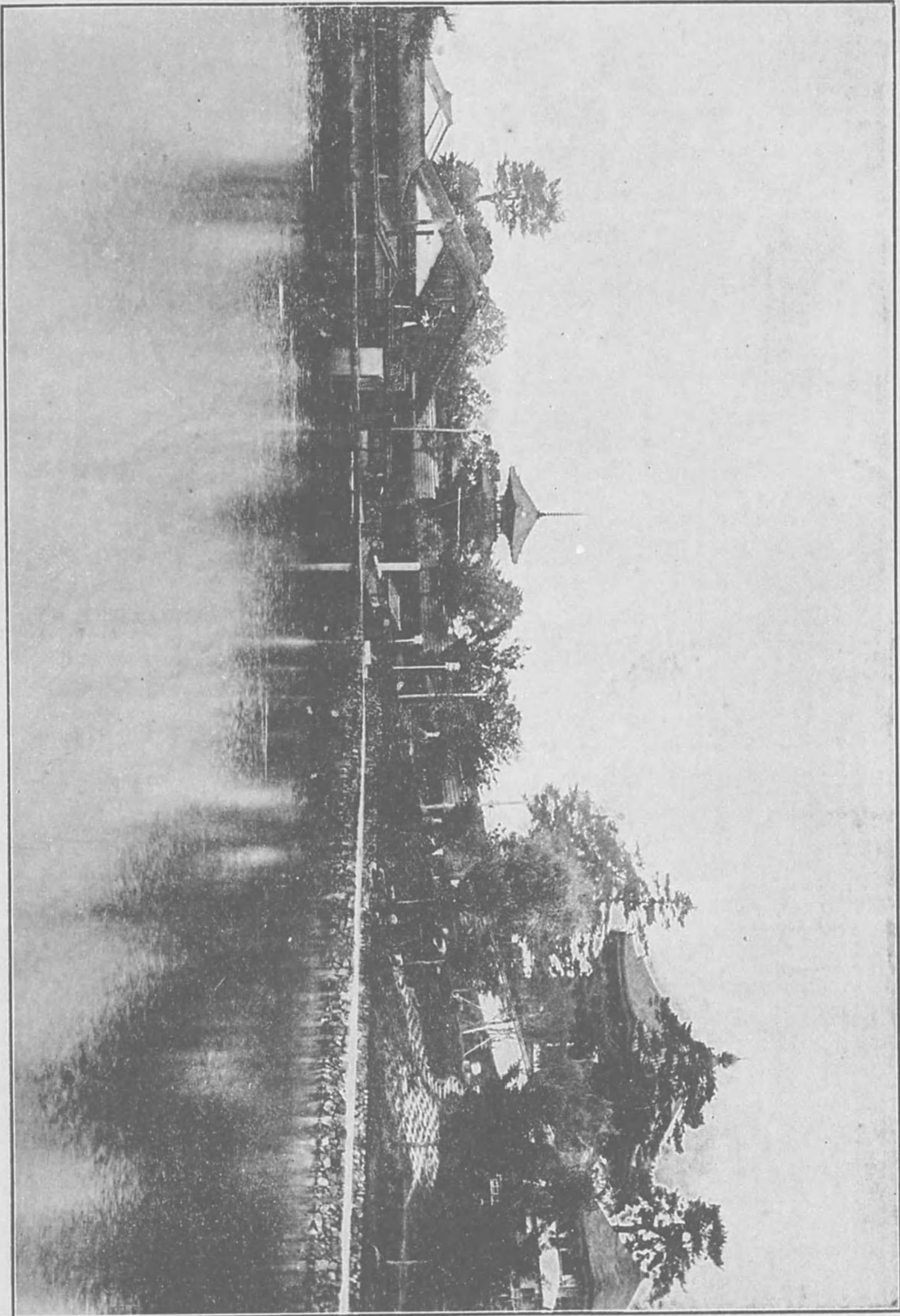
夜もすがら水の月をや結ぶらん

青柳たるよさる澤の池



Kasuga Shinto Temple, Yamato.

(和大) 社神日春

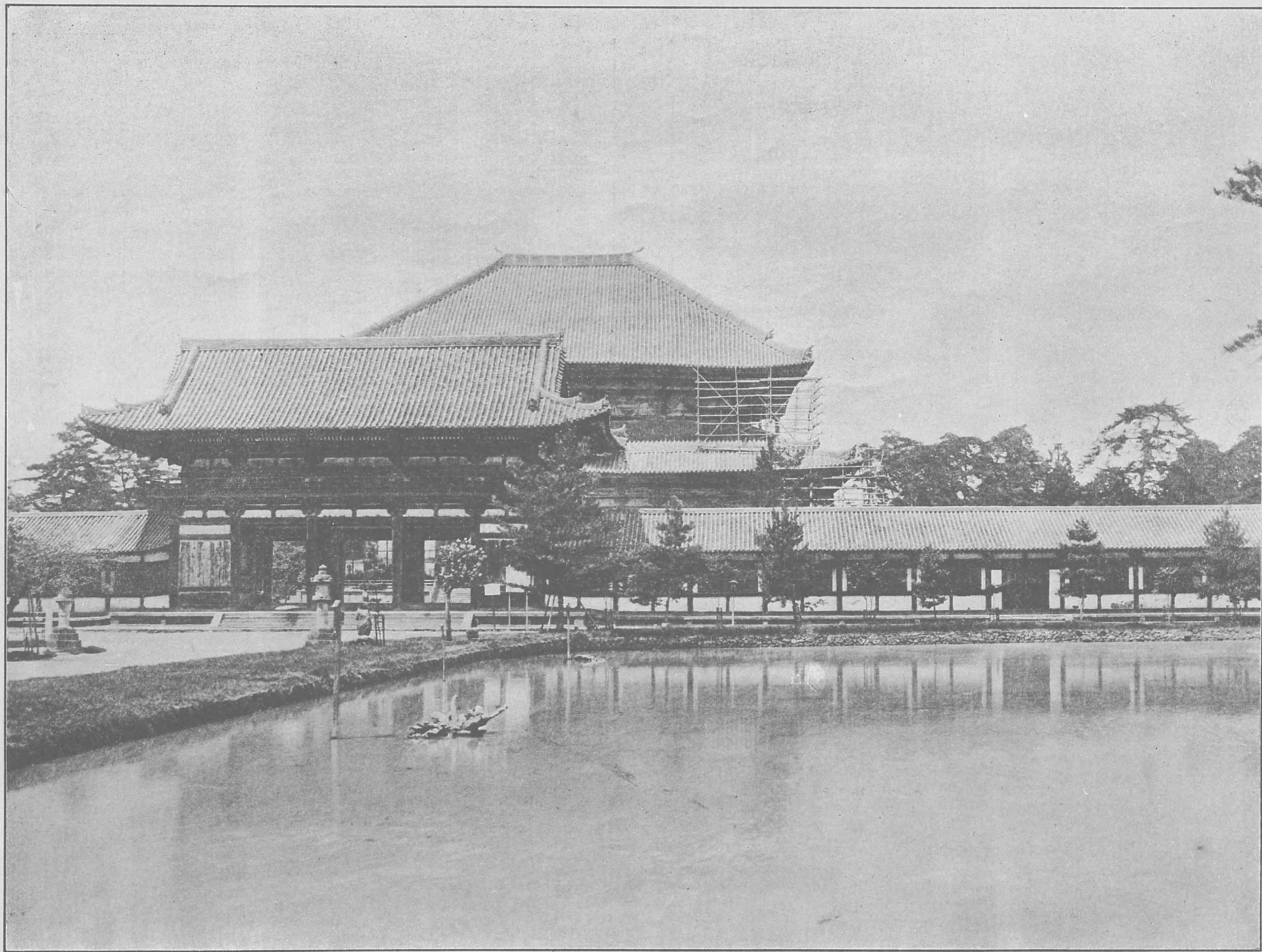


Pond Sarusawa, Yamato.

(和大) 池ノ澤猿

東大寺

(天和)



(和大) 寺大東
Tōdaiji, Buddhist Temple, Yamato.

一帯青松路不迷して、奈良博物館より順路、向ふところは東大寺の樓門あり、南には三千里外に在り、征客をして故郷の月を歌はくめ、三笠の山あり、樓門には巨大なる仁王像あり、門を入れば石段直に走り、十五丈といふ巍々たる大殿堂に達す、階を上りて堂に入れば、左右に法幔を垂れて金銅廬遮那佛の座して人の氣魄を奪ふものあり、これなん世に傳ふる奈良の大佛とす、史にいふ、聖武帝の時僧行基に



東大寺 (大和)

一帯青松路不迷して、奈良博物館より順路向ふところは東大寺の樓門あり、南には三千里外に在り、征客をして故郷の月を歌はしめ、三笠の山あり、樓門には巨大なる仁王像あり、門を入れば石段直に走り、十五丈といふ巍々たる大殿堂に達す、階を上りて堂に入れば、左右に法幔を垂れて金銅廬遮那佛の座して人の氣魄を奪ふものあり、これなん世に稱する奈良の大佛とす、史にいふ、聖武帝の時僧行基に勅して鑄させたまひ、三年を費して纔になると、實に熟銅七十万斤、鍊金壹万四千兩、銅五万八千兩、白錫一万斤より成り、二万七千餘解の炭火を燃して作るところと、その壯大知るべきあり、その兵燹の爲めに、佛首燼爛したりを、近古に至りてその首のみを改鑄して舊觀に復せしといふ、世人動もすればいふ、傘を開いて鼻孔中に入るも容易なりと、こはその大なるを形容せしまでにて決して然るにあらず、只その堂上には十餘人を立たしむるに餘地あるべし、佛前の青銅の蓮葉もその徑三尺四寸なるに、尋常池上の看をなすも亦宜なる哉、殿の圓柱は三抱にして猶餘りあり。

堂前に古銅の燈籠あり、龍鳳紋及び佛體を鏤す、鏽色古奇愛すべし、相傳ふ宋より送りしものと、佛前には、金光明天王護國三寺ある十大字の額あり、聖武帝の宸筆とす、その當時如何に壯嚴にして、又如何に人天隨喜の涙を濺ぎしやを想像するに餘りあり。大佛殿より左して石磴を登れば鐘樓あり、松柏深邃のところ陰々の聲を送るも亦頗る幽遠にして自から人寰にあらざるを覺ふ。

TŌDAI-JI.

Tōdai-ji is the name of the temple at Nara, which was founded by the Emperor Shōmu in A. D. 746. The celebrated enormous statue of Buddha, commonly called Daibutsu, stands in this temple.

法隆寺 (大和)

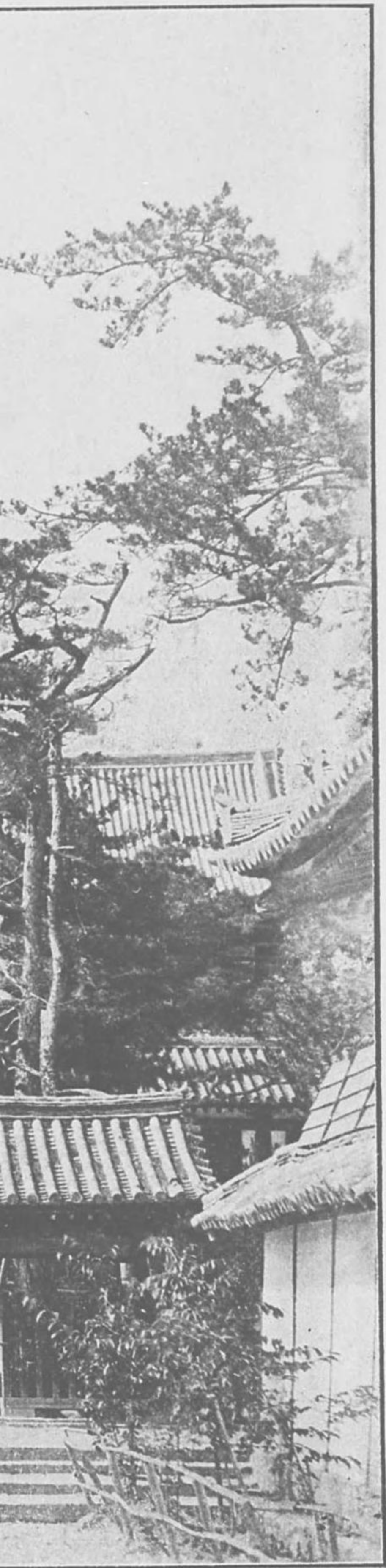
日本未曾有の名刹にして、南都七大寺の一なりといはゞ必ず法隆寺を稱せざるはなく、寺は舊斑鳩寺といふ創設以來の舊形を改めざるを以て名あり、地は大和國法隆寺村に在りて龍田町よりは十町に足らず、關西鐵道の同名の驛より至るを順路とす。

疆域は二萬二千五百坪、甚だ廣大なるにあらずと雖も、金堂、東院、夢殿、五重塔、講堂等幾多の殿堂列峙して輪奐の美を盡さざるなく、金堂は我國最古の伽藍にして、用明天皇の勅に由りて建立せられしもの、爾來數々修補を加へしも大体は全く舊規を存せり、三個の大天蓋あり木造にして彩色を施し、數多の伎樂天女と鳳凰とを付せり、實に稀世の珍と稱す、四壁の佛畫亦名あり

て百濟の僧曇徴の筆になる、東院は營せられたる斑鳩宮にして、其の壯觀美麗かるは論を俟たず、器具玩弄品亦皆當時の儘に保存せられ、日本古代の工藝標本陳列場たるに異ならず、舍利殿は聖德太子が生れながらに手握せしといふ、佛舍利を水晶の寶塔中に藏めて安置せり、拜觀を求むるときは之を許す、夢殿に安置する觀世音は祕佛にして人の見るを許さず、相傳ふ等身の立像にして木質に乾漆を施せしものありと、網封藏は寶庫にして珍品奇寶累々としてこれに満ち、すべて人目を驚かさざるはかく、概要此の如くにして我國の名跡中又匹儔あるを見ざるなり、帝室の特に尊重して濫りに衆庶の拜觀を許さず、以て其の保管中に置かれしも亦宜かる哉。

HÖRYU-JI.

This is one of the seven large Buddhist temples in Nara, which was the seat of the Emperors from A. D. 710 to 784. Hōryū-ji was founded by Shōtoku-Taishi, not far from A. D. 600. This temple is preserved as nearly as possible in its original form. Among its treasures are many articles of great artistic value altogether, whether viewed from the standpoint of the antiquarian or that of the student of art, Hōryū-ji is one of the most interesting temples in Japan.



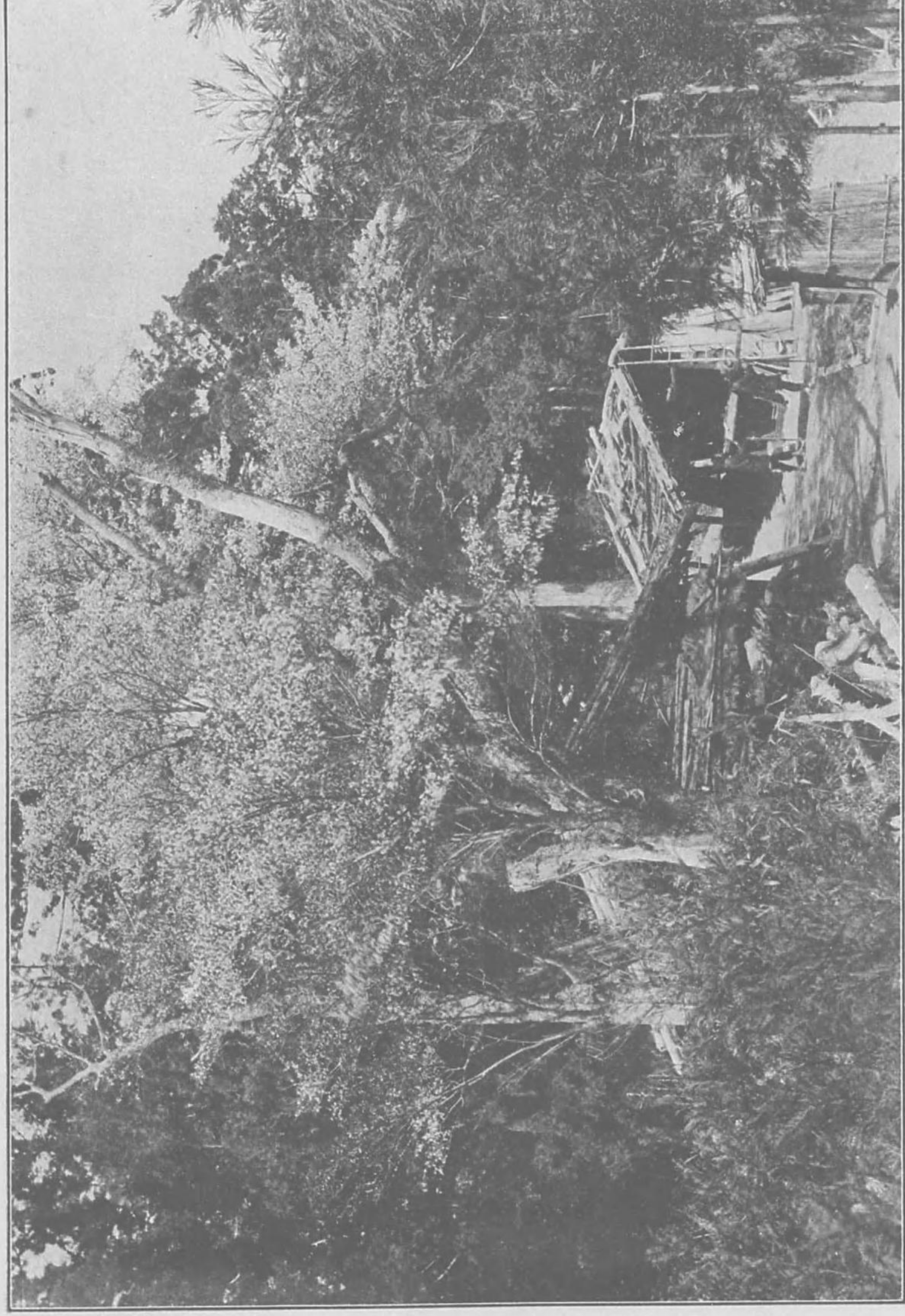
品亦皆當時の儘に保存せられ、日本古代の工藝標本陳列場たるに異ならず、舍利殿は聖徳太子が生れながらに手握せしといふ、佛舍利を水晶の寶塔中に藏めて安置せり、拜觀を求むるときは之を許す、夢殿に安置する觀世音は祕佛にして人の見るを許さず、相傳ふ等身の立像にして木質に乾漆を施せしものかりと、網封藏は寶庫にして珍品奇寶累々としてこれに満ち、すべて人目を驚かさざるはかく、概要此の如くにして我國の名跡中又匹儔あるを見ざるなり、帝室の特に尊重して、濫りに衆庶の拜觀を許さず、以て其の保管中に置かれしも亦宜かる哉。



(和大) 寺隆法
Hōriuji, Buddhist Temple, Yamato.

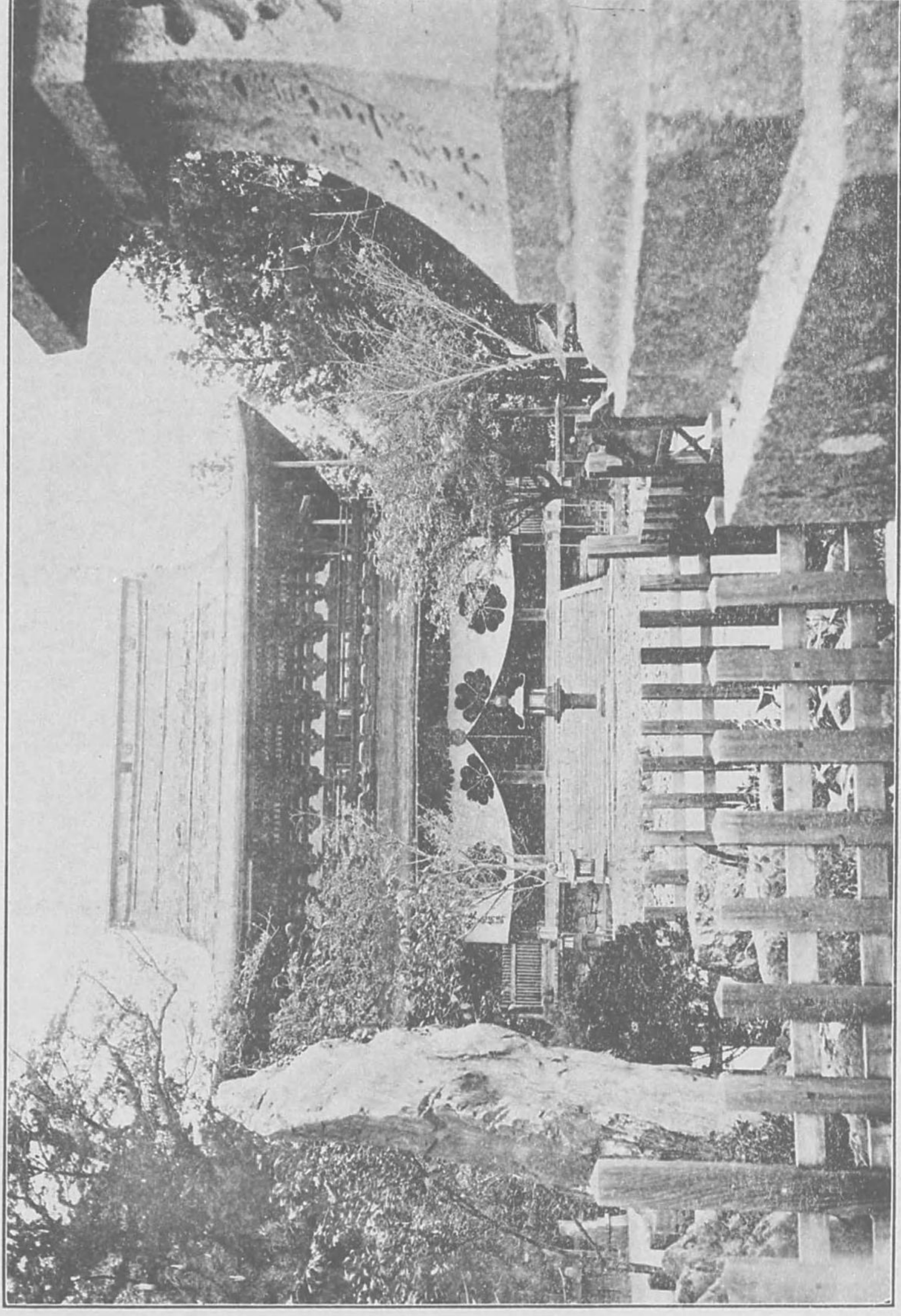
吉野山 (大和)

南朝三世の行在所として歴史に著明なる吉野山、海内無双の櫻花なりとして稱揚せらるゝ吉野山、山は大和の國の中央に位して探勝の路蓋し四あり、而して先づ六田より登り上市に下るを順路なりとす、六田とは吉野川の邊、柳の渡をわたりしところなり、この邊水碧りに山青く、矚目既に凡に



吉野山 (大和)

Mount Yoshino, Yamato.



現權王藏 (大和)

Zoogongen, Shitō Temple, Yamato.



吉野山 (大和)

南朝三世の行在所として歴史に著明なる吉野山、海内無双の櫻花なりとして稱揚せらるゝ吉野山、山は大和の國の中央に位して探勝の路蓋し四あり、而して先づ六田より登り上市に下るを順路なりとす、六田とは吉野川の邊、柳の渡をわたりしところあり、この邊水碧りに山青く、矚目既に凡にあらずして、遙に花燃えんと欲するの景を望むべし。是より阪路を攀づれば一町毎に石標を樹て、里程を記せり、漸く登れば右傍に村上義光の忠碑あり、又豊太閣が天下の侯伯を率ひて觀花の宴を張りし舊蹟あり、更に進んで三十町目に至れば口の千本に達す、千本の茶屋あり、欄に凭りて下瞰すれば満谷都て花ならざるはなく、花氣氤氳として身は白雲の上に座するが如し。猶ほ行く三町一水路を絶ち橋ありて通ず、欄干に豊臣秀頼再修の銘を誌す、これを過ぐれば吉野町にして、民家軒を並べ旅館商舗その間に交はれり、吉野坊門の中に隠れ松あり、櫻雲に埋没して嬌姿を覓め得ず、花散じて後始めて晚翠を見るが故か、この地古昔關塞ありしより、其のあたりの櫻を稱して關屋の櫻といへり。



YOSHINO-YAMA.

Yoshino-yama (Mount Yoshino) near Nara, one of the ancient capitals of Japan, is noted as the seat of the Emperor Godaigo (1319-1345), when forced into retirement by the rival claimant of the throne, who was supported by the Shōgun Ashikaga Takauji. It is celebrated also for its cherry blossoms.

これより更に登りて右に藏王堂、東南院、喜藏院、竹林院等を見、左に吉水院、如意輪寺等を見て進み彩霞香雲の間を低回瞻望して、花矢倉の邊りを過ぎ、子守神社の壯麗なるを拜し、社背より俯瞰すれば衆谷の花一眸の間、集まる所謂奥の千本は是なり、是より花漸く稀に路漸く険し、觀花の勝はこゝに盡くと謂ふべし、而して名勝古蹟はたゞこれのみ止まらざるなり。



ころかりゝが、維新の後、寺と分離して別格官幣社に列せらる。

境内は一万五千五百坪、翠巒を襟に、正殿、拜殿、樓門、寶庫、透樓、浮閣その他數多の建造物境内に配列し、多くの櫻樹其の間に點綴す、浮閣は十三層より成り高さ凡そ四丈三尺にして、鎌足の長子定慧が在唐の時父の訃に接し、彼地清涼山寶池院の塔に摸して造作せしめ、其の板を舶齋せしものといふ、又同時に菴羅樹を携へて歸朝し、浮閣の東に栽えたり、瑞籬を以て環らすものは是なり、正殿の下燈籠辻の北に、後醍醐天皇の御寄附といふ石燈籠あり、高さ凡そ一丈とす、この他淡海公の墓、定慧の墳、文珠堂、兩槻の宮、若櫻神社など皆その附近にあり、櫻花の春、紅葉の秋、こゝに眺曠を試みなば其の快濶を覺ゆること果して幾何ぞや、山中に華嚴の瀧あり、高さ三丈濶さ一丈餘、飛湍翠崖に懸り、噴沫溪谷を罩む、亦討尋に可かりとす、すべてこの山に登らんとせば、奈良鐵道の櫻井驛より東南二十町ばかり舊の鳥居跡に到る、これより五十町にして、神廟の傍に達す、その路敢て崎嶇たるにあらす、唯だ溪勢に隨つて縈廻するのみ、吉野山に遊ぶもこれに依れば捷徑なりといふ。

TŌNO-MINE.

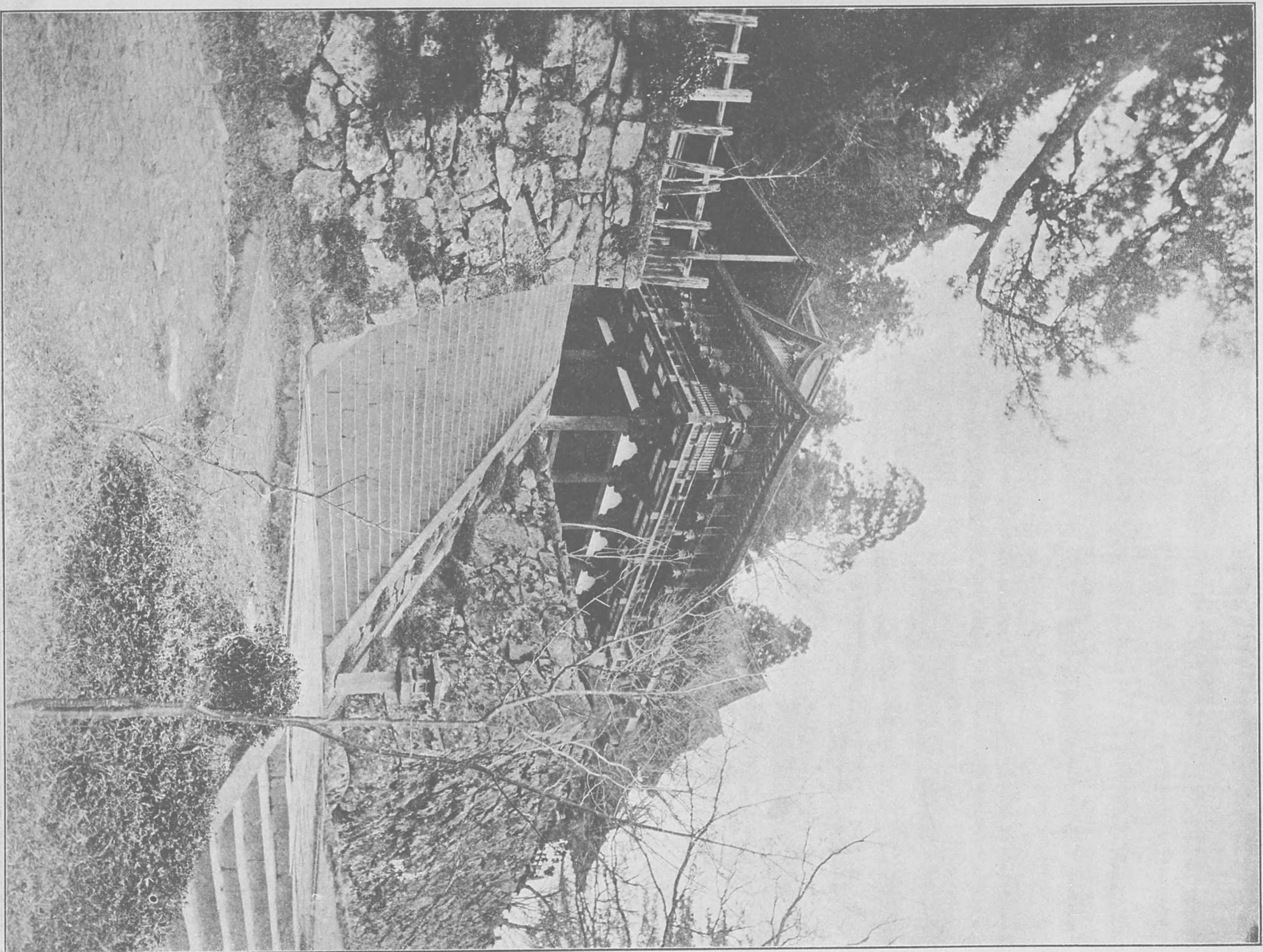
Tōno-mine is in Yamato, not far from the Sakurai Eki a station of Nara railway. There are temple, water fall, cherry trees and maples etc. The stone lanterns were presented by Emperor Godaigo.



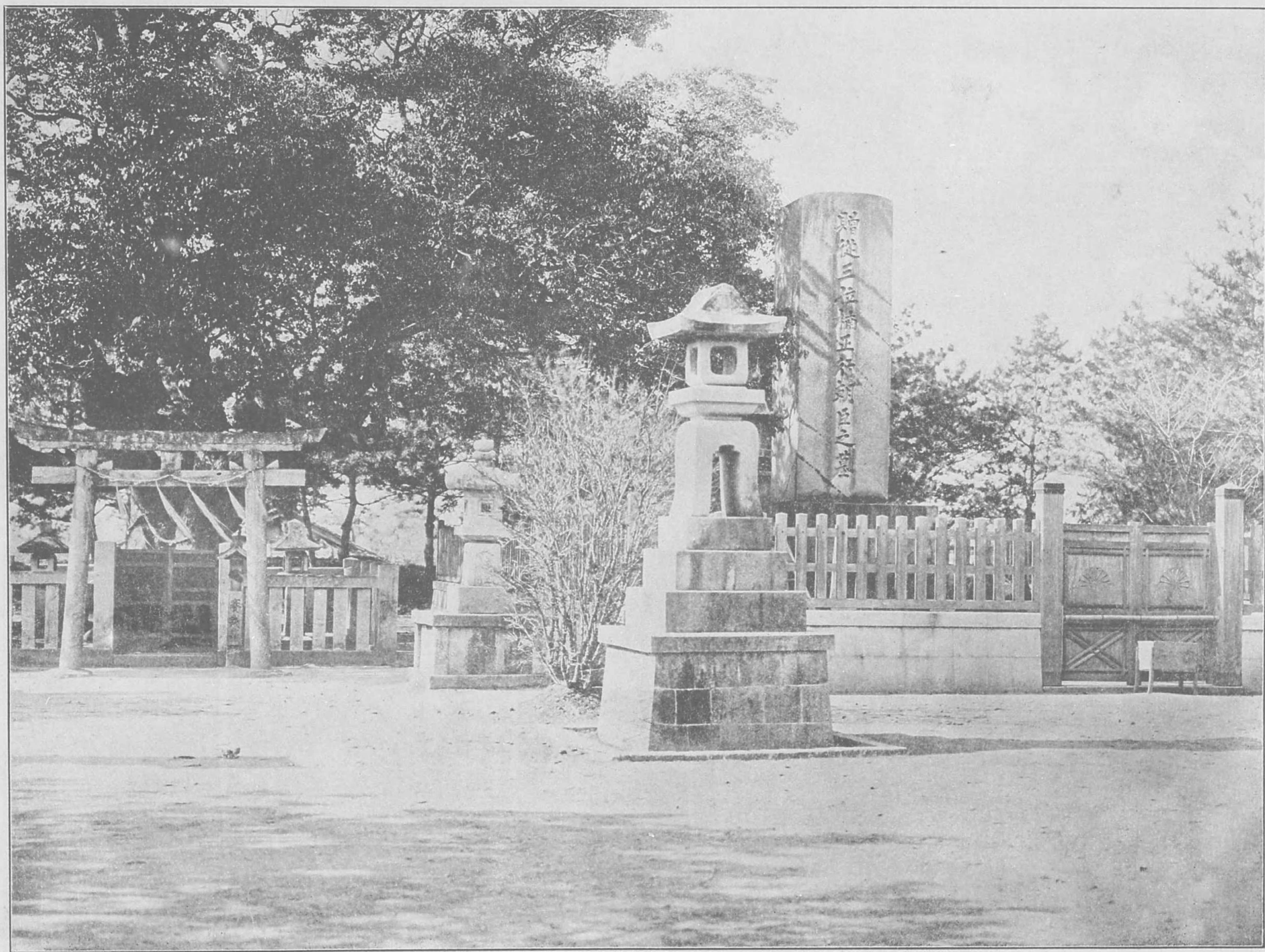
多武峰 (大和)

大和國の名區にして一に談ひ山と稱す、山の半腹に談山神社あり、社殿の宏壯にして境域の幽邃なること、關西の日光と稱するも溢美にあらざるなり、社は別格官幣社にして、贈太政大臣正一位藤原鎌足の靈を祀れり、延長四年の草創にして妙樂寺の管するものと

神社など皆その附近にあり、櫻花の春、紅葉の秋、こゝに眺
をしてみなば其の快澗を覺ゆること果して幾何ぞや、山中に
華嚴の瀧あり、高さ三丈澗と一文餘、飛湍翠崖に懸り、噴沫溪
谷を罩む、亦討尋に可ありとす、すべてこの山に登らんとせ
ば、奈良鐵道の櫻井驛より東南二十町ばかり舊の鳥居跡に
到る、これより五十町にして神廟の傍に達す、その路敢て崎
嶇たるにあらず、唯だ溪勢に随つて縈廻するのみ、吉野山に
遊ぶもこれに依れば捷徑なりといふ。



(和大) 峯武多
Tononine Mount, Yanato.



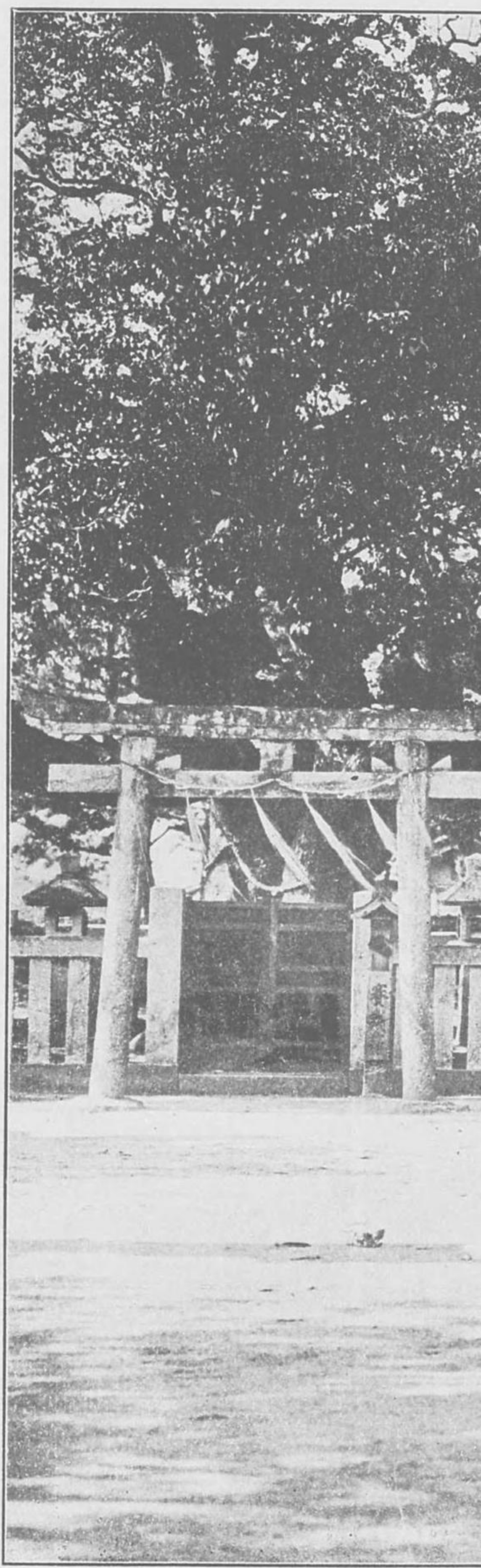
(内河) 公楠小巖條四
Shijyo sawate Shonanko, Kawachi.

四條巖神社

(河内)

河内國飯盛山の西麓に巍然として境域を開き、神殿壯嚴なるものを四條巖神社とす、明治二十二年の創建に係る別格官幣社にして、南朝の忠臣楠正行及び一族戦死者の靈を祀り。

社地は敢て廣大なるにあらずと雖も、後は山峯を繞らるる前



四條躰神社

(河内)

河内國飯盛山の西麓に巍然として境域を開き、神殿壯嚴なるものを四條躰神社とす、明治二十二年の創建に係る別格官幣社にして、南朝の忠臣楠正行及び一族戦死者の靈を祀り。

社地は敢て廣大なるにあらずと雖も、後は山峯を繞らる前は田野遠く開け、近くは攝津、河内、和泉の三國を望み、遠くは播丹の諸山を糺糊の間に指點し、淡路嶋山を水天髣髴の中に認む、眺望快濶にして、しかも俗塵の氣を脱了し、頗る愛すべしとなす。

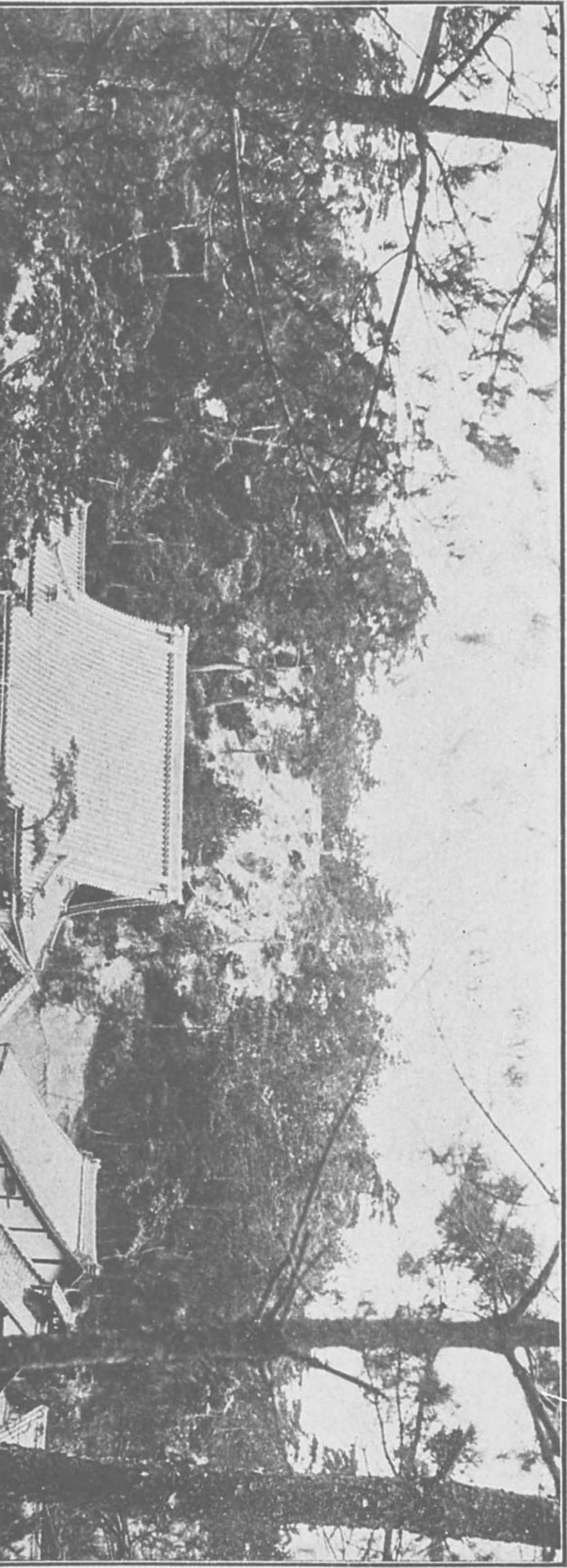
境の四圍に高さ二十五尺の石垣を遶らし、繪馬堂これに倚りて建つ、神殿は南面して別に瑞籬を以てこれを圍む、殿前に拜殿あり、祭祀所あり、その右に社務所を設く、社前の石階を下りて東直線に五町ばかり、こゝに華表を樹つ、高野街道の傍なり、この路傍一帯に楓樹を移植し、而して境内には幾千の櫻樹を栽え、加ふるに躑躅を點綴したれば、晚春首夏の候は爛熳たる花に酔ふべく、秋霜の日には紅於の觀を賞すべし、乃ち雅俗の賽人遊客常に雑沓す。

楠公正行卿の墓あり、高さ三十五尺の碑石を建て、贈從三位楠朝臣之墓の九字を刻す、墓地の境域は一千二百坪にして、こゝに周圍二十八尺といふ古樟樹あり、枝葉の四方に交垂すること方二十餘間、實に稀有の大樹といふべく、こゝより東北五町を距て、楠氏の一族にして、正平の役に正行と共に殉死せし和田賢秀の墓あり、而して四條躰の古戦場は本社南十餘町を隔てたる處なり。

THE TEMPLE SHIJYŌNAWATE.

This is in Kawachi district, not very far from Ōsaka by train, founded in 1889. It is celebrated as the site of Kusunoki Masatsura and his soldiers whom were patriotic men, also tombs are near by.





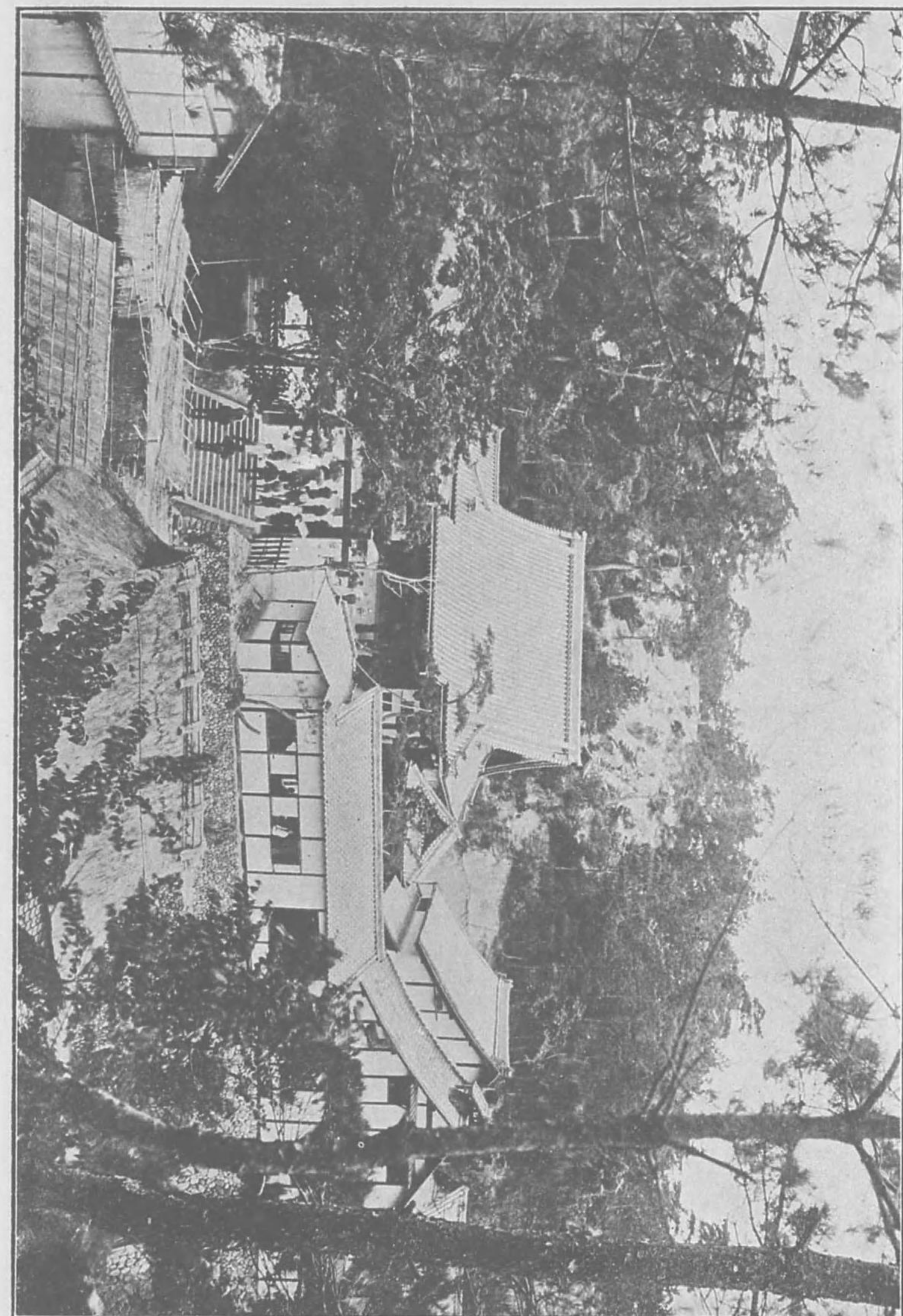
TAKITANI-YAMA-MYŌŌ-JI.

It is a Buddhism church in the province of Kawachi, not far from the Takitani-Fudō railway station, and many believers are crowded in the church always.

瀧谷山明王寺 (河内)

瀧谷山明王寺は南河内郡彼方村にあり、河南鐵道瀧谷不動驛より五丁、高野鐵道瀧谷驛より二十丁許に於て人車の便あり、幽邃閑雅四望開豁、遠く金剛葛城諸山を望み、石川東南を環流し風景頗る佳なり、堂は弘法大師の創建に係り、本尊は大師の一刀三禮して親作せる靈像にして根來成田と共に日本三不動と稱せらる、往古より武將の崇信深く、楠正成、畠山國政等篤く尊信し、特に國政は大般若經六百卷を寫して奉納せり、其後足利義詮の兵燹に罹り、堂塔伽藍盡く烏有に歸せしかど、獨り本尊及び兩脇士のみ其災を免れたり、世人此不動明王の靈驗不可思議あるを喧傳し、遠近より參籠するもの常に數十名に及ぶ、又山上に三十三觀音の石像あり、寺邊に瀧あり、參籠者の常に浴する處、古は西方數町の溪間にありしを近年暗渠を設けて此に移せるなり、亦五畿の一靈場たり。

鳥有の歸せくかど獲り本尊及び兩脇土のみ其災を
 免れたり、世人此不動明王の靈驗不可思議あるを喧
 傳く遠近より參籠するもの常に數十名に及ぶ、又山
 上に三十三觀音の石像あり、寺邊に瀧あり參籠者の
 常に浴する處、古は西方數町の溪間にあり、を近年
 暗渠を設けて此に移せるなり、亦五畿の一靈場たり。



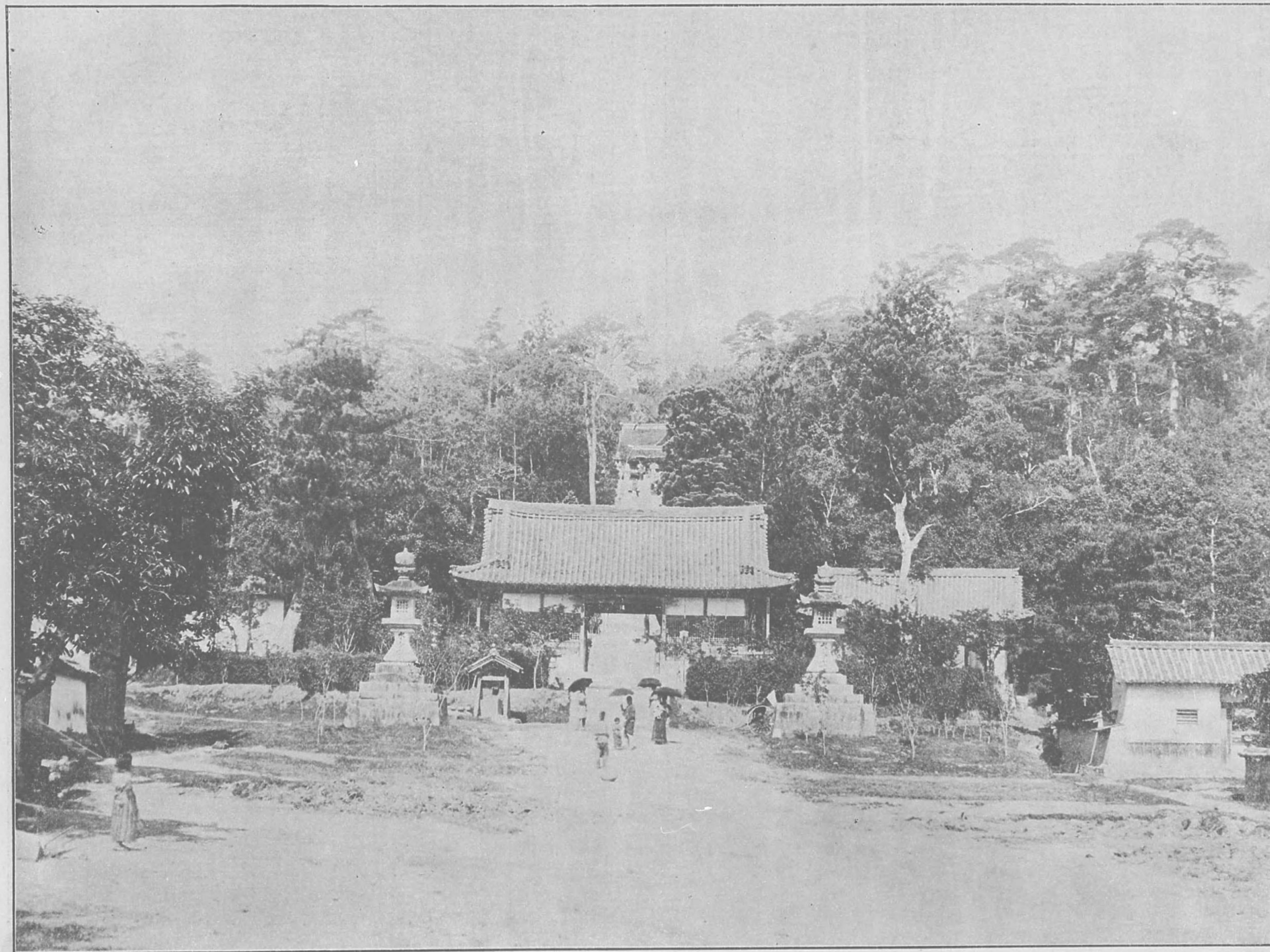
Takidani myōji, Kawachi. (内河) 寺玉明谷瀧



(2) (貳ノ其)

美具久留御魂神社

(河内)



(河内) 社神里久美
Mikuri Shintō Temple, Kawachi.

河内國南河内郡喜志村字旭岡にあり世俗之を喜志宮又は河内大社と稱す其創建は神代にありといへる古社にして出雲大社と並びて全國無比の靈跡なり祭神は大國主命荒魂神にして日本紀に 崇神天皇七十二年丹波氷香戸邊の小兒に神託あり依りて祀らせ玉ふと云ふ古へは綾池速備宮佐美陀禮宮旭岡宮本國一の宮とも云へり現今の社殿は後醍醐天皇の詔により楠正成の再建したるものあり攝社に白雲神社皇大神社末社に青箭宮熊野神社南木宮紫天滿宮旭岡神社富榮稻荷社の九社あり就中白雲神社は南朝四代の 兩陛下を祭りたる靈廟に

美具久留御魂神社

(河内)

河内國南河内郡喜志村字旭岡にあり世俗之を喜志宮又は河内大社と稱す其創建は神代にありといへる古社にして出雲大社と並びて全國無比の靈跡なり祭神は大國主命荒魂神にして日本紀に崇神天皇七十二年丹波氷香戸邊の小兒に神託あり依りて祀らせ玉ふと云ふ古へは緩池速備宮佐美陀禮宮旭岡宮本國一の宮とも云へり現今の社殿は後醍醐天皇の詔により楠正成の再建したるものかり攝社に白雲神社、皇大神社末社に青箭宮、熊野神社、南木宮、紫天滿宮、旭岡神社、富榮稻荷社の九社あり就中白雲神社は南朝四代の兩陛下を祭りたる靈廟にして應永八年北山宮の命を奉へ楠正秀の勸請せしものなり天文八年後奈良天皇の御幸拜あり亦神跡は櫻町天皇齋服の御袖に包ませられ親しく勅封あらせられしかば固より窺ひ知るべきにあらざれども傳へ云ふ黄金の神鏡なりと青箭宮は南朝の正統なる北山宮尊泰親王以下御歷代を祀り世に喜志若宮と稱す境内一万一千八百六十八坪松柏楓樹鬱々として古色を帯び此に詣する者自ら神威の彌高きを覺ゆ旭岡は櫻楓躑躅を以て世に聞へ杜鵑も亦著名なり土地高燥にして、

MIKUKURUMITAMA SHINTŌ TEMPLE.

This temple is founded in the far ancient time, so called Jindai, before the Emperor Jimmu, being as old as the Idzumo-Ōyashiro. It situates in Asahiga-Oka, Kishimura, Minami-Kawachi-gōri, Kawachi, opposite to the Kishi Station of Kanan Railway. Present temple is rebuilt by Kusunoki Masashige in the command of the Emperor Godaigo. Ceremonial performances in olden style are kept yearly on the 11th of Feb. & Nov. old calender, and general festivals on the 15th July & 17th Oct. every year. Asahiga-Oka is noted for cherry blossoms in spring time and for red leaves of maple trees in Autumn. It is a pretty high hill and affords a beautiful view of the mountains Congō, Katsuragi, Futakami and Shigi. So that you may go and can take amusement in every season.

佐保野石川を隔て、金剛葛城、二上志貴等の諸山を望み山櫻咲き亂れて春の錦をかざり夏は綠蔭に子規啼き秋は滿山紅葉して錦霞をたかびかゝ葛城山頭月明かに真如の相を觀せしむる等一として詩趣に入らざるはかゝ名蹟には天水淵、高天原蓋塚、楠勝琳墓、全賢海墓、櫻井、粟池、雲櫻、北山宮墓、北山城趾の梅林、涙垂の梅、旭岡の櫻等境内及其接近にあり就中蓋塚は俗に長慶天皇の御陵かりと云ふ雲櫻は北山宮尊賢王、涙垂の梅は南朝の王孫下の坊正祐公の御手植かりと傳ふ其他南朝遺跡に就て見るべきもの頗る多く毎年七月十月には大祭を執行す即ち河内三大古祭の一にして河南鐵道によれば喜志停車場は其社前にあり。



妙國寺

(和泉)

堺市にて名所はと問は、先づ指を屈するものは妙國寺なるべし。寺は敢て他に特出せし勝景あるにあらざといへども、その名聲を博せしものは實に蘇鐵樹あるがためなり。

寺は材木町にあり、日蓮宗にして僧日珙なるもの、開基といふ相傳ふ昔し永祿五年に油屋某なるもの深く佛門に歸依し、殊に日蓮宗を信せり、薙髮して常言と號し、喜捨して佛堂を建立せしを、その後三好之康亦これに歸依して寺額を寄附したりといふ、寺域は三千百五十一坪に過ぎずといへども、城内頗る清麗にして、帚痕常に白砂に印し、亦穢埃を留めず、有名なる蘇鐵樹は方丈の前にあり、本堂の裏手、潜り門に至れば既に亭々として、牆扉の外に表出するを見る、樹幹の高さ實に二十尺に達し、二十三岐の大枝四方に蔓延して、延袤は正に十五六坪を蔭翳すべし、花崗石の石柵を以て之を遶らす、傳へいふ、年を経ること既に四百年に餘れりと、然れども猶ほ毫も蒼翠の色を變せず、實に希世の珍といふべし、幹根大小釘を投すること數百万本、恰も枯松葉の散たる如し、その稚根は實に數ふるに違あらざるなり。

本堂には日蓮上人及び日珙僧正の像を安置す、その西に三重の塔あり、有數の舊刹たり。

MYŌKOKU-JI.

Myōkoku-ji is a famous and very old Buddhist Temple at Sakai, in the province Idzumi, founded by Nikkō a priest. There is a sago-palm tree, more than four hundred years old, in the temple small gate side.

濱寺公園

(和泉)

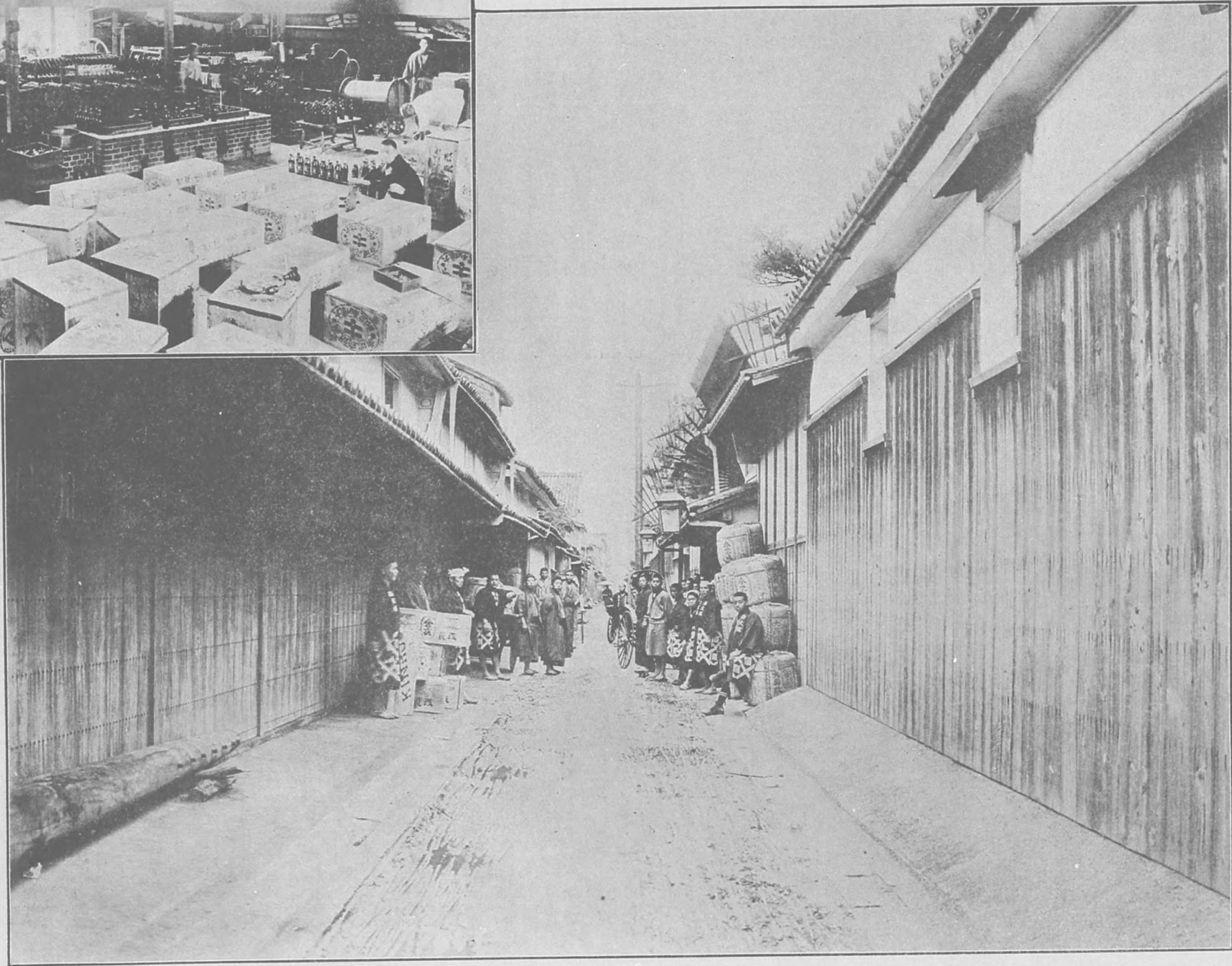
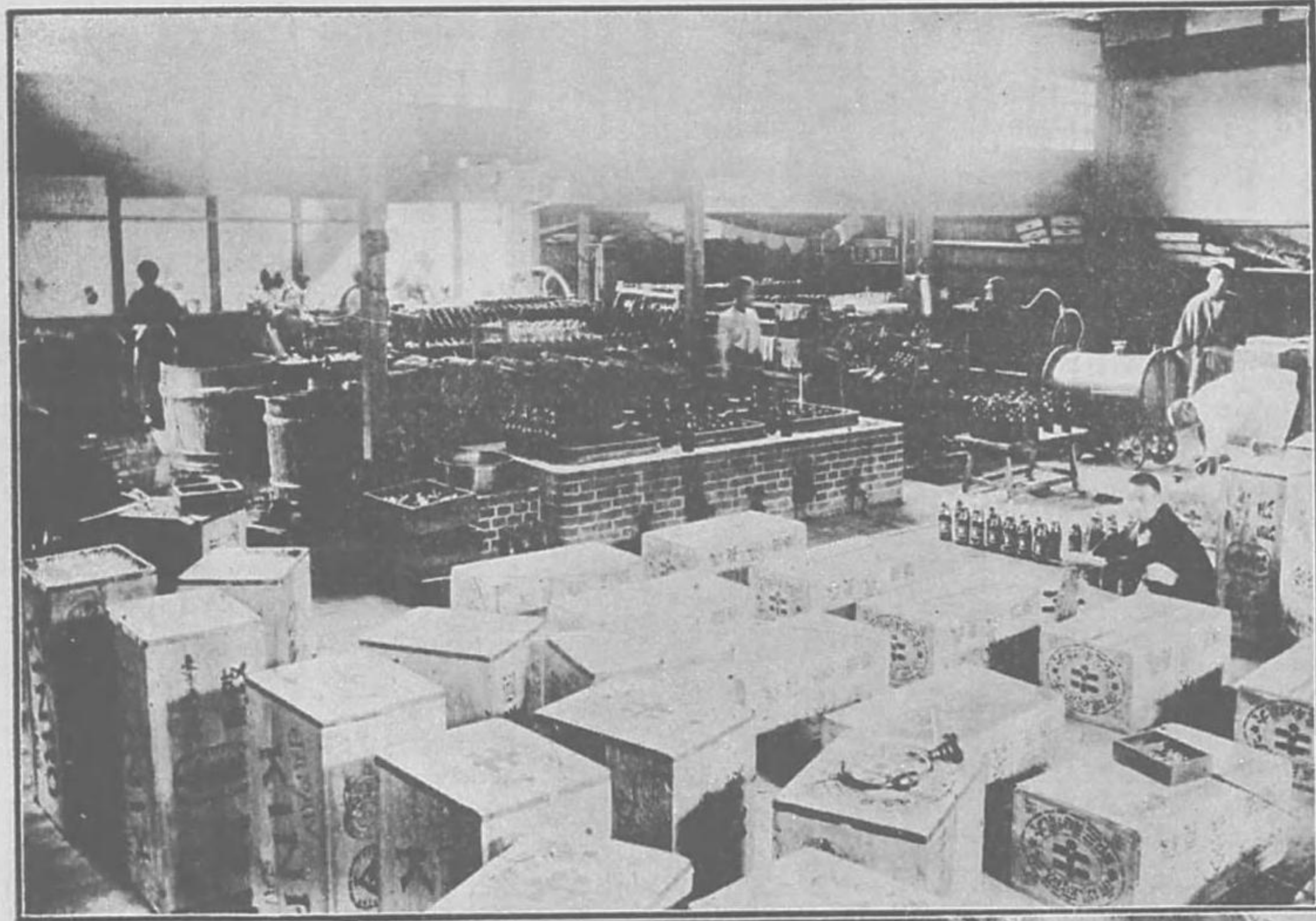
大阪の近境海濱の勝境を稱するもの、堺の大濱及び濱寺となす、而して大濱は濱寺の幽雅にして且つ風景に富めるに如かざるなり。

濱寺は和歌山街道の船尾より今在家に亘る海濱を總稱せるものにして、貫之が沖津浪たかしの濱のはま松の名にこそ君を待わたりつれと詠みし高石の濱の一部なりとす、その廣袤凡そ四十六町餘歩、今これを濱寺公園といふ、白砂平なる處老松偃蹇枝幹交錯蔚然林をなせるもの、その幾千株なるを知らず、海濱に立て佇望すれば、南は紀州の連山を一眸の中に收め、北は須磨明石を縹緲の外に望み、而して高く鐵拐摩耶等の翠巒を指點す、白帆の泛々たる涼笛の悠揚たる、殊に淡路島の呼べば應へんとするなど、實に忘るゝ能はざるの好畫圖たり、旅亭及び旅館あり、夏季は海水浴最もその盛を極む、南海鐵道に依れば一時間を費さずして達すべし、亦一の仙臺といふべきなり。

HAMADERA PARK.
Hamadera park is in sea shore of Sakai, Idzumi, not far from Ōsaka. There are planted many old pine trees and the park is the same Suma and Maiko.

これを聞く、この地昔し元享年間三光師の創設せし大雄寺の名刹ありしと、地を濱寺と稱するもの蓋し是れより來りしならん歟。



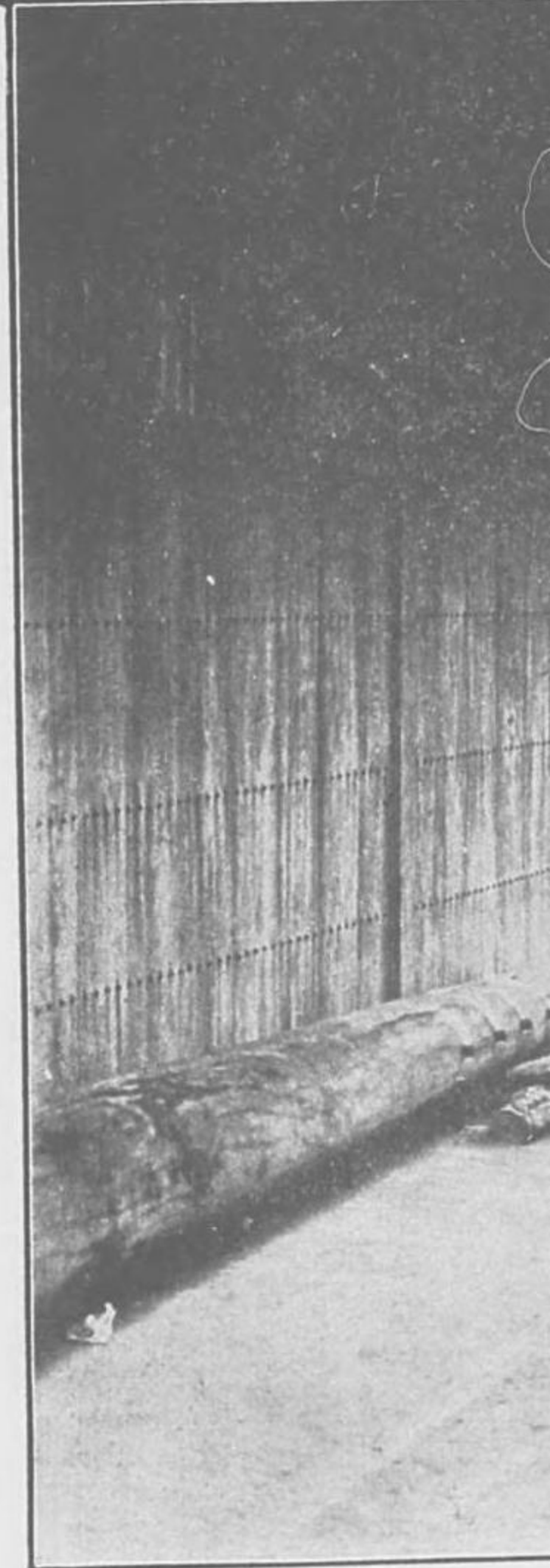
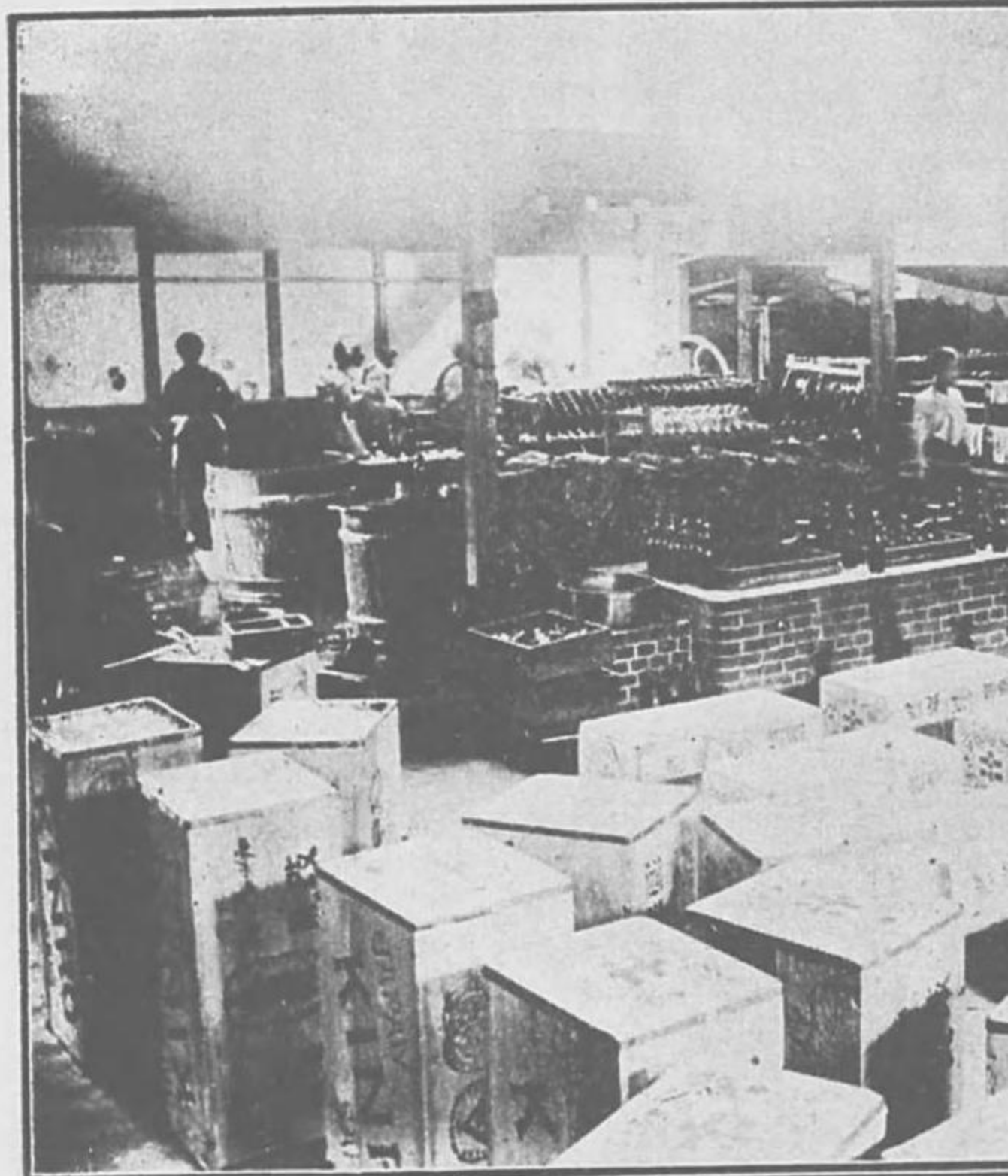


金露印清酒醸造元大塚商店

大阪府堺市(電話特拾九番
電信略號オツカ)

本邦清酒の最優等品として、其の主産地として夙に内外國に稱揚せらるゝものは堺及び灘とす、中にも堺市大塚商店に於て醸造する所の金露印清酒は、品質醇良にして香味絶佳間然する處あり、是を以て名聲内外に轟き殆んど旭日冲天の勢あり、明治三十一年中より宮内省御用品の恩命を蒙り、尙ほ海陸軍酒保の用品たるのみならず、第二回以後の内國勸業博覽會に於て有功賞を受け、佛國米國等の大博覽會に進歩賞及び銀牌を受領し、五二會品評會、全國意匠工藝博

(泉和) 郎三和塚大元造醸酒清印露金
W. Ōtsuka, Kinrojirushi Saké Brewing Manufactory, Idzumi.



金露印清酒醸造元大塚商店

大阪府堺市(電話特拾九番)
電信略號オツカ

本邦清酒の最優等品として、其の主産地として夙に内外國に稱揚せらるゝものは堺及び灘とす、中にも堺市大塚商店に於て醸造する所の金露印清酒は、品質醇良にして香味絶佳間然する處なく是を以て名聲内外に轟き殆んど旭日冲天の勢あり、明治三十一年中より宮内省御用品の恩命を蒙り、尙ほ海陸軍酒保の用品たるのみならず、第二回以後の内國勸業博覽會に於て有功賞を受け、佛國米國等の大博覽會に進歩賞及び銀牌を受領し、五二會品評會、全國意匠工藝博覽會等において金銀牌を受け、その他各地の品評會又は共進會に名譽ある賞牌を受けしもの枚舉に遑あらず、其の販路は既に内國に徧ねきのみならず、遠く清、韓、米國、露、領、浦、潮および布哇等の諸國に搬出するもの年に其の數を増し、現

Ōtsuka Kinro Jirushi Saké Brewery.

Telephone special No. 19.

SAKAI-SHI.

The company is a very famous Saké brewer in Japan. The company makes success for export to China, Corea, United States, Vladivostock and Sandwich Island etc. The annual production of the company is about 21000 koku, payable tax is yen 300.000. Mr. Wasaburo, founder of Ōtsuka Brewery, opened many factories in Sakai and Nada district, has an honor of contract under Imperial House Hold, and also many medals at various exhibitions in the world.

り。氏の清酒醸造を業とするや業已に舊く、安政三年に至り家傳獨特の醸造法に一大革新を加へ、始めて金露の銘を冠して市場に試みしに、名聲忽ち遠邇に轟き、特別上銘酒の製造場として金露場ある稱呼を博せしか、爾來年と共に發達進歩し、當主和三郎氏に至り益々改良に盡瘁し、堺及灘に數ヶ所の醸造支場を設け、一方には試験所を置いて學理的試験を行ひ、一方には原料を撰擇し、容器包装を改善する等用意周到ありと謂ふべし、その酒界の霸王を以て稱せらるゝも溢美にあらざるあり。

淺香久平

(大阪府堺市綾の町西一丁)

淺香鐵器製造所は天正年間の創業にして爾來年を閱すること三百有餘、其間堺の特産たる打刃物及諸金物製造販賣問屋を營み其製品は全國到らざる處かき、明治八年度量衡の改正に際し度器の製造を命ぜられ、かば傍ら之が製造を始めたり、後明治十六年改良稻扱を發明し、續て「バケット」洋手洗、建築用具其他舶來模造金物及鍋釜、珪瑯燒食器等の製造を始めしが工場が狭隘を告げたる爲め更に増設して度器及鍋釜、珪瑯燒食器は分店に於て製造すること、せり、而して當時土木工業の熾に行はるゝに關せず、其要具の製造家かく全然輸入を仰ぐの形勢あるを慨し、即ち「スコップ」「シヨベル」及土工一切の要

K. Asaka Iron works Manufactory.
Nishi 1-chō, Ayanomachi, Sakai.
Asaka Iron works manufactory is established in 1600, A. D. The manufactory is a contractor of the government and an exporter for Vuradivostock, Corea, China, etc.
The manufactory has received many medals at various exhibitions.

具の製造を始め、爾來之が經營に苦心し、新式機械を使用し、多年經驗したる祕法を應用し、原料の撰擇に意を須ね、幾多の辛酸を嘗めたる結果完全無缺のもの製造するに至り、陸海軍省及諸官廳より用達を命ぜられ、販路は頓に擴張して九州北海道中國を始め、内國到らざる處かく、近年露領浦鹽斯德、清韓兩國等に輸出するに至り、品質の佳良あると使用上輕便にして加ふるに價格低廉なるを以て需用家の大喝采を博し、輸入品に比し遙に優れりとの好評

を得て今日の盛境に達せり。現に打刃物及「スコップ」「シヨベル」鍋釜、珪瑯燒其他製品は第一回より第四回に至る内國勸業博覽會及各地の製産品評會、五二會共進會等に出品し、前後十數回悉く賞牌を受領せり、以て其如何に名聲を博せるかの一斑を知るべきあり。同所は商號を淺香本店及鐵器製造所と稱し、商標は象印旭印、象印を用ふ、而して其製品の種類は諸打刃物、舶來模造金物、象印「スコップ」「シヨベル」土工用品類等とす。





(版大) 所造製器鐵平久香淺
K. Asaka, Iron works Co.

を得て今日の盛境に達せり。
現に打刃物及「スコツプ」シヨベル鍋釜珪瑯焼其他製品は第
一回より第四回に至る内國勸業博覽會及各地の製産品評
會、五二會共進會等に出品し前後十數回悉く賞牌を受領せ
り、以て其如何に名聲を博せるかの一斑を知るべきあり。
同所は商號を淺香本店及鐵器製造所と稱し、商標は象印旭
印、象印を用ふ、而して其製品の種類は諸打刃物、舶來模造金
物、象印「スコツプ」シヨベル「土工用品類等」す。

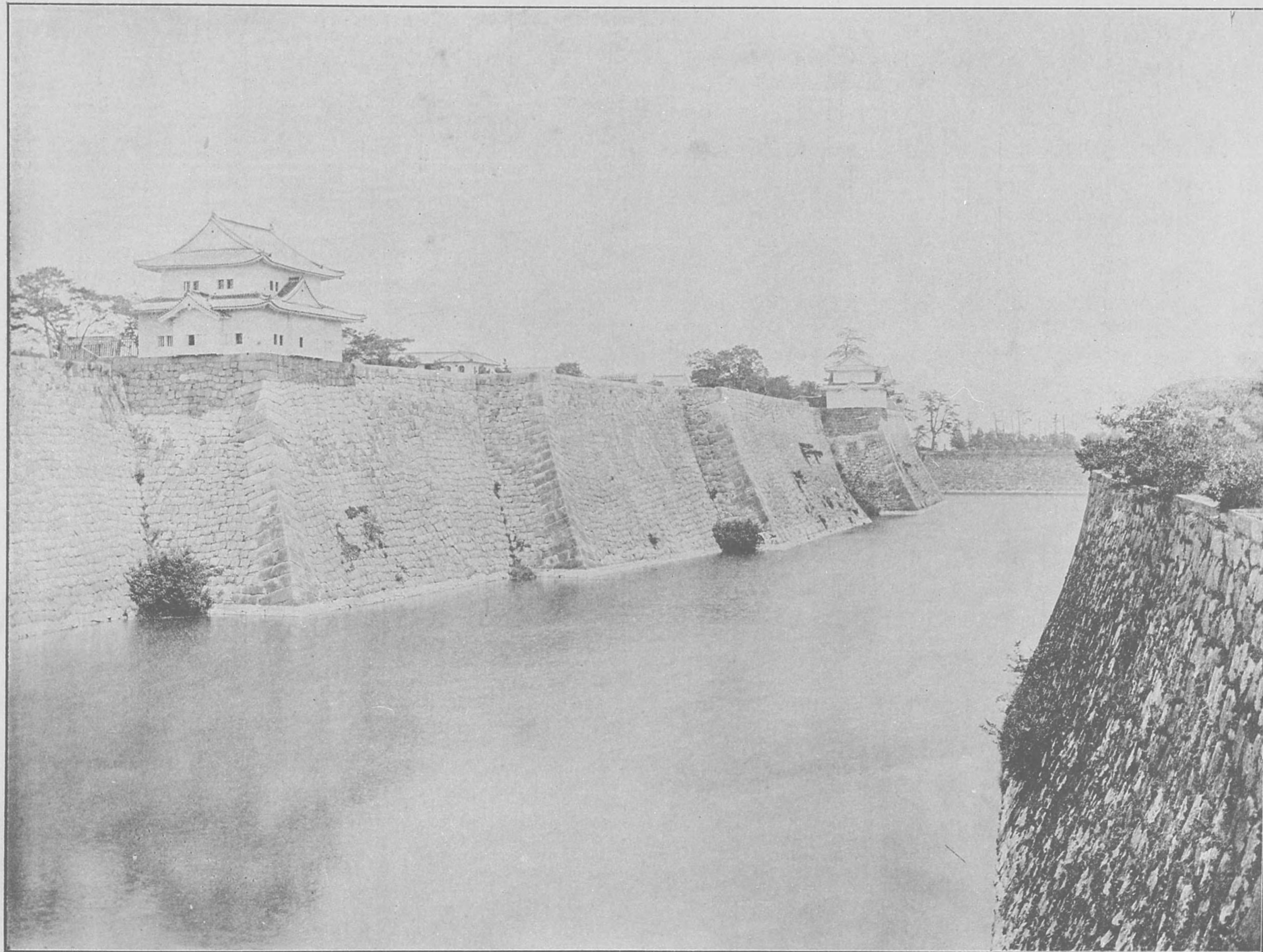
Asaka
A. D.
ment ar
etc.
The
various

て加ふるに價格低廉なるを以
て需用家の大喝采を博し、輸入
品に比し遙に優れりとの好評

大阪城 (大阪)

大阪城は一に錦城と號す、大阪市の東部にあり、巍然として雲表に聳はたり、天正十一年豊臣秀吉の築くところにして、其の周圍一里餘、今はたゞ牙城を存するのみ、聞く古は城地極めて宏大にして、その外郭は今の道頓堀より東横堀に達せよといふ。

此の地は往昔蓮如上人始めて坊舎を建て、石山本願寺と稱せしが、顯如上人に至り、織田信長と戦ひ、雌雄久しく決せず、



(大阪) 城 阪 大
Castle Osaka.



大阪城

(大阪)

大阪城は一に錦城と號す、大阪市の東部にあり、巍然として雲表に聳じたり、天正十一年豊臣秀吉の築くところにして、其の周圍一里餘、今はたゞ牙城を存するのみ、聞く古は城地極めて宏大にして、その外郭は今の道頓堀より東横堀に達せしといふ。

此の地は往昔蓮如上人始めて坊舎を建て、石山本願寺と稱せしが、顯如上人に至り、織田信長と戦ひ雌雄久しく決せず、朝命を以て和睦し、顯如は紀伊に退きたり、是に於て豊太閤この地形を相し、石壘を高くし、濠渠を深くし、天下の名城を築きしかり、其の石材は諸侯の寄附に係り、遠く百里の外より運搬し來れるものにして、今猶ほ百牛の力を以てするも

揺かし難しと想はる、巨石を石壘の中に觀る、太閤の氣宇四百餘州を呑むの慨あるを想望すべきあり。

東南は玉造の平原に接し、東北には猫間川、寐屋川の二流を擁し、大手、京橋、青屋、玉造の四門を開く、元和元年豊臣氏全く滅びてより、徳川氏これを修築し、て松平忠明に賜ひ、同八年内藤氏を擧げて之を守らしめしより、三百年の間城代をして之を守護せしめしが、明治戊辰の役に官軍の有するところとあり。

今は第四師團の本營として、司令部、經理部、軍樂部等その内にあり、明治三十二年攝河、泉の野に大演習のありしや、皇上陛下大元帥として親臨あらせ給ひ、城内に行宮を定め給ふ。

城外には師團の諸營をはじめ、砲兵工廠あり、衛戍病院あり、偕行社あり、その他の建造物猶多く、而して天主臺の跡には午砲臺を設けて日午を報せしめ、又大阪市水道の貯水池を設けたり。

THE CASTLE ŌSAKA.

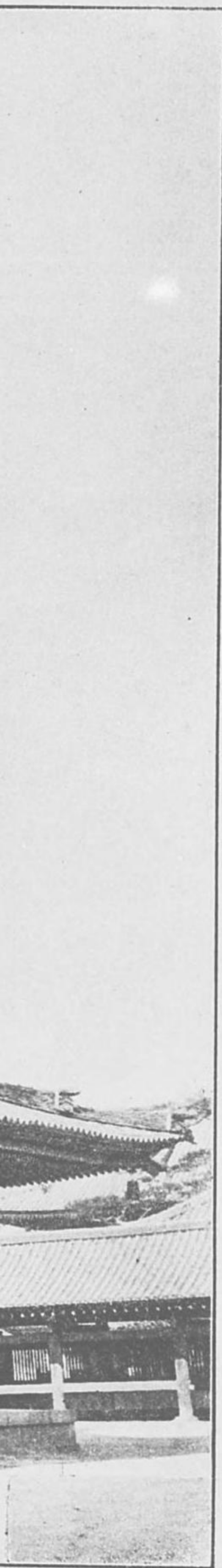
The Castle Ōsaka is in the city. It was built by Toyotomi-Hideyoshi in 1600. A. D. Of later years, it has been occupied as head quarter of the 4th division of the Imperial Army. It is celebrated as biggest stones used in.

四天王寺 (大阪)

大阪市の東南端に有名なる古刹あり四天王寺といひ、荒陵
 山と號し天台宗とす、相傳ふ今を距る一千三百四年の昔、
 用明天皇の二年に聖德皇太子初めて東成郡玉造の岸に草
 創し給ひしが、海波時に來りて岸を壞し惡禽常に來りて佛
 閣を啄むを以て、推古天皇の元年に同地を南に去ること
 三十餘町、荒陵の東に卜して移せしもの即ち今の地かりと、
 後ち天正及び元和年間に二回兵燹に罹りて燒亡せしを、寛
 文四年に至り徳川家綱命じて殿堂伽藍を再築せしめ、以て
 儼然として端麗なる舊觀に復せり、今の堂塔即ち是かり。
 境域は東西八町南北六町餘、西を表門として石の大華表を
 樹つ、内に樓門ありその正面は有名なる五重塔とす、屹然雲
 表に聳へ結構極めて巧緻かり、塔の北にあるは金堂にして、
 本尊は百濟王の作如意輪觀音、脇壇には彌勒佛、四天王、波羅
 門等の像を安んじ又佛舍利數粒を藏む、その北あるは聖德
 太子の經文を講せしといふ講法堂にして、無常院の鐘はそ
 の北にあり、其の傍に小池あり池上に石の舞臺を架す、其の
 北ある六時堂は傳教大師の草創にして、叡山の根本中堂を
 摸せしものかりといふ、東南に太子堂あり聖德太子の像を
 安んず、其の入口は猫門にして門
 上の猫は左甚五郎の作といふ、そ
 の他三昧堂、龜井の水、轉輪堂等猶
 ほ多し。
 近年西北の地に櫻樹および胡枝
 花の類を栽じて公園地とせしが、
 今は縦遊を禁じたり、聖德太子紀
 念の巨鐘は、明治三十六年の春に
 竣成すべし、其の高さ二丈六尺重
 量四萬二千貫目といふ。

SHITENNŌ-JI.

Shi-tennō-ji, or the "Temple of the
 Four Divinities of India", is among the
 oldest Buddhist temples in Japan. It
 belongs to the Tendai sect, and is said
 to have been founded in A. D. 587, by
 Shōtoku-Taishi, the posthumous title of
 the Prince Umayado, the chief minister
 of the state in that day and the first
 great patron of Buddhism.





(阪大) 寺王天四
Tennōji, Temple.

の他三昧堂、龜井の水、轉輪堂等猶ほ多し。
近年西北の地に櫻樹および胡枝花の類を栽じて公園地とせしが、今は縦遊を禁じたり、聖徳太子紀念の巨鐘は、明治三十六年の春に竣成すべし、其の高さ二丈六尺重量四萬二千貫目といふ。

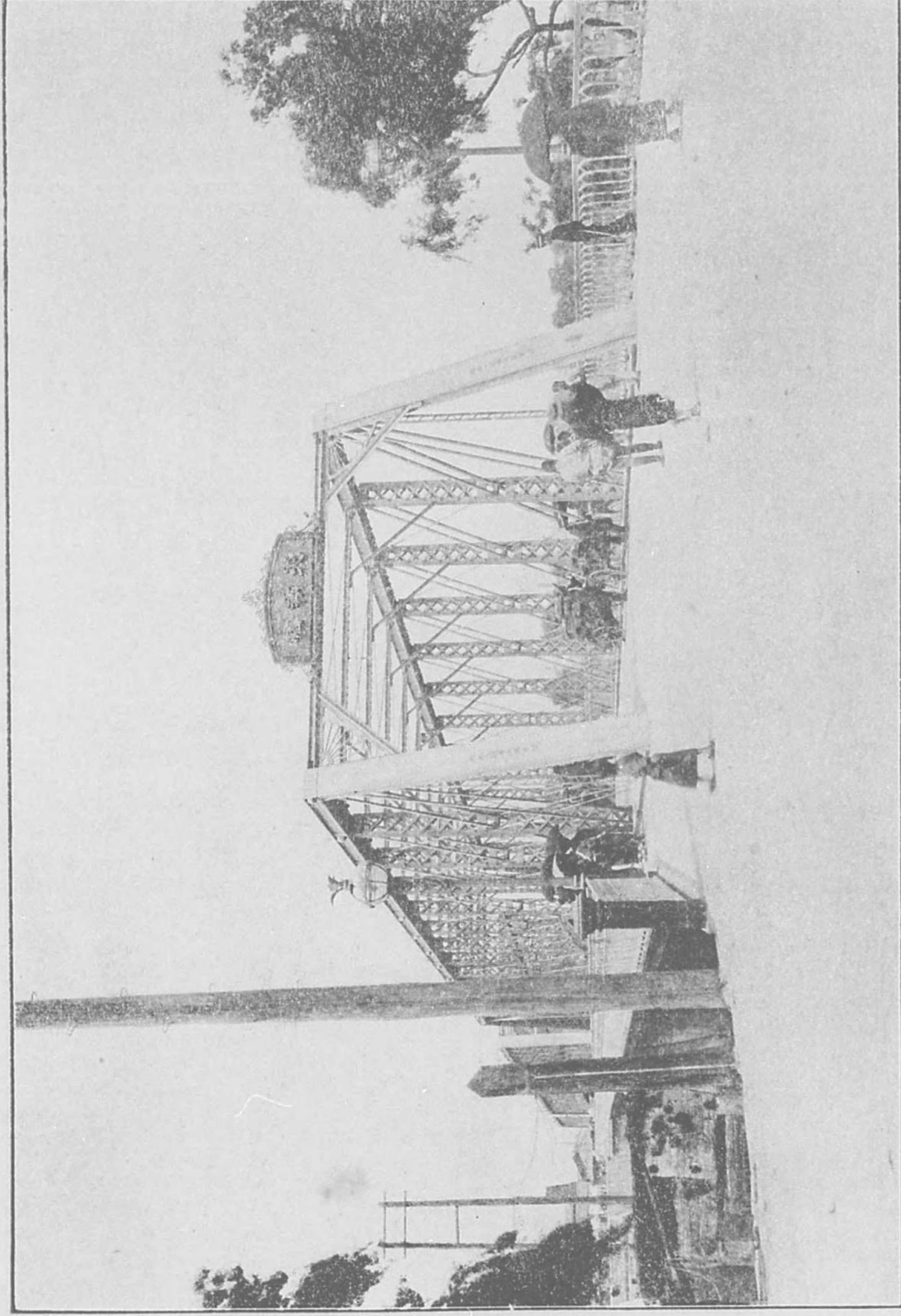
SHITENNŌ-JI.

Shi-tennō-ji, or the "Temple of Four Divinities of India", is among the oldest Buddhist temples in Japan. It belongs to the Tendai sect, and is said to have been founded in A. D. 587 by Shōtoku-Taishi, the posthumous title of the Prince Umayado, the chief minister of the state in that day and the great patron of Buddhism.

天満天神橋

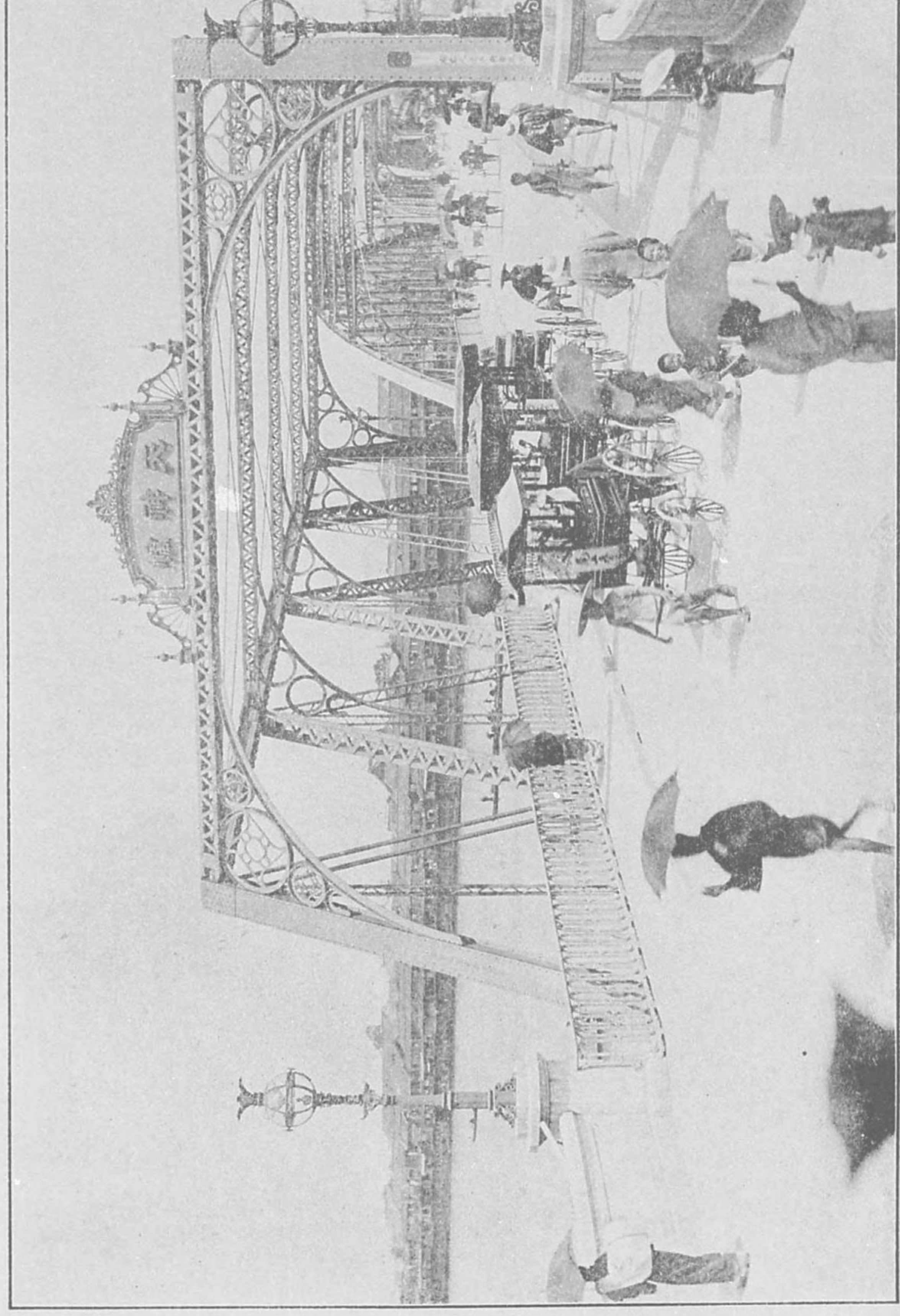
(大阪)

大阪市に三大橋あり、天神、天満、難波橋にして、而して天神橋を以て巨擘とあす、其の長さ百三十一間餘、幅六間の鐵橋にして、構造頗る堅牢なるのみならず、其の欄干は一は方に一は圓に、形狀奇巧にして、實に偉觀とあす、元は普通の木橋を架せしが、明治十八年の洪水に、天満橋と共に流失せしが故



天満橋 (大阪)

Osaka, Tenma Bridges.



天神橋 (大阪)

Osaka, Tenjin Bridges.

天満天神橋

(大阪)

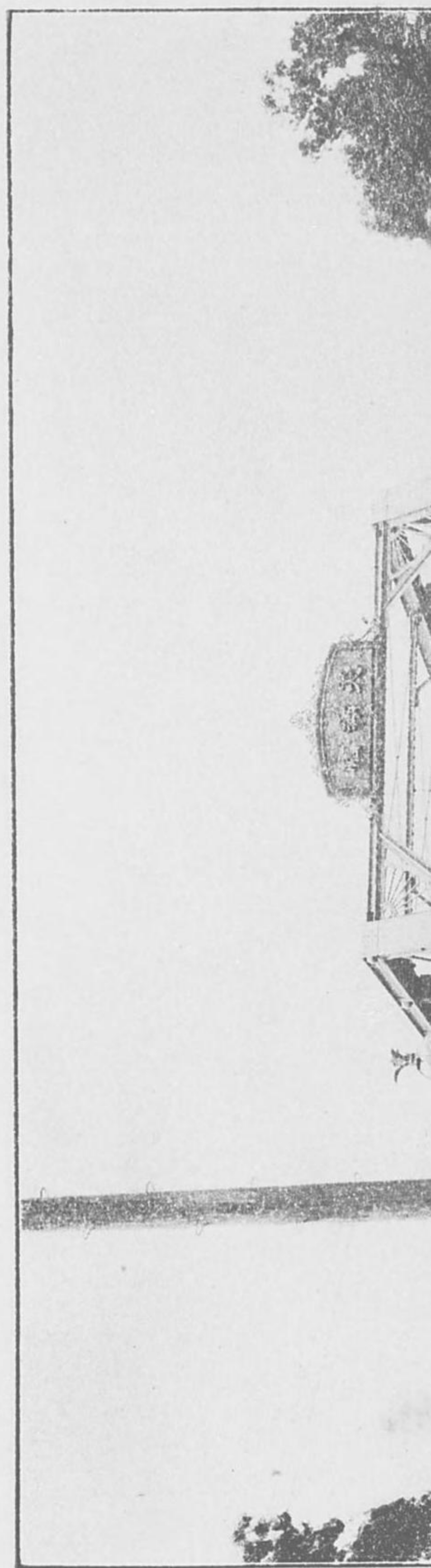
大阪市に三大橋あり、天神、天満、難波橋にして、而して天神橋を以て巨擘とあす、其の長さ百三十一間餘、幅六間の鐵橋にして、構造頗る堅牢なるのみならず、其の欄干は一は方に一は圓に、形狀奇巧にして、實に偉觀とあす、元は普通の木橋を架せしが、明治十八年の洪水に、天満橋と共に流失せしが故に、終に此の一大工事を起して、一の名勝を添へり。こゝより西難波橋に至るの間は、世に名高き大川納涼の區にして、毎年炎暑の候に至れば、無数の涼船はその間に蟻集し、烟火の技は常に中空に華さく、其の盛況は筆舌の能く及ぶ所にあらず、以て東京の兩國、京都の四條に比し、勝ることも劣ることあらざるかり、而して橋上の遊客亦絡繹として織るが如し。

その東ある天満橋はこれに亞ぐの長橋にして、長さ百十七間六分、幅六間あり、その結構は前者と伯仲す、橋の三分一の間所に東に行くの堤あり、これを將基島と呼びて、備前島及び網島の街道とす、橋上より東南を仰げば、古松翠を凝らすの間に錦城を望むべく、風景頗る佳絶かりとす。

天満、天神二橋の北岸には、蔬菜および鮮魚、乾魚等の市場あり、極めて雑沓繁昌をかせり、有名なる天満天神は、天神橋の北詰より北五六町にあり、造幣局は天満橋の北岸より東へ二町川崎町にあり、その建築の壯麗なる、その構内の廣潤なる、亦以てこの邊の景趣を添ふるものと謂ふべし、二橋の下に舟を蹴し、綸を垂れ網を投ずるも亦消暑の一娛かりとす。

TEMMA AND TENJIN BRIDGES.

These are longest, finest and strongest iron bridges in Ōsaka, both being about the same. In the moon night of summer and autumn, it is very beautiful sight from these bridges.





ぎが、明治九年一月祝融の災に罹り、同時に、舊稱を改め始めて辨天座と稱したり、功を竣り、同時に、舊稱を改め始めて辨天座と稱したり、開場未だ數日ならずして再び火災に罹り、更に屈するること益々改良を加へて新營を企て、同八月に至りて落成することを得たり、以來興行毎に喝采を博せざることをかき、明治廿二年に至り官より改築を命ぜられ、翌二十三年五月落成して其の構造最も完美を盡したり、惜いかか、廿七年五月又も祝融の襲ふところあり、一夕に灰燼に歸せり、是に於て直に新築工事を起し、更にその規畫を改良して同十月に之を落成せり、即ち今日の劇場にして五座中最も堅牢を以て稱せらる而して吉郎兵衛氏は翌廿八年を以て歿し、嫡子貴之氏これを襲ひて更に熱情を注ぎ、以て今日の盛況を呈するに至れり。憶ふにこの座の初めは粗造なる芝居小屋たるに過ぎざりしが、十數回の火災毎に一回は一回より改良を加へ、今日の大劇場たるに至り、而して實に大阪における演劇の嚆矢かりとす、則ち道頓堀の繁華に於ては與りて力ありと謂ふべきなり。

THE THEATRE BENTENZA.

No. 2, Higashi-Yagura-Machi, Minamiku, Ōsaka.
Telephone No. East 1884.

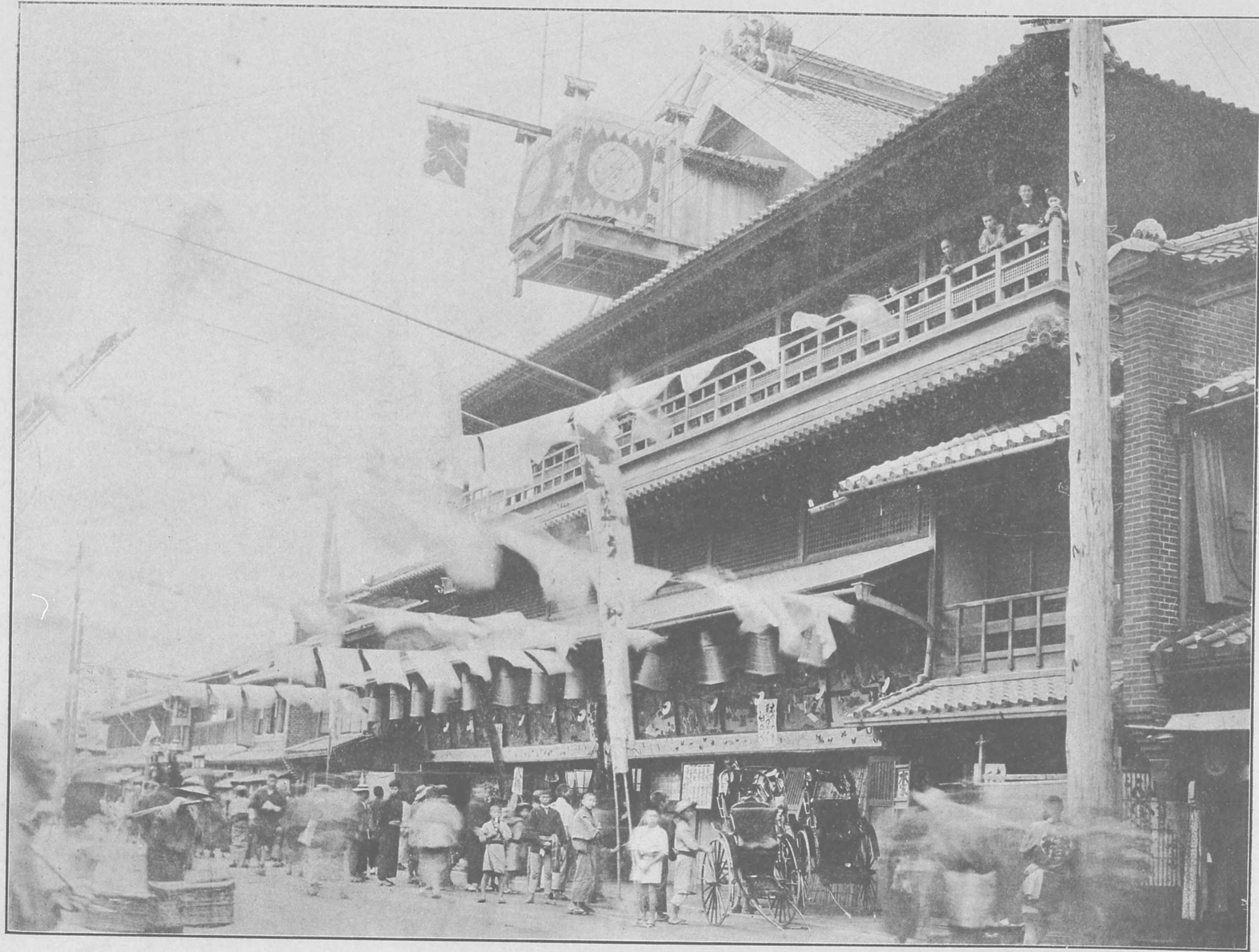
The Theatre Bentenza is the largest and oldest in Ōsaka. It was established by Inouye, about two hundred and seventy years ago.

The Theatre was burned many times and rebuilt. This Theatre can receive over two thousand of spectators and famous actors are attended there always. Owner of the Theatre is T. Amano, now.

辨天座

(大阪市南區東櫓町貳番地)
電話番號東千八百八拾四番

辨天座は道頓堀劇場五座の一にして、今を距ること二百六十餘年前、即ち寛文二年京都の人井市郎兵衛あるもの大阪に來り、操人形を興行したるを創始とす、門人清水理兵衛これを繼ぎ、始めて竹本座と稱せしが、寛永二年竹田出雲掾亦京都より來りてこれを繼ぎ、大に改良を加へて善美を盡せしより世人の屬目する所となり、竹田の芝居の名は遠近に噴々たり、爾來幾多の變遷と數回の交迭とを経て明治七年に至り、尼野吉郎兵衛氏父の遺業を襲



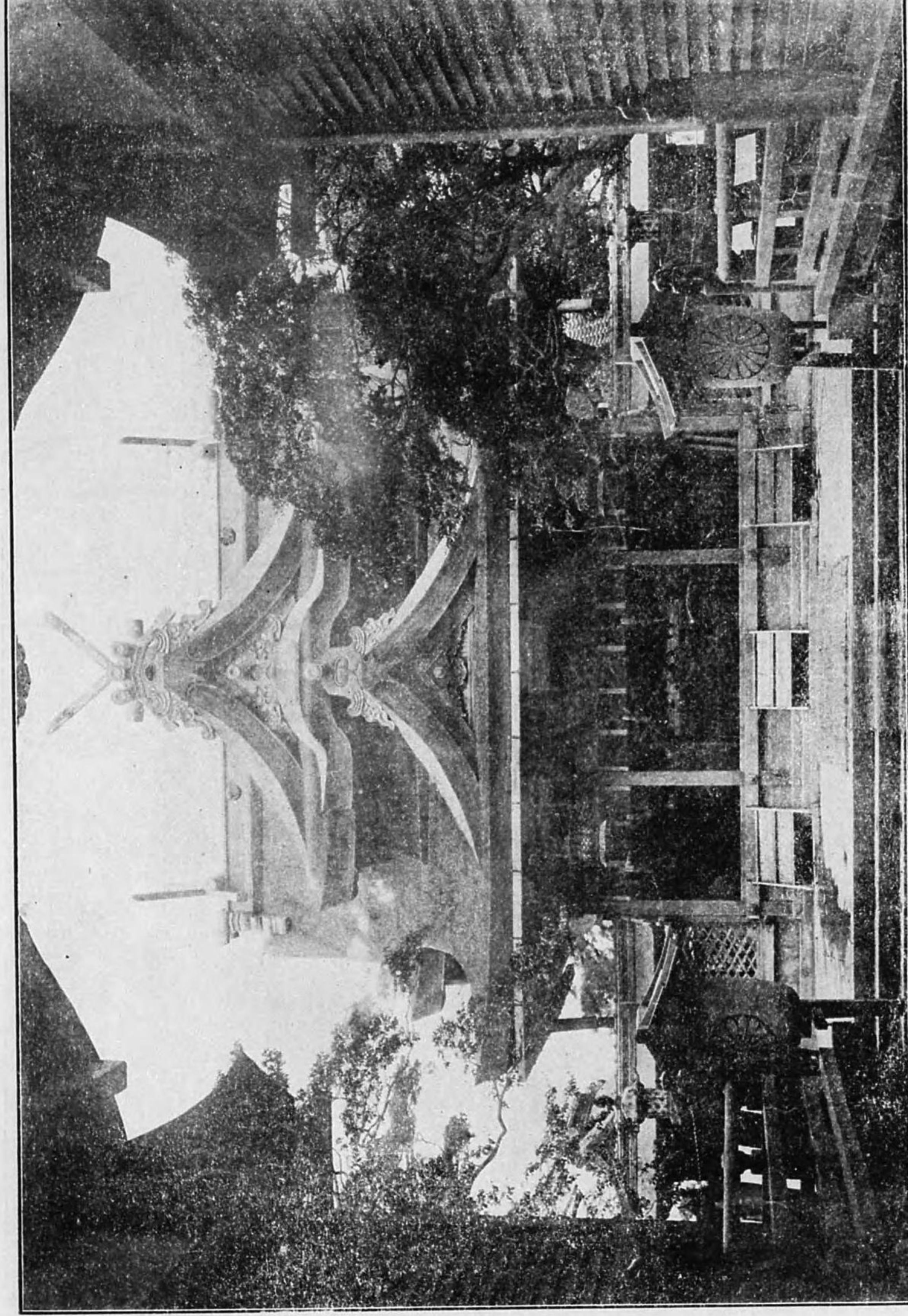
(阪大) 座天辨
Benten Theatre, Ōsaka.

して灰燼に歸せり、是に於て直に新築工事を起し、更にその
規畫を改良して同十月に之を落成せり、即ち今日の劇場に
して五座中最も堅牢を以て稱せらる而して吉郎兵衛氏は
翌廿八年を以て歿し、嫡子貴之氏これを襲ひて更に熱情を
注ぎ、以て今日の盛況を呈するに至れり。
憶ふにこの座其の初めは粗造ある芝居小屋たるに過ぎざ
りしが、十數回の火災毎に一回は一回より改良を加へ、今日
の大劇場たるに至りしあり、而して實に大阪における演劇
の嚆矢かりとす、則ち道頓堀の繁華に於ては與りて力あり
と謂ふべきあり。

生國魂神社

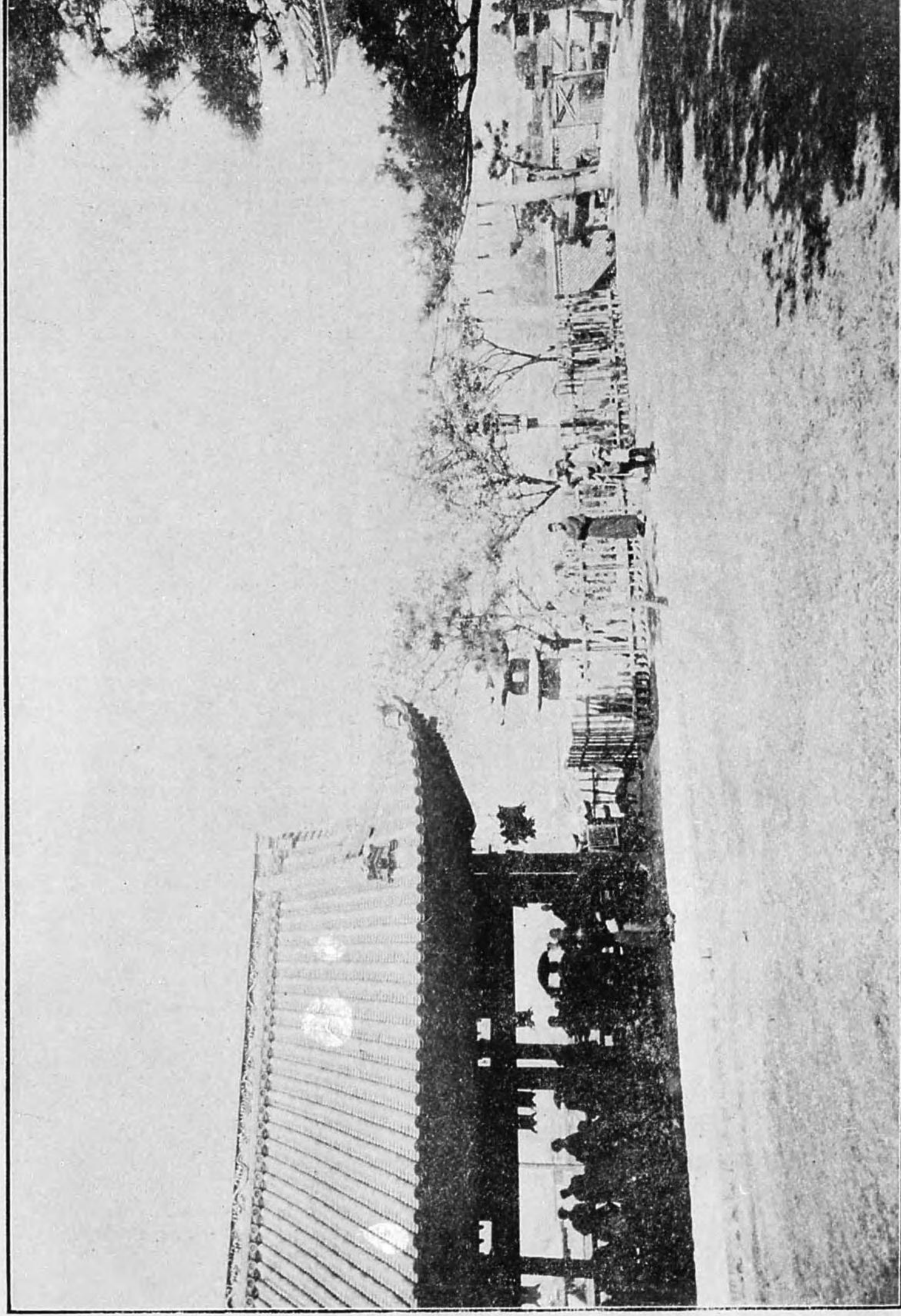
(大阪)

大阪市内の官幣大社にして名勝の一として、人口に喻余するところの生國魂神社は、市の東區生玉町にあり、地勢高燥にして境域極めて廣濶に、市井喧囂の間に介在して毫も世塵の侵すことなき勝地なり。
祭神は生國魂、足國魂の二神にして、大物主命を配祀せり、相傳ふ、應神天皇の三年古への難波崎に創祀せしを、後世明應年間に至りて蓮如上人本願寺御堂の傍らに遷坐すと、然れども古史の確徴すべきものなければ、これを詳かにすることを得ざるなり、降て天正年間に至り、織田信長本願寺と戦ひし時に本社も亦兵燹に罹りしを、同十一年今の地に小祠を營みて僅かに神靈を鎮したり、越えて慶長の初年に至り、豊太閤大阪城を築くに當り、大



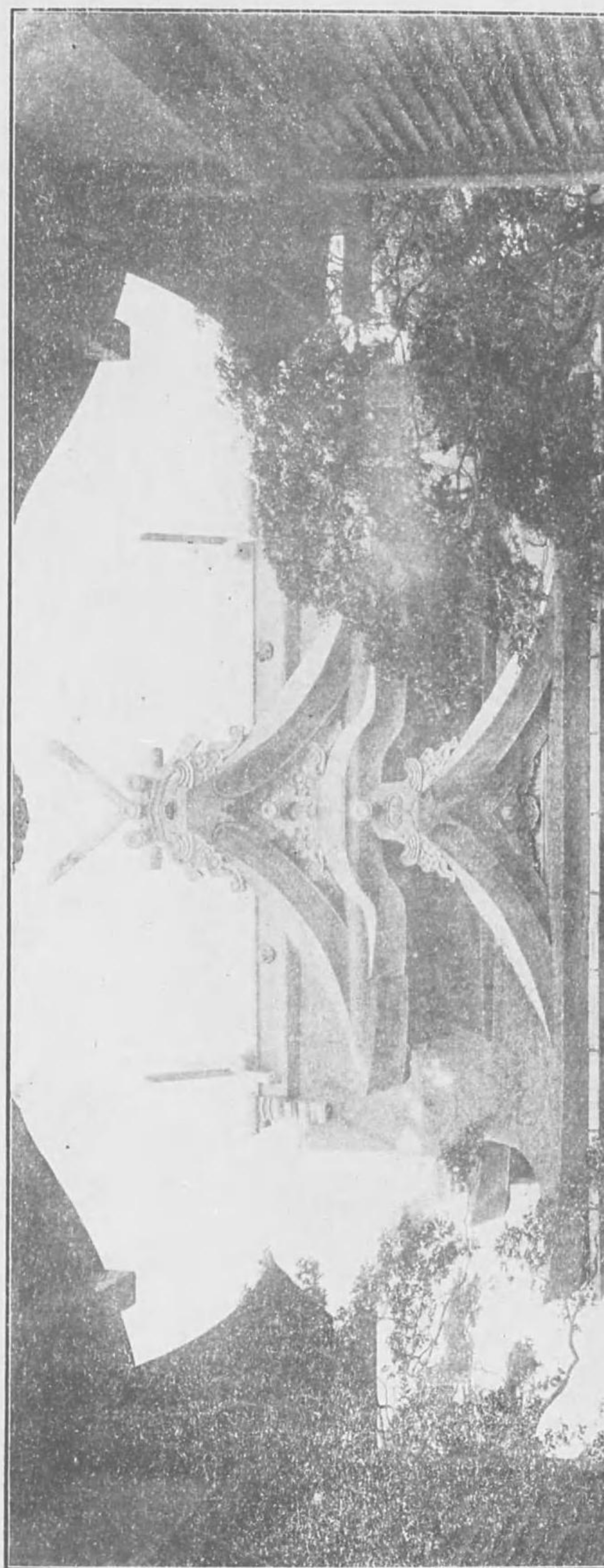
生國魂神社 (大阪)

Ikuhana, Shinto Temple, Osaka.



高津神社 (大阪)

Kodzu, Shinto Temple, Osaka.



生國魂神社 (大阪)

大阪市内の官幣大社にして名勝の一として、人口に膾炙するところの生國魂神社は、市の東區生玉町にあり、地勢高燥にして境域極めて廣濶に、市井喧囂の間に介在して毫も世塵の侵すことなき勝地なり。

祭神は生國魂、足國魂の二神にして、大物主命を配祀せり、相傳ふ、應神天皇の三年古への難波崎に創祀せしを、後世明應年間に至りて蓮如上人本願寺御堂の傍らに遷坐すと、然れども古史の確徴すべきものなければ、これを詳かにすることを得ざるなり、降て天正年間に至り、織田信長本願寺と戦ひし時に本社も亦兵燹に罹りしを、同十一年今の地に小祠を營みて僅かに神靈を鎮したり、越えて慶長の初年に至り、豊太閤大阪城を築くに當り、大に修營の土木を起し且つ社領を奉納せしより、現時の壯觀を呈するに至れり。

IKUTAMA TEMPLE.
Ikutama Temple is celebrated as the site of Shintō Temple, founded by Ren-nyo-Shonin, a famous priest. It was enlarged by Toyotomi-Hideyoshi. In spring, there are many visitors find the pleasure to look at cherry blossoms, and it is one of the beautiful sights in Ōsaka.

鳥居以内において行ふ、路なり。

高津神社 (大阪)

道頓堀を東に二ツ井戸に出で、その北の辻を東折すれば高津神社に賽するを得べし、實に市の南區高津町一番町にある府社にして、仁徳天皇、仲哀天皇、應神天皇、神功皇后、履中天皇を合祀せり、相傳ふ貞觀八年の昔、味原郷なる東成郡比賣古智神社の境内に草創せしを、天正十一年今の地に遷せり。

社地は高燥にして塵喧の外に卓絶し、老松蒼蔚として蹊路を狭む、梅が辻通より華表を入れば石橋あり梅の橋といふ、蓋し難波の梅より命せしものなるべし、橋畔にある湯豆腐屋は有名の料亭とす、橋を過ぎ石階を拾ひ盡せば社殿は南面に於て頗る森嚴を極む、その東に社務所あり、高臺之碑あり、社域敢て廣濶なりといふにあらざれども、清酒幽雅の趣は坐るに崇仰の情を起さしむ、社の東に高倉稻荷の祠あり、賽客朝暮に絶えず、殊に繁盛を極む。

有名なる高津の舞臺は社の西屋石臺の上に築きしものにして、こゝより觀眸を放つときは、万戸の甍は双脚の下に集り、林立せる烟筒は煤烟を漲らす、その光景は以て市の商工業の繁盛を示すに餘りありとす、若し眼を決して遠望すれば、木津、安治の川口に船舶の來去するを觀るべく、海を隔て、攝播の青煙を雲烟の間に指點するを得べし、眺望の快潤なる心神の清爽なる、世塵を脱するの想ひあらしむ。

臺の北に委陀たる坂あり俗に西坂といふ、坂を下れば有名なる黒麩屋あり、少しく隔たりて藥師吉助の庭園あり、園内花樹に富み殊に牡丹の花候には門前市を成せり、亦遊人の一顧すべきところとす。

因にいふ、味原郷は高津宮の舊址にして、今は草莽を芟除して碑を樹て鐵柵を匝らしてこれを明かにせり、相傳ふ大己貴命の御子味相高彦根命の天降りたまひし舊跡なりと、比賣古智の御影池といふは、即ち味原の池にして、今の桃山の東北なる産湯の稻荷の邊すべて味原郷と稱せしものなり、高津社に由縁あれば筆此に及びぬ。

KŌDZU TEMPLE.
Kōdzu Temple is in Ōsaka, wick is celebrated as the site of a famous Shintō Temple. It is removed and rebuilt about A. D. 1400. Emperor Nintoku had been here many hundred years ago.

天保山 (大阪)

天保山は大阪安治川河口の南岸ある天保町にあり、山といふと雖も山にあらず、其實は一の丘阜たるに過ぎず、別に稱して目標山といふ、天保二年幕府命じて安治川を浚渫せしめ、其の土砂を此處に埋積して高阜を築き、以て船舶出入の目標とせり、目標山の稱あるはこれが爲めなり。

後ち砲臺を築き又高燈を建てしが、明治五年に至り舊高燈を毀ち、新たに燈明臺を新築せり、木造四角形の第四等不動白色にして、光達距離は十二哩かりとす。

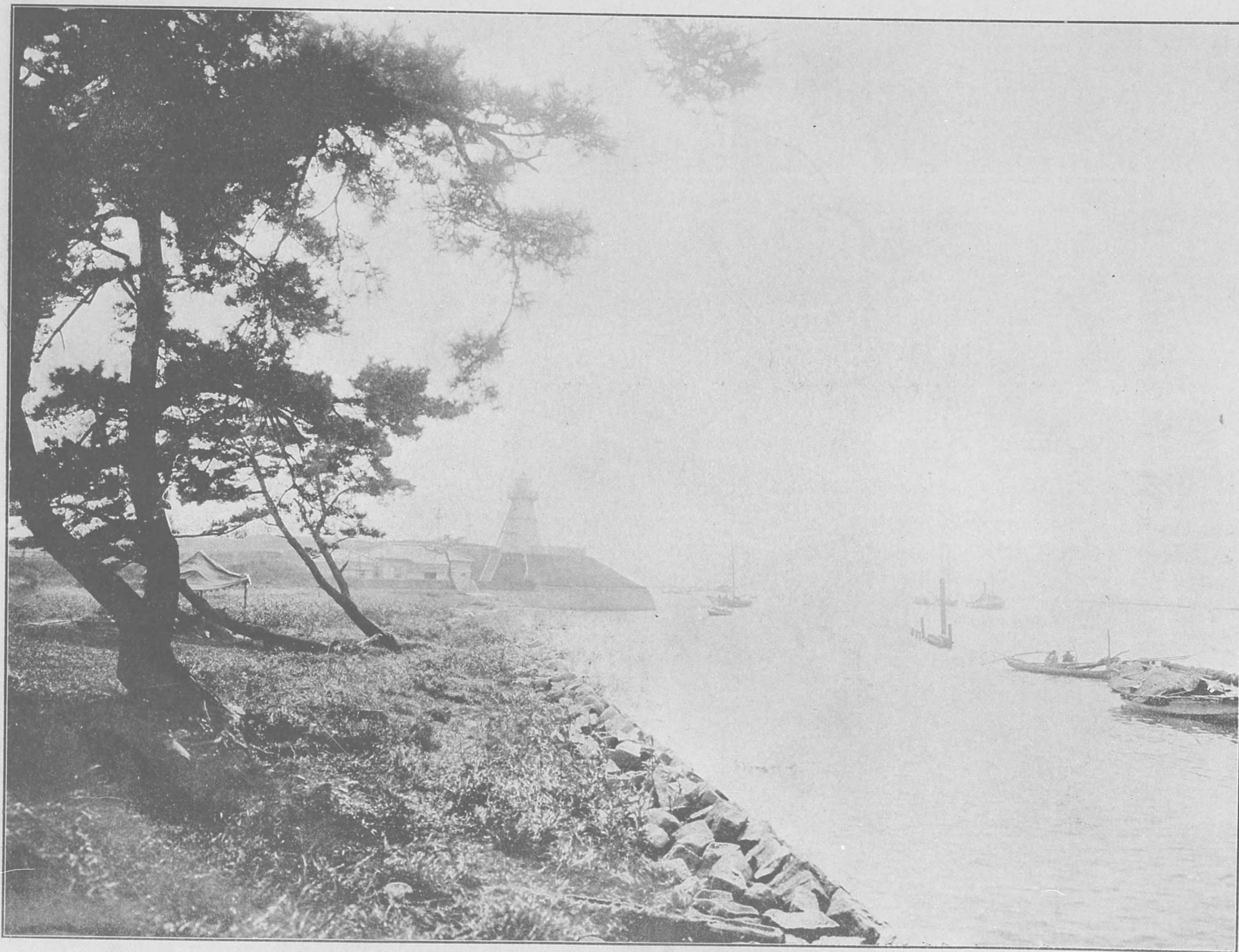
近年遊園地を設け、梅柳櫻楓を栽て四季の觀望を添へ、又海濱に海水浴場を開き、夏日の遊客を引けり、旅舎割烹店および海濱院等あり、こゝより眺曠を縦まゝにするときは、右には須磨、明石を杳靄の中に認め、左には淡路嶋より遠く四國の青螺を望み、風光の佳ある以て胸襟を快濶からむべし。町の東南には築港事務所あり、これに屬する工場および屋舎この邊に列れり、築港は我國未曾有の大工事にして、八年の歳月と二千二百四十萬圓の經費とを以て起工し、今やその半以上を成工せり、安治川より

南は八幡屋町、新池田町等の海邊より木津川口の千本松の處までを埋立地とせり、船渠を設け、其南を南突堤としてその前を内港とせり、港内航路中央の北を外港とせり、安治川口の北部櫻嶋の西南を埋立て、其西端を北突堤とせり、天保山の西南に長さ二百五十間幅十五間の棧橋を作る、突堤の延長南は千八百五十五間、北は千四百九十二間にして、其の口は百間の航路を成すにあり、偉かる哉其の業。

TEMPŌ-ZAN.

Tempō-zan is a hillock at the mouth of the Aji River which flows through the city of Ōsaka. When the channel of the river was deepened in 1831, this large mound was formed from the sand taken from the channel to commemorate the achievement.





(阪大) 山保天
Tempozan, Ōsaka.

業。航路を成すにあり、偉かる哉其の九十二間に、其の口は百間の南は千八百五十五間、北は千四百十五間の機橋を作る、突堤の延長保山の西南に長さ二百五十間幅埋立て其西端を北突堤と、天、安治川口の北部、櫻嶋の西南を、南突堤として、その前を内港と

TEMPŌ-ZAN.

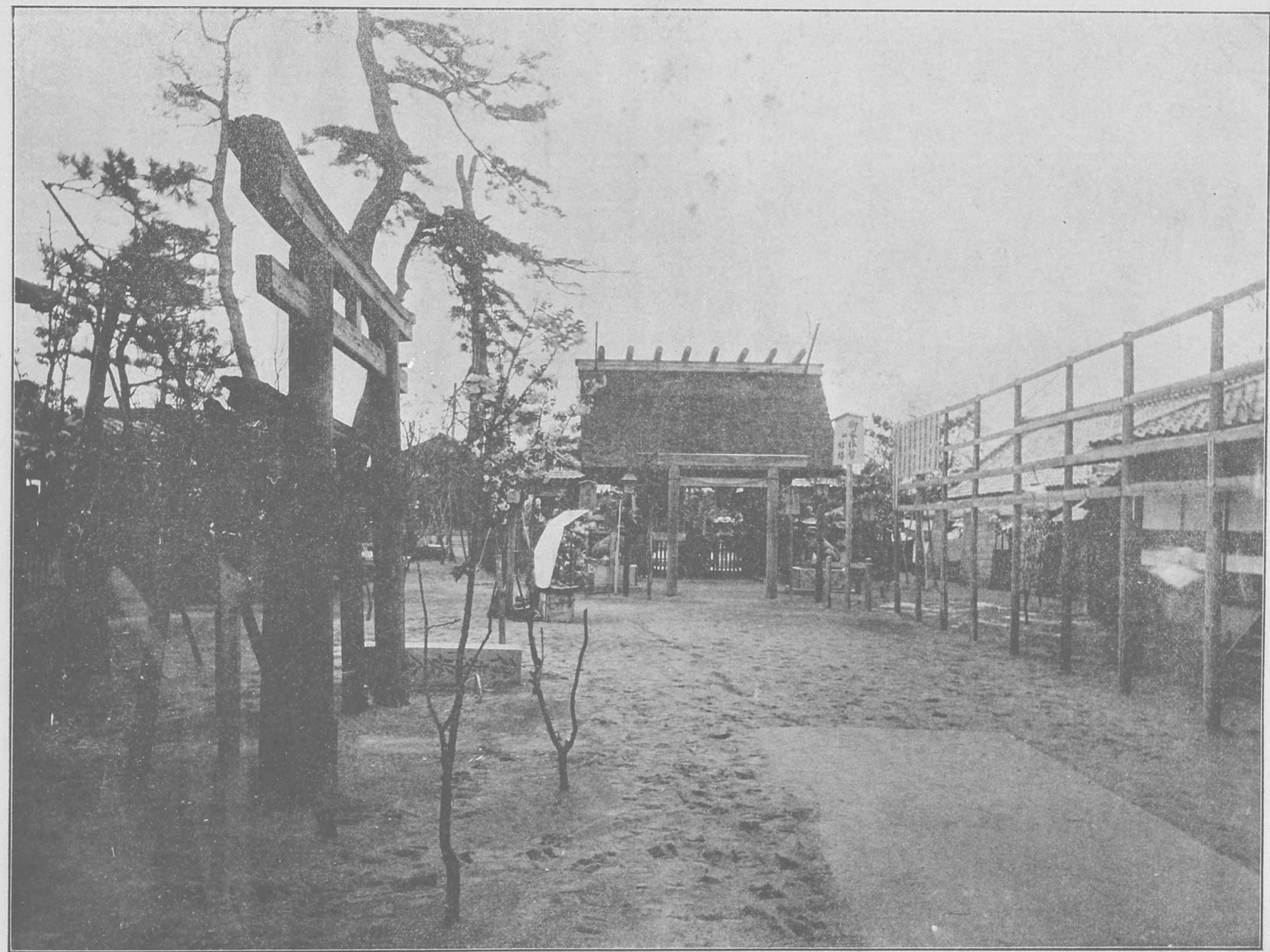
Tempō-zan is a hillock at the mouth of the Aji River which flows through the city of Osaka. When the channel of the river was deepened in 1831, this large mound was formed from the sand taken from the channel to commence the present achievement.

櫻の宮 (大阪)

櫻の宮は大阪市の東北隅に於て、淀川の東岸に在り、堤防に沿ひて社地を開く、域内廣漠からずと雖も、清潔にして市井塵喧の煩を避くるが故に、自から森嚴の趣を呈せり。

IYA.

tern bank Yodo
It is celebrated
Amaterasu-Oga-
and cherry trees
gets pleasure to



(大阪) 宮ノ櫻
Sakuranomiya, Shintō Temple, Ōsaka.

櫻の宮 (大阪)

櫻の宮は大阪市の東北隅に於て、淀川の東岸に在り、堤防に沿ひて社地を開く、城内廣漠からずと雖も、清潔にして市井塵喧の煩を避くるが故に、自から森嚴の趣を呈せり。

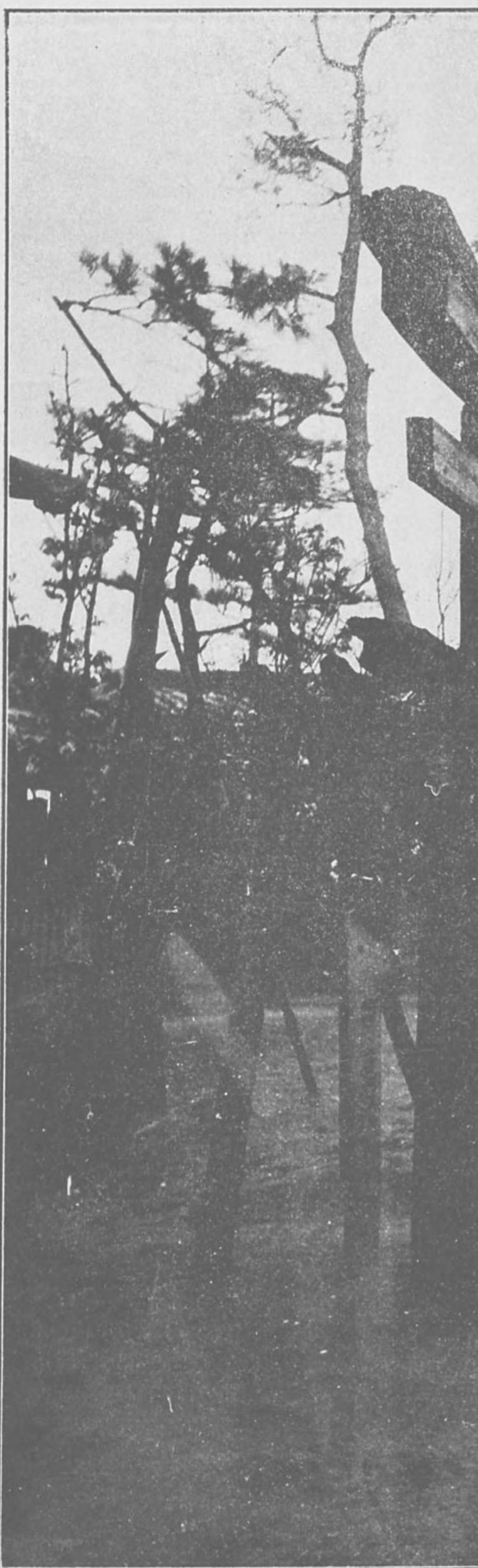
境内の東に偏して社殿あり、皇太神社といひ、郷社にして天照皇太神を祭る、殿上一簇の老松あり、參差枝を交へ矗立中霄を摩く、頗る幽雅あり。堤上數町の間、幾千百株の櫻樹を栽う、槎枒枝を錯へ古色幹に上る、凡そ大阪附近に於て觀櫻

を稱するもの、必らずや先づ指を櫻祠に屈す、花候至れば花は爛熳、香は芬郁、霞にして霞にあらず、雲にして雲にあらず、一簇の彩霞香雲、心神をして恍惚たらくめ、轉た春光の長きを愛し、花の爲めに酔ひ、花の爲めに狂く、亦平素の寂寥閑雅かるに似ざるあり。

淀川の清流を隔て、造幣局と相對す、その構内の櫻花も亦夙に世に喧傳せらるゝもの、水を挾んで花、花に對す妙趣一層を添ふといふべし。

SAKURANO-MIYA.

Sakurano-miya is on Eastern bank Yodo river, north-east of city Ōsaka. It is celebrated as the site of Shintō Temple, "Amaterasu-Ōgami," the God; noted with pine and cherry trees also. In spring, many visitors gets pleasure to look at cherry blossoms.



住吉神社

(攝津)

SUMIYOSHI TEMPLE.

Sumiyoshi is one of the largest and most celebrated Shintō temples in Japan, which is a few miles south from city Ōsaka, in the way to Sakai. It was founded by the Empress Jingū in the beginning of the third century of the Christian era.

住吉神社は攝津國の南部住吉村にあり、官幣大社にして底筒男命、中筒男命、表筒男命を祀る、神功皇后攝政の十一年に創建せしものとす、今は神功皇后の靈を併せて四座となす、華表は住吉街道の傍にあり、其の左右石燈數十基并列せり、これより一條の賽路社前に達す、中間に泉池あり蓮花の候は翠蓋重々として紅白の花其の間に開く、上に半月形の反橋を架すこれを太鼓橋といふ、渡ること甚だ難し則ち別に假橋を架して通行に便にす、反橋の結構は極めて巧緻にして亦雅趣に富めり、橋を過ぎ石階を上れば樓門あり、こゝより漸次四座の宮を巡拜すべし、其構造頗る古雅にして神威の嚴肅なるを覺ふ、毎年大祓の神事及び御田の神事は、古式によりて執行せられ頗る盛なり、境内古松多し、而して社前は一帯の松林を成す、近年その内の十二町歩を限りて公園となし、白砂青松の間處々に茶亭を設く、散策の士運動の客節を曳くもの常に多し。社の近傍名勝頗る多し、中にも高燈籠は社の西凡そ十五六町の海濱なる常夜燈にして、遠くよりこれを望むことを得べし、毎年四月潮干狩にはこゝの海濱一里ばかりの遠淺に男女老幼多く集遊す、社前の街道兩側には茶店軒を列ね、こゝの名産なる麥葉細工の住吉踊、土人形等を賣ぐこと盛なり。この社は賽客常に多くして、南海鐵道乗客の一半はこゝに來往するものといふも誣ひざるべし、殊に毎月の卯日には賽人極めて多く、二月の初卯には臨時瀕車を發すといふ、亦以て如何に神威の著るしきかを仰ぐに足るべし。

住吉公園

(攝津)

住吉公園は官幣大社住吉神社の前にあり、地域拾貳町歩餘園内は白砂青松と相映じ、南は茅渚の海の細漣洲渚を洗ひ、遠く淡路須磨明石を水天髣髴の間に望み、白帆黒煙其間を點綴する狀眞に一幅の畫圖の如し、近時海水浴場料理店等の設置あり、都人士の來て清遊を試むるもの日に益々多し。抑同公園は古來一帯の松林に過ぎざりしが明治十八年長狹町の人、小山卯之助氏松樹壹萬本を移植し、荒蕪を開墾して六百七拾坪の地を穿ち六百根の蓮を植ゆる等尤も經營に力め大に風趣を加へたり、且つ氏は學校生徒の運動會等には自費を以て茶菓を供する等、同園の爲め將た公共の爲めにするもの至れり盡せりといふ、同園が今日の隆盛を見るに至りたるもの實に小山氏の偉効に歸せざるべからざるなり。

SUMIYOSHI PARK.

Sumiyoshi Park is near by beach of Ōsaka bay, it is beautiful sight to look at the Island Awaji, Suma-no-ura and Akashi-no-ura. It was enlarged by Mr. Unosuke, Koyama, about 20 years ago. In summer, many visitors find pleasure. There are many restaurants and sea baths.

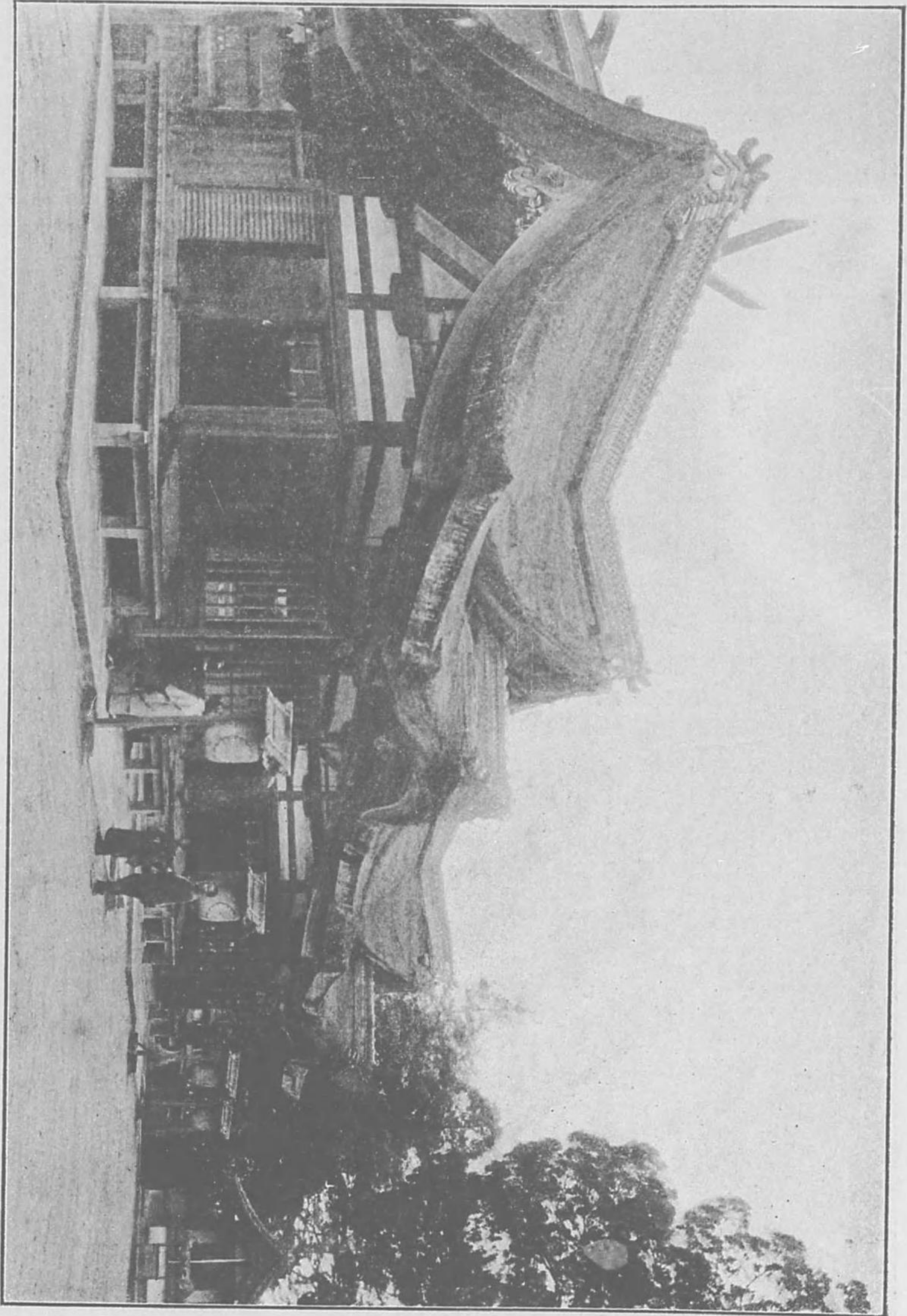


し荒蕪を開墾して六百七拾坪の地を穿ち六百根の蓮を植ゆる等尤も經營に力め大に風趣を加へたり且つ氏は學校生徒の運動會等には自費を以て茶菓を供する等同園の爲め將た公共の爲めにするもの至れり盡せりといふ同園が今日の隆盛を見るに至りたるもの實に小山氏の偉効に歸せざるべからざるなり。



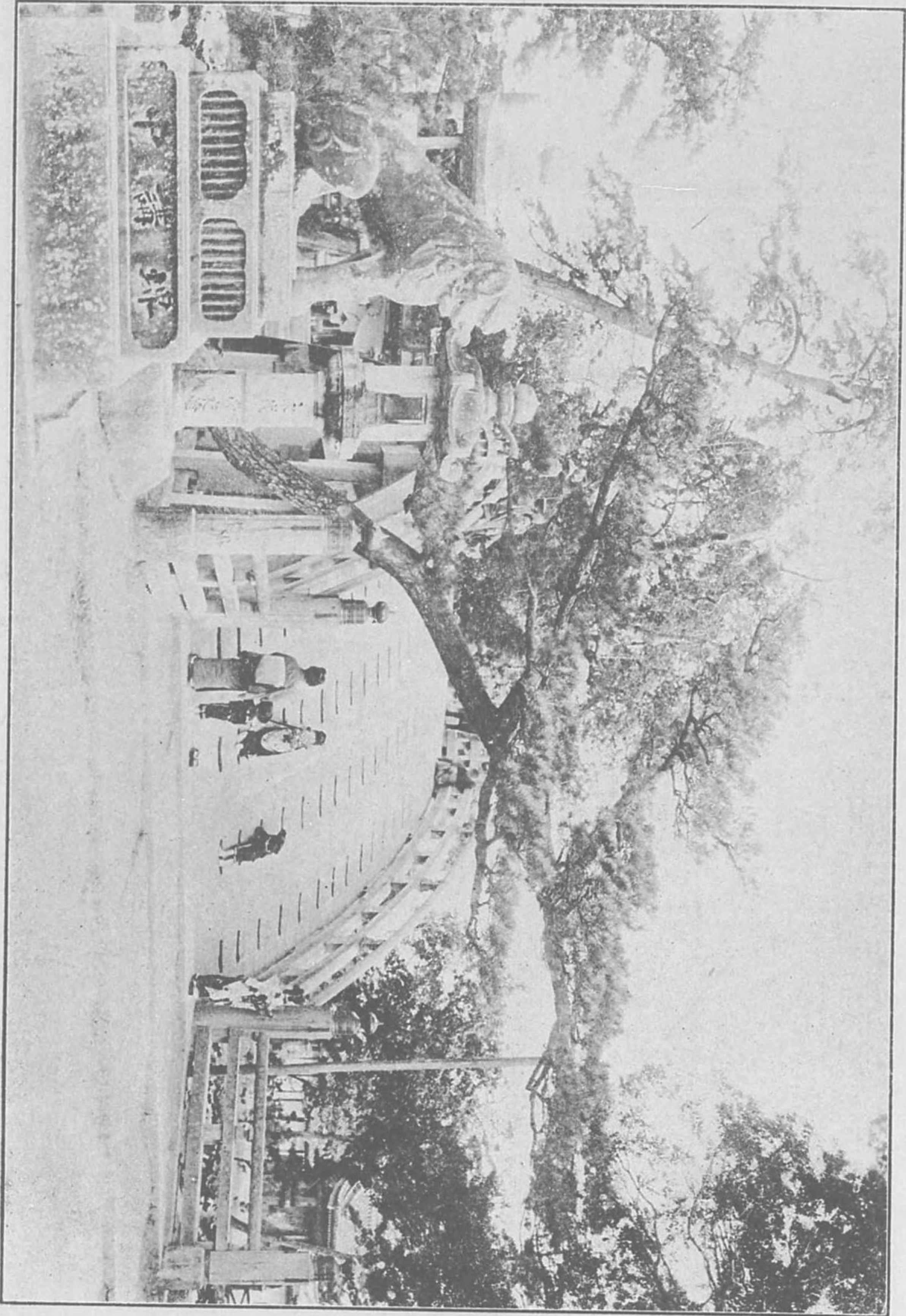
SUMIYOSHI PARK.

Sumiyoshi Park is near by beach of Ōsaka bay, it is beautiful sight to look at the Island Awaji, Suma-no-ura and Akashi-no-ura. It was enlarged by Mr. Unosuke, Koyama, about 20 years ago. In summer, many visitors find pleasure. There are many restaurants and sea baths.



Sumiyoshi Shintō Temple, Ōsaka.

(阪大) 社神吉住



Sumiyoshi Park, Ōsaka.

(阪大) 園公吉住

天満天神 (大阪)

大阪にて夏季祭典の最盛なるものはと問はゞ、誰も天神祭といふを憚らざるべく、その船の渡御は以て大阪の一勝景といふに躊躇せざるあり。

ENJIN.

celebrity as the site of
situated at Temma,
of the bridge Tenjin.
at 25th July. It is
ple crowded on the
eat many boats comes
y and eve.



(大阪) 神天満天
Temma Tenjin, Shintō Temple, Ōsaka.

天満天神 (大阪)

大阪にて夏季祭典の最盛なるものはと問はゞ、誰も天神祭といふを憚らざるべく、その船の渡御は以て大阪の一勝景といふに躊躇せざるあり。

天満天神の社は實に天神橋の北六町ばかりに在り、有名なる府社にして菅公の靈を祀れり、境内宏濶にして社殿の結構極めて壯麗、城内露店連続し賽人朝夕絶ゆることあり、その靈域たるは近境一般を通稱して、天満といふを以て知るべし。

TEMMA-TENJIN.

Temma-Tenjin is a celebrity as the site of famous Shintō Temple and situated at Temma, half a mile off northern part of the bridge Tenjin. There is a festivity once a year at 25th July. It is famous so that numerous people crowded on the bank of the river Yodo and great many boats comes together in the river at that day and eve.

社傳にいふ、天曆年間この地の北にあたりて天神山あり、里人その叢林中より靈光の發するを認め、私かに呼で奇異の徴とあり、その地の神官をして卜せしむ、曰く菅公の靈浪華の梅花を慕ひて影向まゝませしかりと、里人大に之を崇敬し小祠を天神山に營みてこれを祀りしを、後ち幾年を経て今の處に移し、産土神として祭れりといふ、その由來尊しといふべし。

例祭は七月廿五日とす、天神祭と稱して夏祭中の最も繁華あるものとす、夜は神輿を奉じて船に載せ、管絃の古樂を奏しつゝ、澁江を下り、松島町の御旅所に入る、船の渡御といふはこれにして、遠近より參觀するものその幾十万あるを知らず、通路の處々に篝火を點じ、兩岸の人家は神燈を掲げ、送迎の舟は水上に充滿してさしにもに廣き大川の流れも、唯だ舟と燈火とを觀るのみにして水を見ざるあり。



三井物産合名會社

(大阪市東區高麗橋) 電話特東(二一九) 一四〇八番
(二丁目一番屋敷)

到る所の避邑大都過ぐる所の市場開港絶へず買客の唇頭に上り本邦實業界の代表者として其名の汎く内外國に知れ渡れるものは實に三井物産合名會社なりとす。抑も三井家が外國貿易に従事せしは今より二百年前にありて中興の祖高利氏夙に外國貿易の有利なることを看破し當時我國海門の鎖鑰たる長崎港を卜して支店を設け以て先づ生絲の輸入に従事したり是唯だ同家が海外貿易の濫觴なるのみならず實に我國が今日貿易の盛運を占むるの端緒なりといふも誣言にあらざるなり其後幾多の星霜を経て三井家の國産方なるものを置き専ら海外貿易を以て任たり然れども今日の如く内外商品の委託販賣を開始し三井物産合名會社の名稱の下に盛んに業務を營みしものは實に明治九年なりとす。

方今同會社の本店は東京に在り其他支店及出張店を設置せしもの殆ど枚擧するに遑あらずと雖ども其主なるものを擧ぐれば歐洲においては倫敦漢堡米國においては紐育桑港亞細亞に在ては孟買新加坡香港上海天津芝罘營口漢口旅順仁川京城等を始めとし其他の商區海港到る所に三井物産合名會社の商標を見ざるところなし。

MITSUI BUSSAN KAISHA.

No. 1. Koraihashi Nichome, Osaka.

The Mitsui Bussan Kaisha is one of the firms undertaken by the Mitsui House, conducting the general trade business and its influence in the East is very vast and extensive.

The Mitsui house has much remote history as to the foreign trade and it was about two hundred years ago, when Mr. Takatoshi Mitsui, the founder of the House had opened a branch office at Nagasaki Port to engage in silk trade.

The firm, however, in its present form was established in 1876, and this is familiarly known under the style of Mitsui & Co. in England and America.

It has the head office in Tokyō and branch offices in all principal ports of Japan, China and also in London, Hamburg, Bombay, Singapore, Hongkong etc.

The principal articles of the Firm's export trade are coal, cotton yarn, copper, camphor, raw silk, matches, while those of import trade are railway material, machinery, woolen cloth, raw wool, sugar, opium, bean cakes, etc.

The firm owns a fleet of several efficient vessels of 100 A aggregating to 20,000 tons, for the transportation of its own merchandises.

The picture shown here is the out view of the Osaka branch office which is of stone built with steel frame, under the style of American practice.

The work of the building was commenced in 1898 and completed at the end of 1901 and now is certainly one of the most magnificent buildings in the city.

同會社の營業とする所の主なるものは、

輸出品 石炭、綿糸、生絲、米穀、綿布、銅、鐵、樟腦、燐寸、

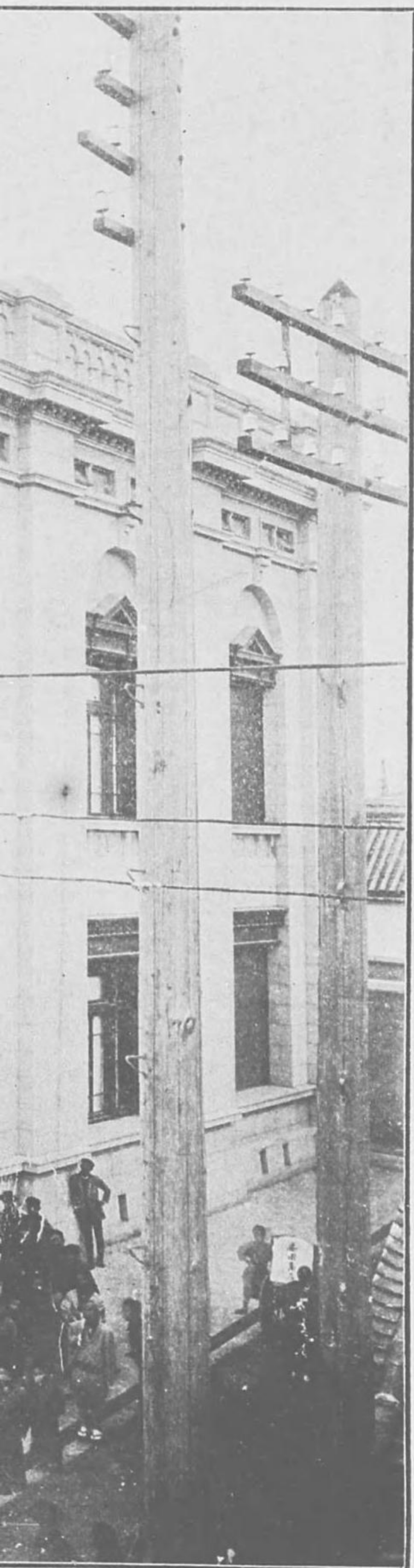
輸入品 棉花、砂糖、鐵道用材、機械類、羊毛、毛織物類、阿片、豆粕、

にして今や數千噸の私有汽船八隻を航通せしめて盛に斯業の發達を圖れり其年に隆昌に趣くや敢て發

するを須むざるなり。

此圖は、同會社大阪支店の外面を撮影したるものにして、廣袤二階建凡三百四十六坪、米國カ
ル子ギ一會社製作の鐵骨構造に係り、外部は總て花崗石を以て營み、窓は新式のシャッター
を付せり、且防火壁を以て二區に劃し一部を三井銀行の營業場に供す。

其他金庫、煖室、爐等極めて新式の粹を抜き、用意最も周到なりとす、明治三十一年六月工を起
し、同三十四年十月に至りて落成せり、輪奐の美、構造の偉、眞に摸範とすべきなり。



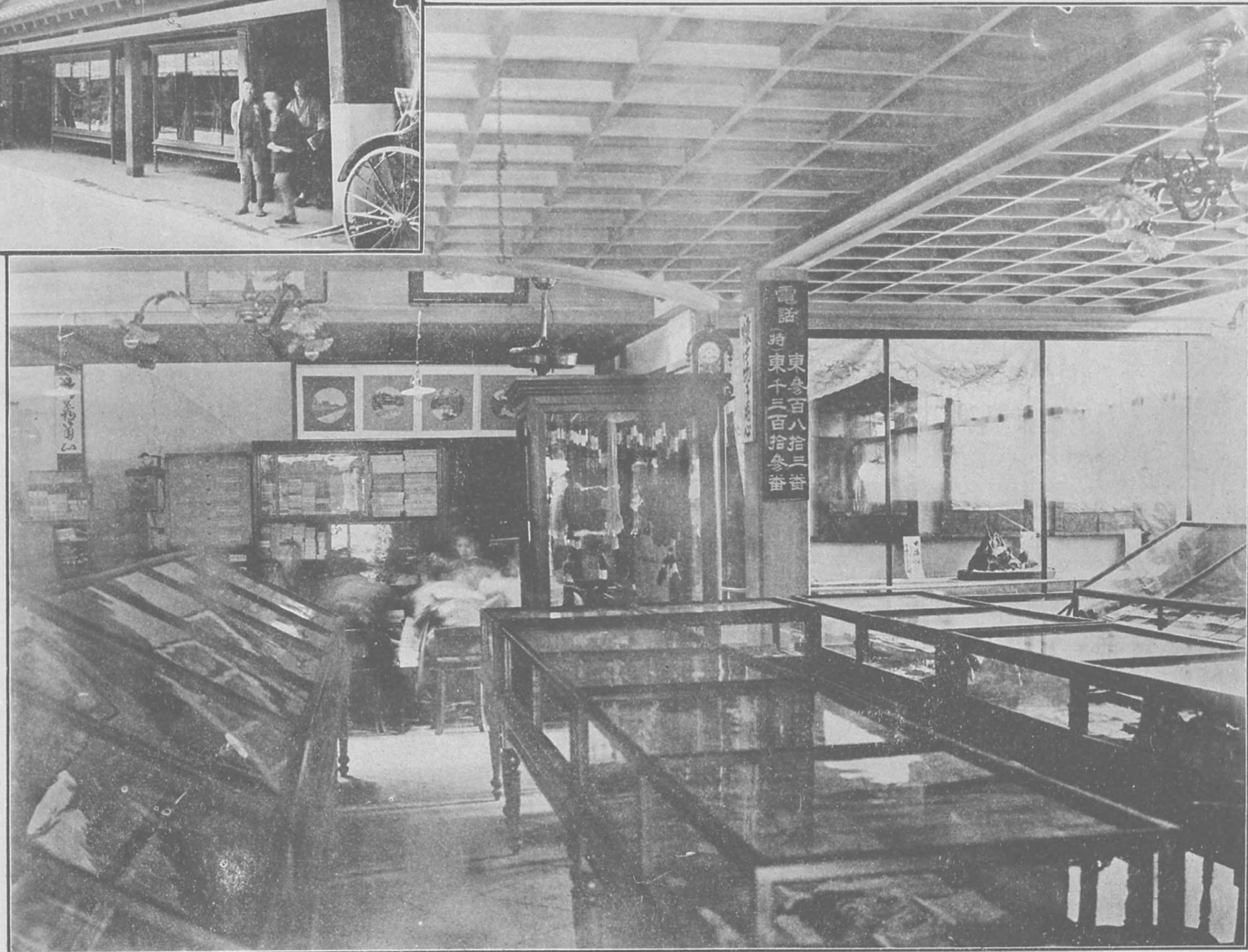
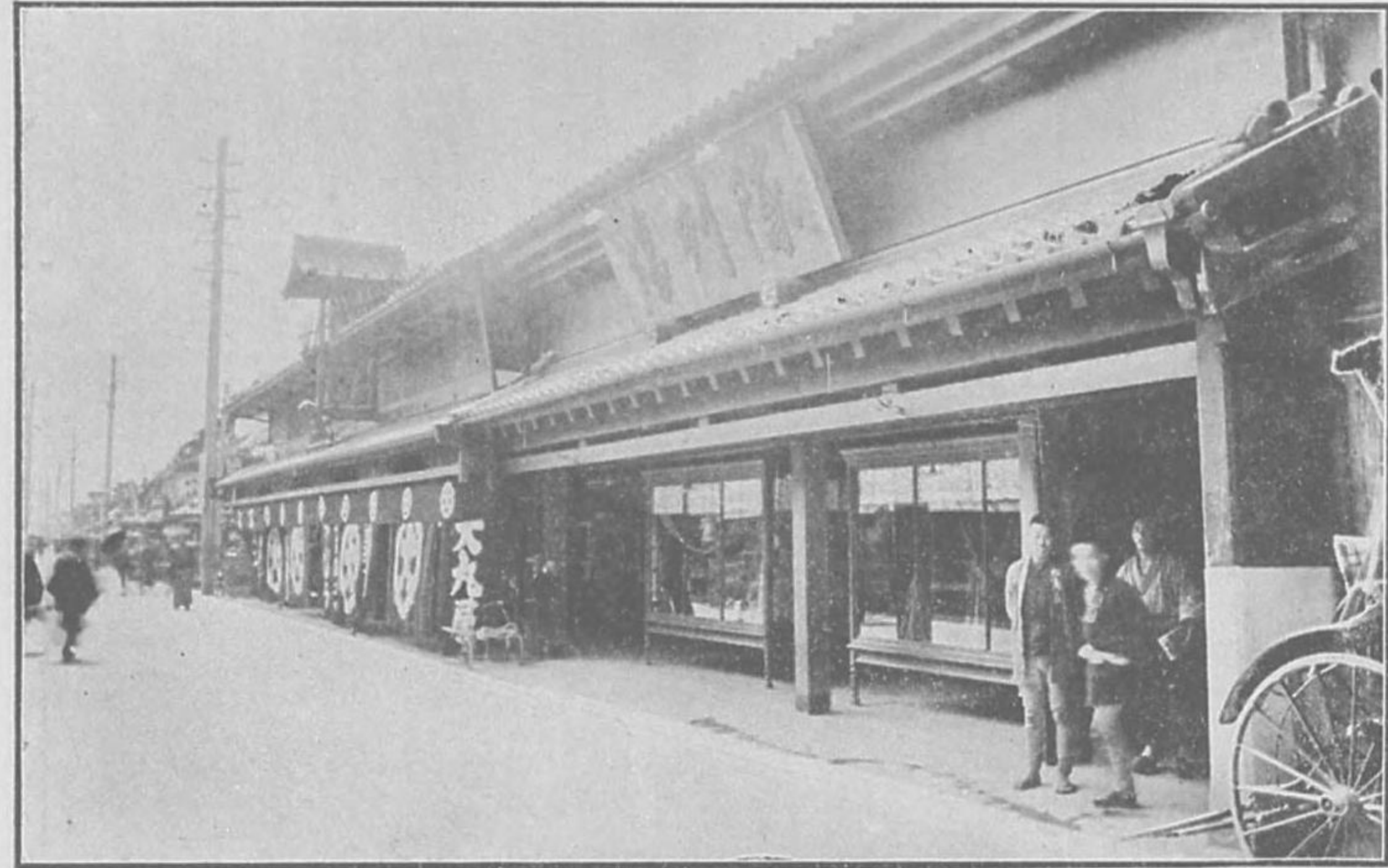


(阪大) 社會產物井三
Mitsui Bussan Kwaisha, Osaka.

するを須むざるなり。
 此圖は、同會社大阪支店の外面を撮影したるものにして、廣袤二階建凡三百四十六坪、米國カ
 ル子ギー會社製作の鐵骨構造に係り、外部は總て花崗石を以て葺み、窓は新式のシャッター
 を付せり、且防火壁を以て二區に劃し一部を三井銀行の營業場に供す。
 其他金庫、煖室、爐等極めて新式の粹を抜き、用意最も周到なりとす、明治三十一年六月工を起
 し、同三十四年十月に至りて落成せり、輪奐の美、構造の偉真に摸範とすべきなり。

The M
 by the Mi
 its influen
 The M
 trade and
 toshi Mits
 office at N
 The fi
 1876, and
 in England
 It has
 principal p
 Bombay,
 The p
 cotton yar
 import tra
 wool, sug
 The fi
 aggregati
 merchand
 The p
 office whi
 of Americ
 The v
 completed
 most mag

私
 有
 船
 八
 隻
 を
 船
 運
 せ
 し
 め
 て
 盛
 に
 斯
 業
 の
 發
 達
 を
 圖
 れ
 り
 其
 年
 に
 隆
 昌
 に
 趣
 く
 や
 敢
 て
 贅



(阪大) 店服吳村下
Shimomura, Dry goods Store, Ōsaka.

大 下村吳服店

(大阪市南區心齋橋一丁目
電話東二三三番 東三八三番)

大丸下村吳服店は其創業頗る古く、今を距る二百有餘年前、
享保の頃大文字屋彦右衛門といふ人あり、京都伏見京町八
丁目にあり、資性豪膽、機を見る敏にして頗る商畧に富む、然
れども微々として未だ多く世に知られず、氏伏見瀧尾稻荷
神社を尊信すること極めて厚く、祈て曰く願くは豪商たら
しめ玉へ須らく宮殿を修築して以て報賽すべしと、未だ幾



⊙ 大 下村吳服店

(大阪市南區心齋橋一丁目 電話東一三三番 東三八三番)

大丸下村吳服店は其創業頗る古く、今を距る二百有餘年前、享保の頃大文字屋彦右衛門といふ人あり、京都伏見京町八丁目にあり、資性豪膽、機を見る敏にして頗る商畧に富む然れども微々として未だ多く世に知られず、氏伏見瀧尾稻荷神社を尊信すること極めて厚く祈て曰く願くは豪商たらくめ玉へ須らく宮殿を修築して以て報賽すべくと、未だ幾許あらずして尾張國主黃門宗春卿、華奢風流日も亦足らず、金城の物價爲めに貴く遠近の商賈集中するを聞き拵舞して曰く時來れり矣、奇貨措くべくと、即ち胸中百千の策を懐き手に少許の資を携へ瓢然名古屋に來り傳馬町に大丸屋と稱し正札附吳服店を開けり、實に享保二年の事に屬す、而して信用日に厚く店頭常に肩摩の繁榮を極め、基年からずして富猗頓を凌ぐに至れり、翌年東京、京都、大阪の各地に支店を設く、享保十一年伏見の人八文字屋甚右衛門と組合組織となりたり、も十三年に至り合議の上氏一己の手に歸せり、後故あり彦右衛門の名を廢し、下村清兵衛と稱し爾來十二世二百餘年、連綿として今日に至り、全く東洋吳服商の牛耳を執るに至れり、現時實に左の本支店を有せり。



Shimomura, Dealer in Dry goods.

Shinsaibashi Itchōme, Minamiku, Osaka.
Telephone No. 1313 and 383, east.

This is one of the most noted dry goods houses in Japan. It is popularly known as Dai-maru, i. e., "The Great Circle," because of the symbol employed on its sign,— a circle with the Chinese character for "great" inscribed within. It is in Shinsaibashi Ichome, Minamiku, Osaka.

本店

京都東洞院通御池上ル 下村吳服仕入店

全 市松原通り寺町西入 下村吳服店

全 市今出川淨福寺東入 下村吳服店

東京市通旅籠町 下村吳服店

名古屋市本町五丁目 下村吳服店

神戸市兵庫鍛冶屋町 下村吳服店

大阪市中心齋橋一丁目 下村吳服店

濟生館奥村芳松

(大阪市西區京町堀
三丁目四十五番屋敷)

同館の創業は明治二十五年にあり、是より先き館主芳松氏は輸入義手義足の頗る高價にして中流以下の患者は之を用うるに由なく、且つ其患者は比較的中流以下に多きを慨し之を救濟せんこの企畫を起し、博愛的公慈心と先天的獨特の妙技とを以て、多年苦心焦慮の結果、遂に舶載品に譲らざる義手、義足、義指、義陰莖の製作を見るに至れり、而して氏は偏く世の不具者に満足を與へん爲め、赤

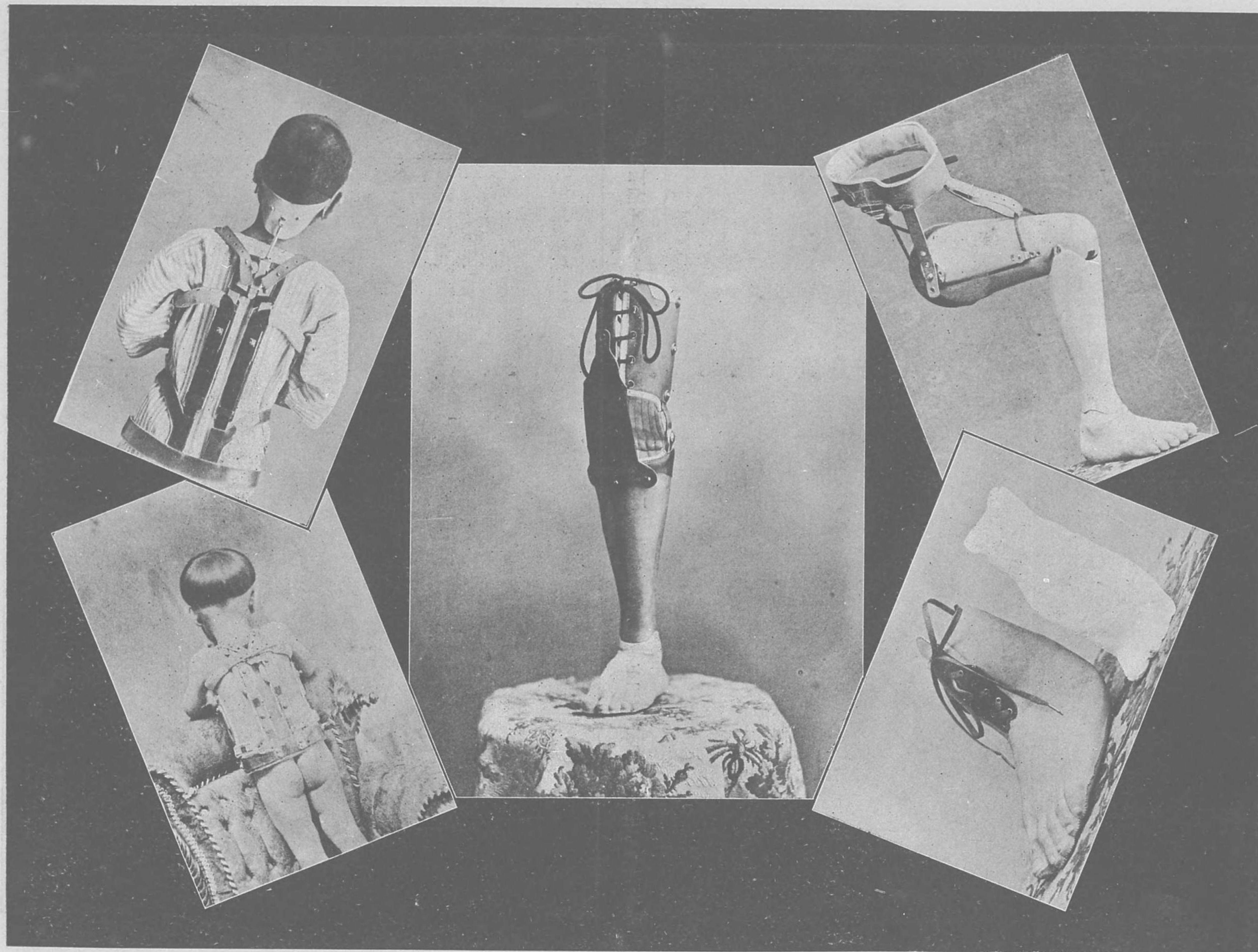
The Saisei-kwan, Y. Okumura.

No. 45, Kyōmachibori Nichōme,
Nishiku, Ōsaka.

The Saisei-kwan was established in 1892. Mr. Okumura, the master, founded artificial foot and fingers and he is saling at coast price to poor people especially. He is a contractor of the Imperial Army and Navy Hospitals and Kyōto Medical Callege in the University.

貧者には特に原價を以て其需用に應ぜり、且つ氏は形式に偏せず専ら治療の目的を主眼とし、數名の子弟と共に精勵しつゝあり、今や陸海軍病院、京都醫科大學、全國公私病院等に於て賞用せられ亦清韓等へ輸出を見るに至れり、亦以て氏の素望漸く達せりといふべきか。





(阪大) 所造製手義足義館生濟村奥
Okumura-aiseikwan, Artificial foot and arm maker, Ōaska.

The Saisei-kwan

The Saisei-kwan was
Okumura, the master,
fingers and he is saling a
especially. He is a cont
and Navy Hospitals an
in the University.

病院京都醫科大學全國
公私病院等に於て賞用
せられ亦清韓等へ輸出
を見るに至れり亦以て
氏の素望漸く達せりこ
いふべきか。

Silver Medal Kyōto Exhibition 1902.
THE MITSU UROKO OIL ENGINES.
 For Driving all kinds of Machinery.
 Sizes:— 2, to 14, HP.

Simplest, Most-Reliable and Most Economical
 Machinery in Existence.

For full particulars apply to
FUSHITA IRON WORKS.

Bangai No. 47, Kami-fukushima,
 Kita-sanchōme, Ōsaka.
 Telephone No. 633, west.

三 鱗 石 油 發 動 機

効用。精米、製粉、電燈、煙草刻、印刷、ラム子製造、木挽、其他
 各種工業ニシテ原動力ヲ要スル場所ニ適ス
 石油消費量一時間一馬力ニ對シ下等石油一合五勺ニテ足ル
 詳細説明書代價表御入用ノ方ハ郵券二錢投セラルレバ進呈ス
 京都第二回全國製産品博覽會ニ於テ

有功二等賞銀牌 受領

外ニ最新式精米機械 製造發賣仕候間石油發動機ト共ニ御
 注文ナクフ

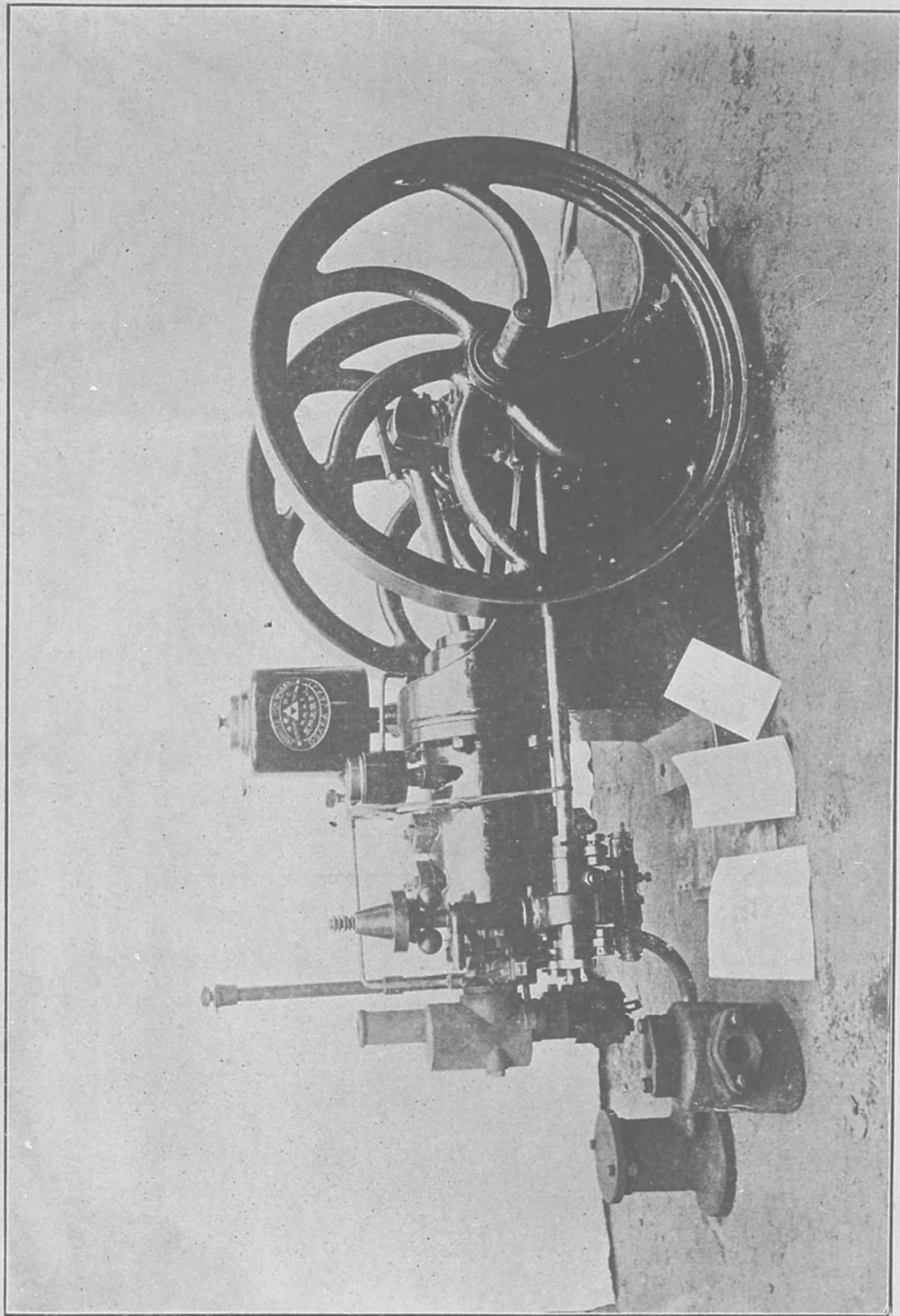
大阪市北區上福島北三丁目番外四十七番邸

(電話西九參貳番)

營業主

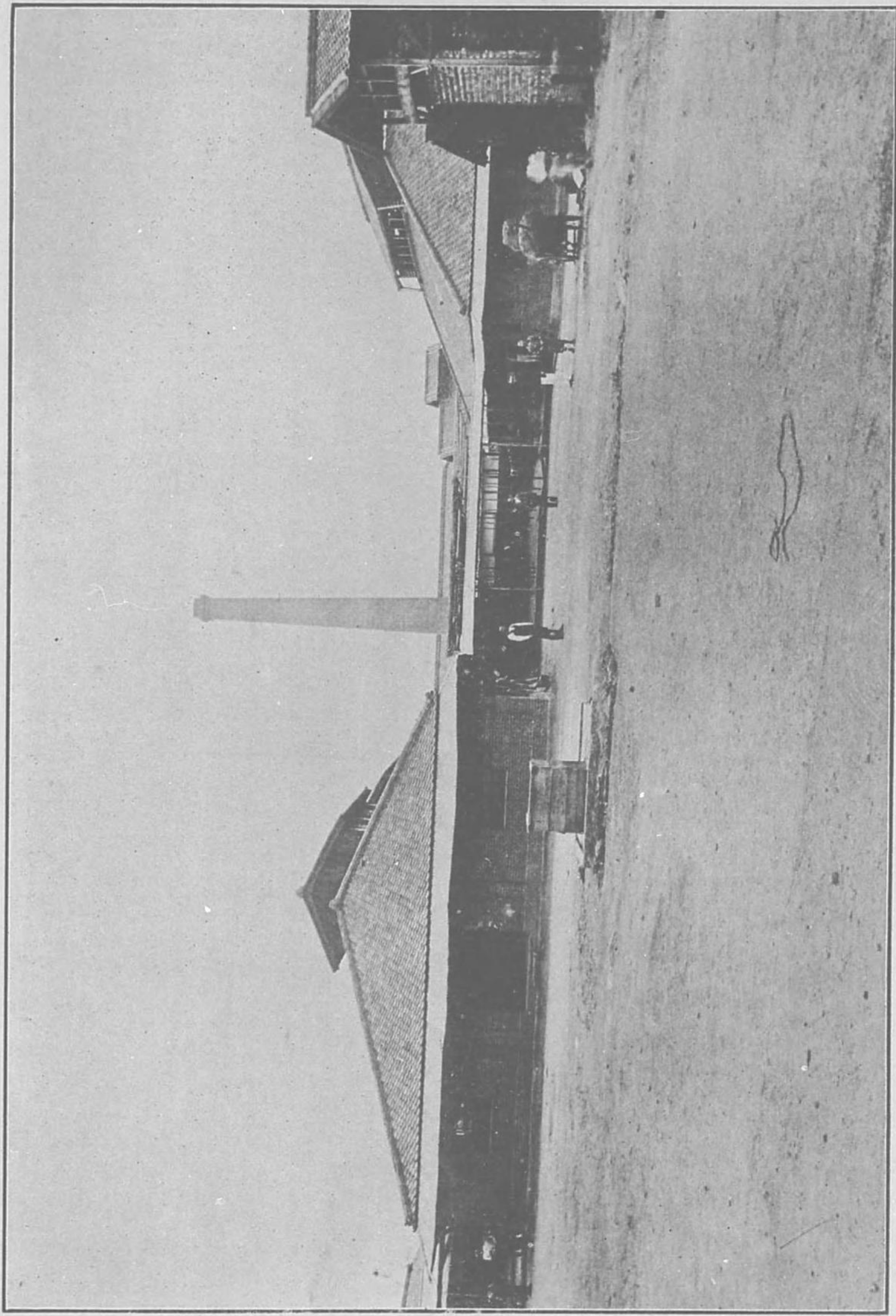
伏田鐵五郎

伏田清三郎



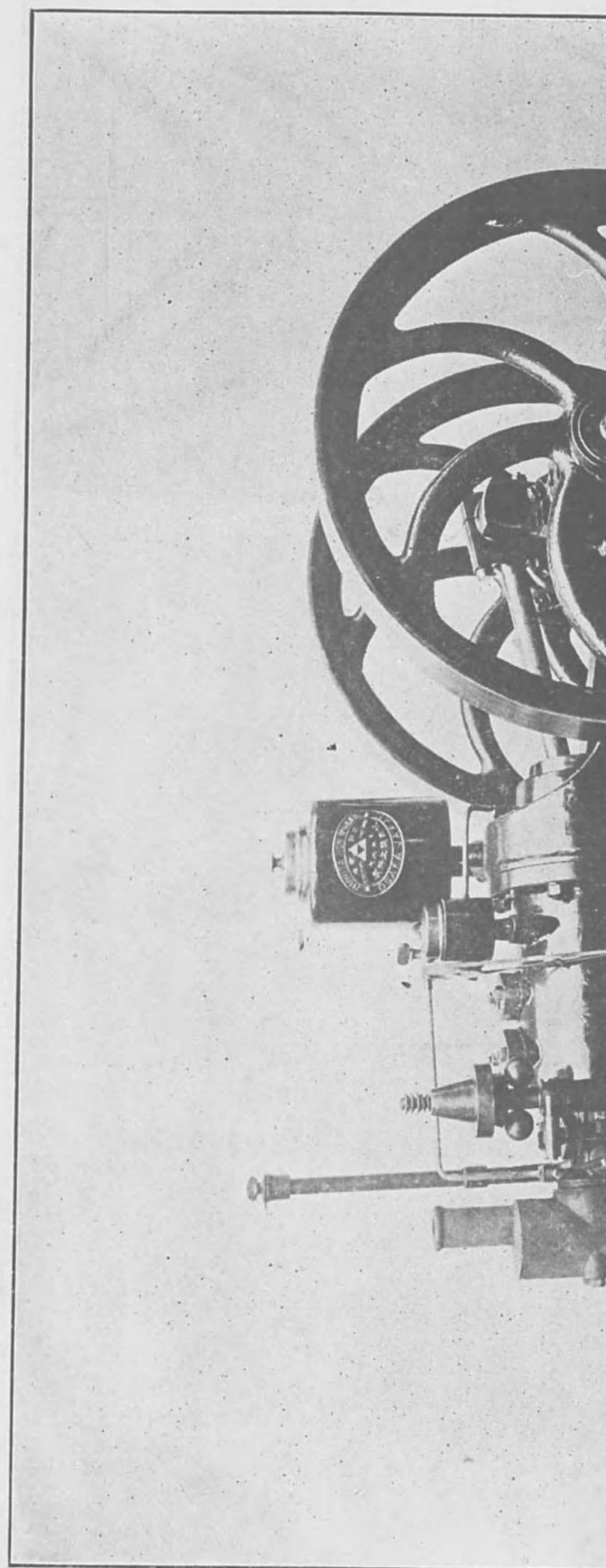
伏田石油エンジン製造所 (大阪)

Fushita, Petroleum Oil Engine Manufactory, Ōsaka.



伏田益井上寸製所 (大阪)

Koekisha, Inoue, Match Manufactory, Ōsaka.



Silver Medal Kyōto Exhibition 1902.
THE MITSU UROKO OIL ENGINES.
 For Driving all kinds of Machinery.
 Sizes:— 2, to 14, HP.

Simplest, Most Reliable and Most Economical
 Machinery in Existence.
 For full particulars apply to
FUSHITA IRON WORKS.
 Bangai No. 47, Kami-fukushima,
 Kita-sanchōme, Ōsaka.
 Telephone No. 632, west.

三 鱗 石 油 發 動 機

効用。精米、製粉、電燈、煙草刻、印刷、ラム子製造、木挽、其他各種工業ニシテ原動力ヲ要スル場所ニ適ス
 石油消費量一時間一馬力ニ對シテ下等石油一合五勺ニテ足ル
 詳細説明書代價表御入用ノ方ハ郵券二錢投セラルレバ進呈ス
 京都第二回全國製産品博覽會ニ於テ
有功二等賞銀牌 受領
 外ニ**最新式精米機械**製造發賣仕候間石油發動機ト共ニ御注文ヲ乞フ
 大阪市北區上福島北三丁目番外四十七番邸
 (電話西九發發番)
 營業主 **伏田鐵五郎**
伏田清三郎

三 鱗 石 油 發 動 機

該機器專用精米製粉電燈印刷切碎煙草製造荷蘭水刨學木料等工業上原動力之處如其消費煤油之量一點鐘一馬力之機器不過總一合五勺先於京都第二回製産品賽會辱領有功二等賞牌欲知詳細分解價目等者另有印書郵費先惠然後寄到不悞

最新式精米機器

該機器係本號製造出售倘紳商賜顧請認本號住址爲記此佈

大阪市北區上福島北三丁目番外四十七番邸
 經理人 **伏田鐵五郎**
伏田清三郎

KŌEKI-SHA MATCH FACTORY.

Main Factory:— Honden Sanbanchō, Nishiku, Ōsaka. Telephone No. 377, west.
 1st. Branch Factory:— Inari-machi Nichōme, Minamiku, Ōsaka. Telephone No. 522, west.
 2nd. " " :— Ebisu-machi Sanchōme, Minamiku, Ōsaka. Telephone No. 632, east.
 3rd. " " :— Kamifukushima Kita-sanchōme, Kitaku, Ōsaka.
 Kobe " " :— Kumoidōri Nichōme, Kobe. Telephone No. 78.

This factory, the first one of the kind in Japan, was founded in the 13th years of Meiji by Mr. T. Inouye, the present director. After untiring study and application of many years, he had succeeded in making safety match. The growth of his business is so great that now-a-days 1,500 and more peaples are at work every day and upwards of 30,000 bales of match are exported in large scale to China, Corea, India and South Islands, and are now one of the most important exports of Japan. Mr. T. Inouye was awarded with a decoration from the Imperial Japanese Government as a reward for his merit done in match business of the country. First class medals at 4th. National Exhibition in Kyōto and numerous medals at industrial expositions in Japan were awarded on him.

公益社燐寸製造所

公益社主井上貞次郎氏明治初年東京に在任し外國製燐寸の舶載日に月に増加するを視て之が輸入を防遏せんことを企圖し苦心經營、幾多の試験と幾多の研究を積み、遂に安全燐寸の製法を案出し、初めて工場を東京に設け漸次製額を増し販路を擴張し、爲めに大に輸入を減殺したりといふ、全十三年居を現今の場所に移し専ら力を海外輸出に竭し、黃燐製燐寸を創製し清國印度並に南洋諸島等に販賣し大に好評を博す、今や工場五ヶ所を有し職工二千人を使役し、製額年々三萬余函に及ぶ亦盛なりといふべし、近來細軸燐寸を盛に製作す、其技の巧妙進歩の著しき蓋し社主苦耐難忍、刻苦經營の致す所なり、宜なり明治三十五年五月政府は井上氏の國家に貢獻する功勞尠からずとし綬綬章を下賜して之を賞せらるゝ亦無上の名譽といふべし。其他製品に就て第四回内國勸業博覽會に進歩一等賞を受領せる等其他舉げて數ふべからず。

公益社火柴製造所

公益社設在大阪市西區本田二番町專鑿製各式火柴多歷年所素爲各埠巨商所洞鑿社主井上貞次郎氏抱大志慨進口火柴日益加多利權爲外人所佔奪於東京設製造廠自當經營之任不惜巨資研究多年遂案出安全火柴之製法出售極多至明治十二年移居大阪專事火柴製造創製黃燐火柴運售清國印度之各埠以及南洋群島馳名中外現有製造廠五處工人二千八百餘人每年製出參萬餘匣近更製造細桿火柴技益巧妙在各地所開博覽會並其進會辱賜賞牌無算明治三十五年五月官府嘉賞君功勞綬綬章章君斯業之泰斗也矣其製造分廠下開
 難波製造分廠 南區稻荷町二丁目 (電話西五二二)
 今宮製造分廠 南區惠美須町三丁目 (電話東六三二)
 福島製造分廠 北區上福島三丁目 (電話架設中)
 神戸製造分廠 神戸市雲井通二丁目 (電話七八)

柴崎洋服店

(大阪東區高麗橋二丁目)

社會の進化は世を推して華麗の風をなさしめ優美の俗をなさしむるは自然の條理なりとす、殊に

SHIBASAKI TAILOR.

Kōraibashi Nichōme,
Higashiku, Ōsaka.

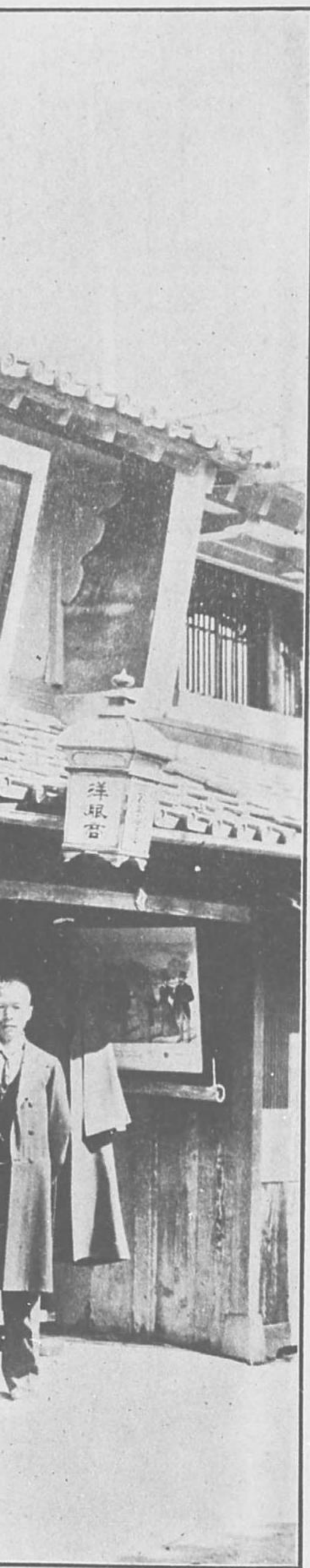
Shibasaki Tailor is one of the largest tailors in Ōsaka. Mr. Shibasaki is the master who has over twenty years very good experience in Kōbe and Tōkyō.

The tailor is a contractor of Imperial Japanese Army and Navy, and the tailor has a many good and clever work men.



洋服の如きは現時社會に於て起居動作上至便を感ずること多きを以て、多數人士の嗜好は翕然として之に應じ都鄙の別なく擧げて之が需用に汲々たり、是故に年々歳々其需用の趨向は新を好み奇を好むに至り、先づ地質は善美にして且つ高尚なるを撰び裁縫は歐風の精華を愛

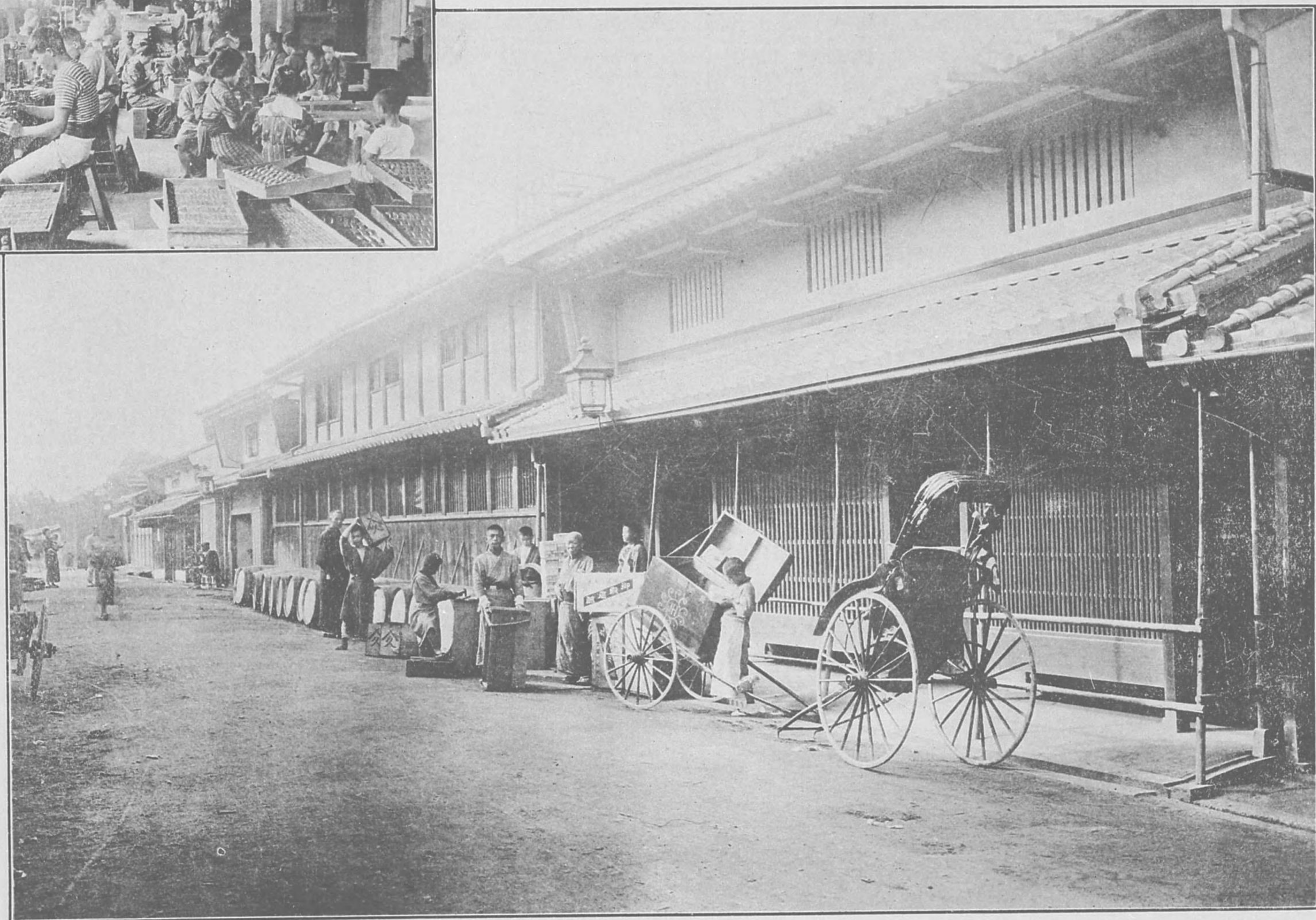
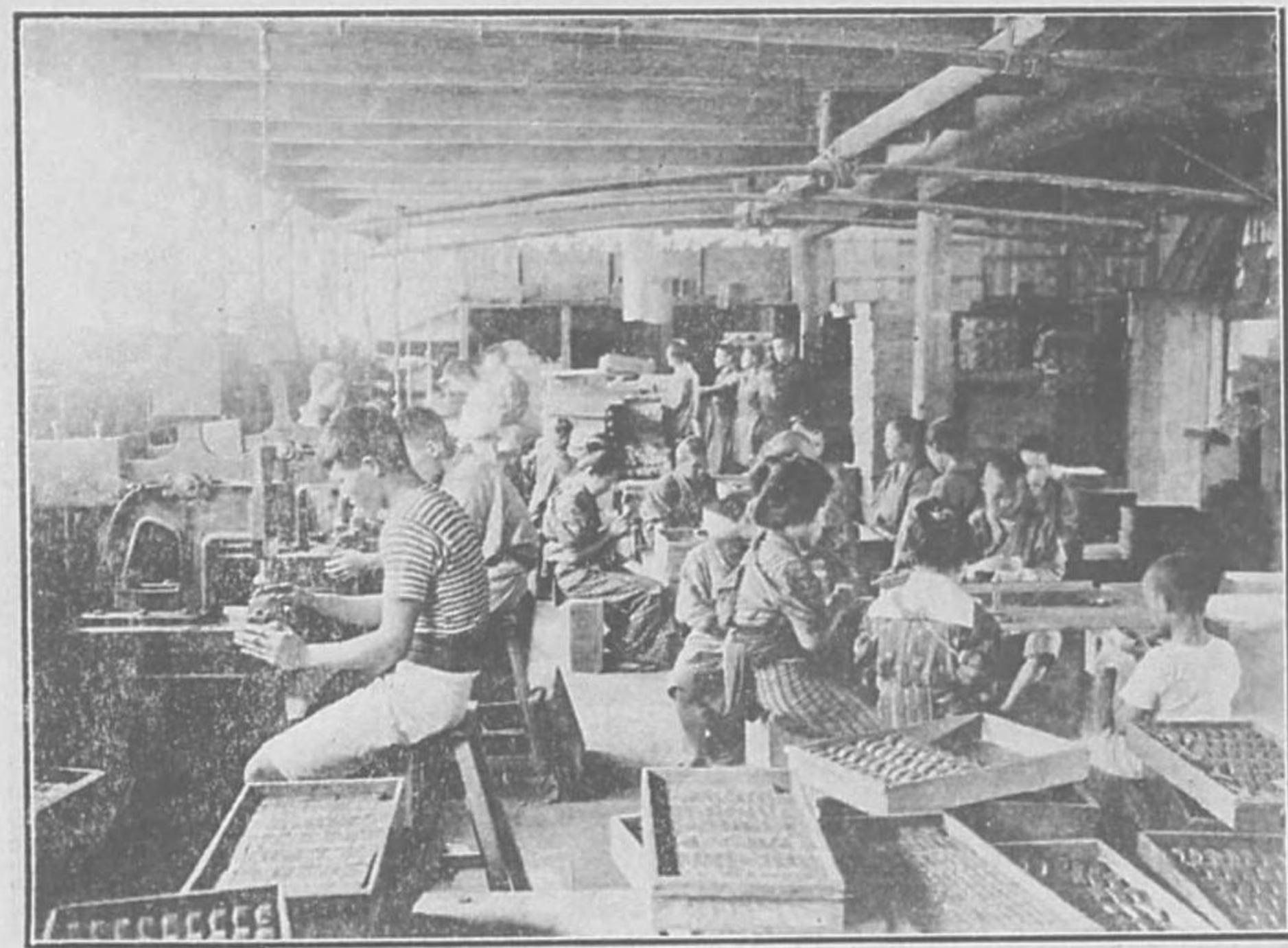
すなど其嗜好枚舉に遑あらず、本店主柴崎猪之助氏は二十有餘年間、神戸柴田に、東京大金に、此業に付ての練磨研究を遂げ殊に陸海軍制服仕立に於ては獨特の技能を有し、精細緻密にして他の企て及ばざるの風評あり、今や店員十數名、店主自ら之を督勵し而して勉強と確實を旨とし、將亦商品は流行に遅れざる嶄新の形式を用ひ實に斯業界の泰斗と謂ふ可きなり。





(阪大) 店服洋崎柴
S. Shibazaki Tailor and Outfitters, Ōsaka.

に付ての練磨研究を遂げ殊に陸海軍制服仕立に於ては獨特の技能を有し、精細緻密にして他の企て及ばざるの風評あり、今や店員十數名、店主自ら之を督勵し而して勉強と確實を旨とし、將亦商品は流行に遅れざる嶄新の形式を用ひ實に斯業界の泰斗と謂ふ可きなり。



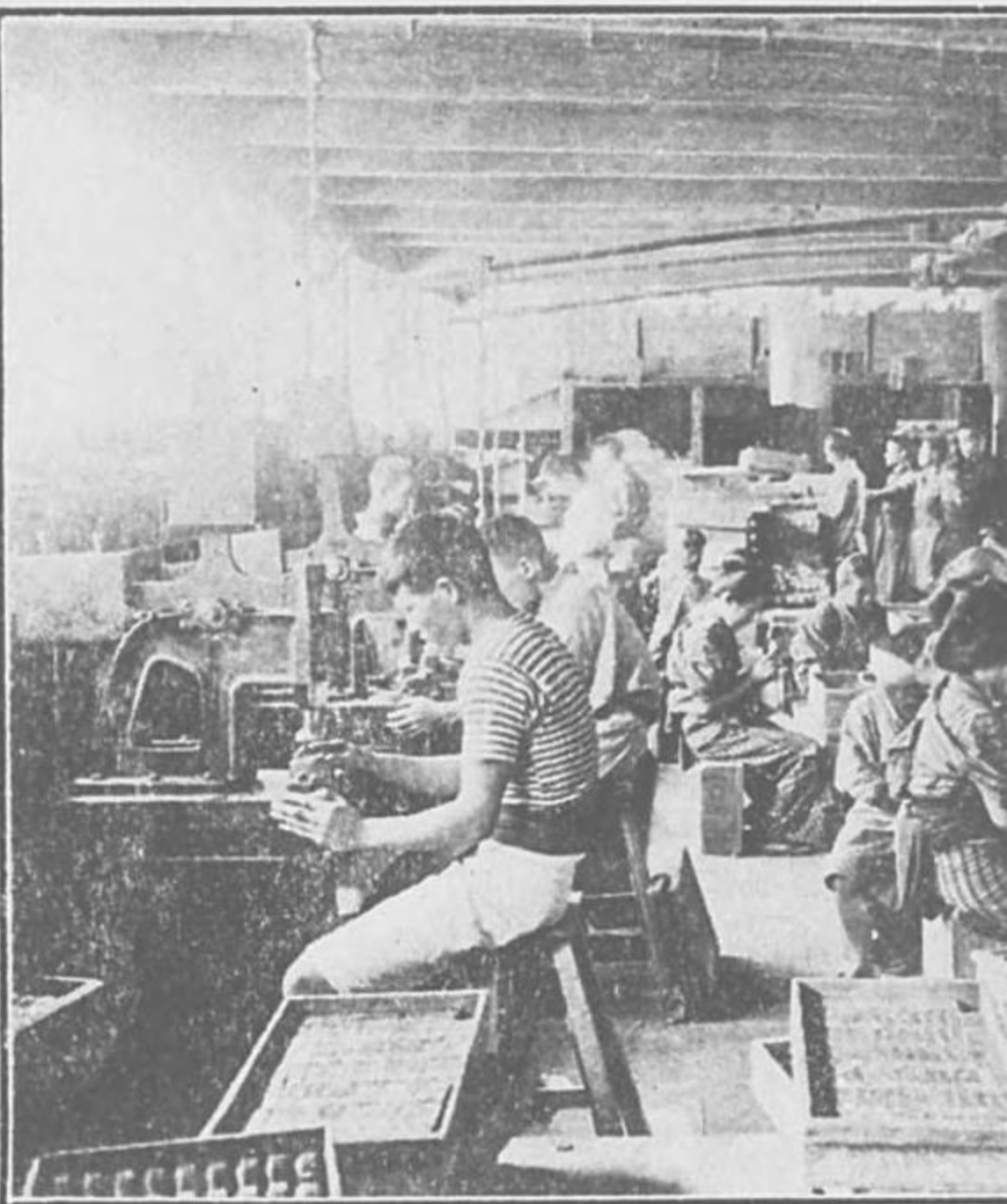
(阪大) 所造製鹼石元春
J. Harumoto, Soap Manufactory, Osaka.

春元石鹼製造所

(大阪市東區粉川町)
電話東三七〇

春元石鹼製造所は明治十二年の創
設にして殆んど本邦石鹼業の嚆矢
なり、所主春元氏は數代連綿たる藥
種商にして當主重助氏曾て石鹼の

FACTORY.
Osaka.
No. 370, east.
as established
nt production
eived over 20
e factory is a



春元石鹼製造所

（大阪市東區粉川町）
電話東三七〇

春元石鹼製造所は明治十二年の創設にして殆んど本邦石鹼業の嚆矢なり、所主春元氏は數代連綿たる藥種商にして當主重助氏曾て石鹼の輸入盛かるを見、之を防遏せんと欲し、家業の傍熱心斯業の祕法を研究し、始めて完全の石鹼を製造し爾來漸く盛大となり技術も亦大に造詣する所あり、今や一大工場を有し二十餘年來の實驗と最新式の機械とに依り製造するを以て巨額の需用に應ずるも毫も其期に後るゝの虞なく、其品質の佳良あるは夙に江湖の賞賛する所にして内外諸博覽會共進會品評會等に於て受領したる金銀牌の數は實に貳拾有餘に及べり。其他實業界に於ける功勞亦尠からず明治三十五年五月政府は同氏が國家に貢獻する所多きを以て特に綵綬章を授け其功を表彰せり、氏の榮亦大かりと謂ふべし。

THE HARUMOTO SOAP FACTORY.

Kokawachō, Higashiku, Ōsaka.
Telephone No. 370, east.

The Harumoto soap factory was established in 1880. The factory has abundant production after 20 years experienced and received over 20 medals at various exhibition. The factory is a contractor of the government offices.

春元石鹼製造所

春元石鹼製造所實係明治十二年創設其廠現設在大阪市東區粉川町專製造各式胰子(肥皂)名聲噴々中外馳名春元氏世代營藥房至現主人重助君憂進口之貨甚旺盛利權爲外人所占奪悉心察觀創製胰子製造所研鑽多年不惜巨資不避勞苦專從胰子鑿製爾後擴張業務築造工廠精選機器加意鍊製定做決不悞日物美價廉寔我邦斯業之嚆矢也在内外博覽會共進會辱賜賞牌已及二十餘種至明治三十五年五月官府授君綵綬章以表彰其效績君功偉哉大矣

醫療器械商丸谷鶴松

(大阪市高麗橋五丁目四十二番屋敷)

大阪に於ける丸谷商舖は創立尤も古く醫療器械化學用器械を製造且販賣す而して其發賣する玻璃製吸子皮下注射器は世界無比の最新發明にして各刀圭家の賞用する所なり。在來の皮下注射器は往々改良を加へたるものありと雖概ね大同小異にして或は永久の使用に堪えず或は消毒に便ならず故に刀圭家の夙に遺憾とする所なり然るに同舖の專賣注射器は吸子と圓筒との密合完全なるを以て藥液の逆流若くは殘留するの憂なく且つ玻璃吸子なるを以て消毒の完全にして且つ如何なる藥液に遇ふも化學的變化を來すことなく尤も實用に適す是れ同器の特長にして農商務省より專賣特許第三八八四號の榮を得たる所以なり今や同器は宮内省侍醫局日本赤十字社醫科大學陸海軍病院府縣立病院其他各刀圭家の賞賛喧傳する所となれり。同舖が苦心經營の功績歿すべからず特に此に撮影して以て世に紹介す。

丸谷醫療機器舖

丸谷醫療機器舖設在日本大阪市高麗橋第五街四十二號專售各式醫療機器其中一種呼做玻璃製吐吸子皮下注射器者係新近之創製發售以來名聲噴々大博中外醫生之賞贊比之舊時製出之注射機器吐吸子與圓筒之間頗能密接以故無葯水流剩留等虞而消毒之法亦得行完全且不論葯水何種更無發生化學上之變化眞稀世之寶機也先得農商務省專銷之權現蒙 宮内省侍醫局日本赤十字社醫科大學陸海軍病院以及各府縣立病院等光顧銷路日廣丸谷器械舖主之効偉哉大矣

栗岡洋服店

(大阪市西區京町堀通二丁目
電話特西千五百拾參番)

THE TAILOR KURIOKA NANWAKEN.

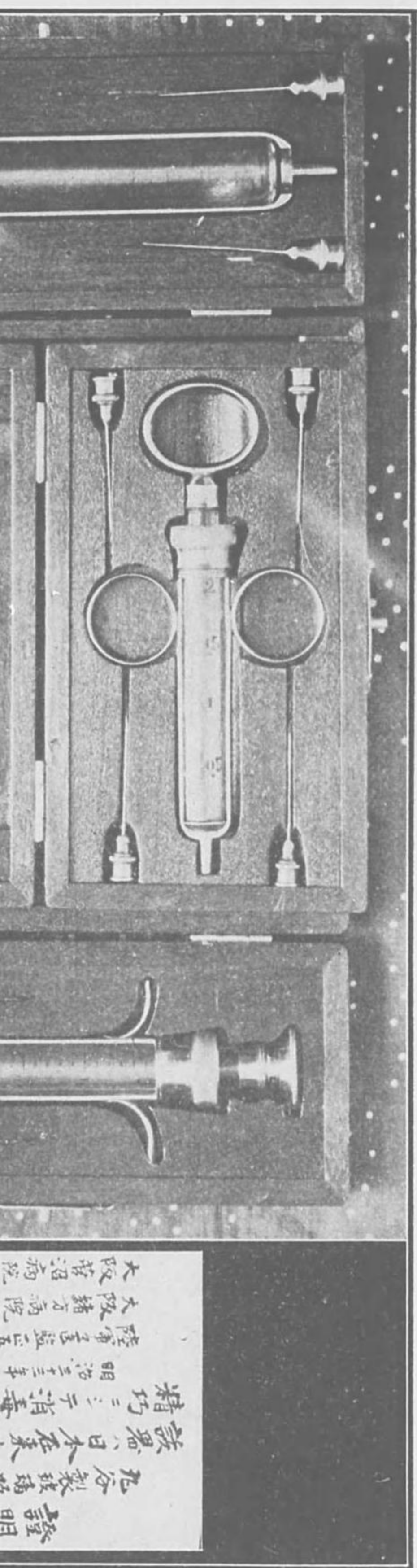
Kyōmachi-bori Nichōme, Nishiku, Ōsaka.

Telephone special No. 1513, west.

This is the oldest tailoring house in Osaka. The proprietor, Mr. Kurioka Jitarō is an expert in sewing business of American style.

He was rewarded silver medal at the Preparatory meeting for National Exhibition held in 1901, and a several class silver medal in May 1902. Special attention is given as to new fashion, prevailing in Europe and America, this house is well known among Japanese as well as foreigners.

栗岡洋服店は大阪西區京町堀二丁目にある洋服商の老舗にして商號を栗岡南和軒と稱す店主治太郎氏夙に歐米各國の裁縫術を研究し就中最も米國式裁縫に熟達す其技の精巧かる匹儔かゝと稱せらる明治三十四年内國勸業博覽會準備共進會に出品して進歩賞銀牌を受領せり其他共進會等に於て有功二等賞銀牌を受くること前後數回に及び今や貴顯紳士の愛顧益々厚く米國式洋服高等裁縫商といへば必ず指を栗岡の二字に屈するに至る之れ店主の業務に忠實あるの致す所豈に偶然ならんや。



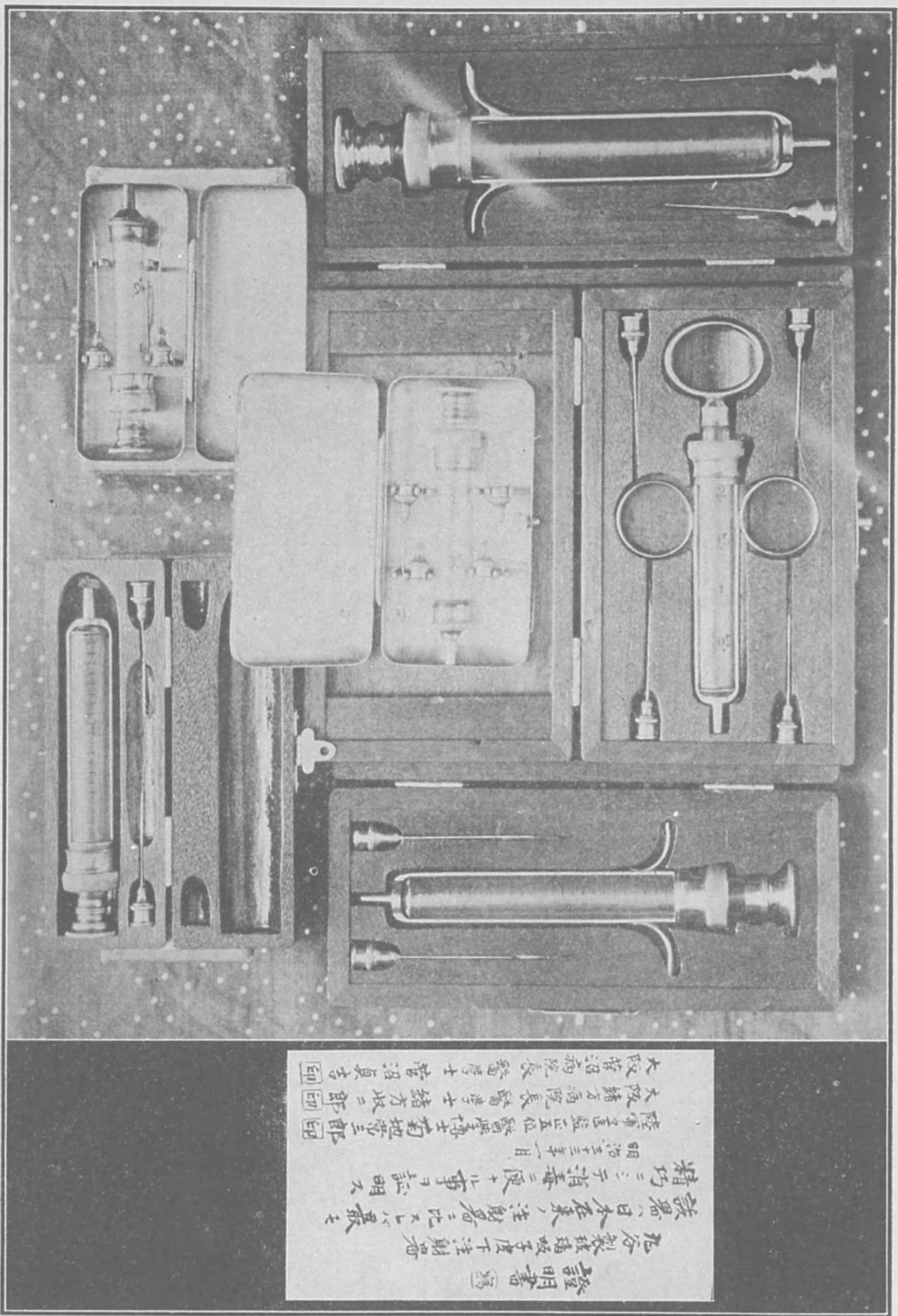
THE TAILOR KURIOKA M

Kyōmachi-bori Nichō
Telephone

This is the oldest tailoring house proprietor, Mr. Kurioka Jitarō is an expert in the business of American style.

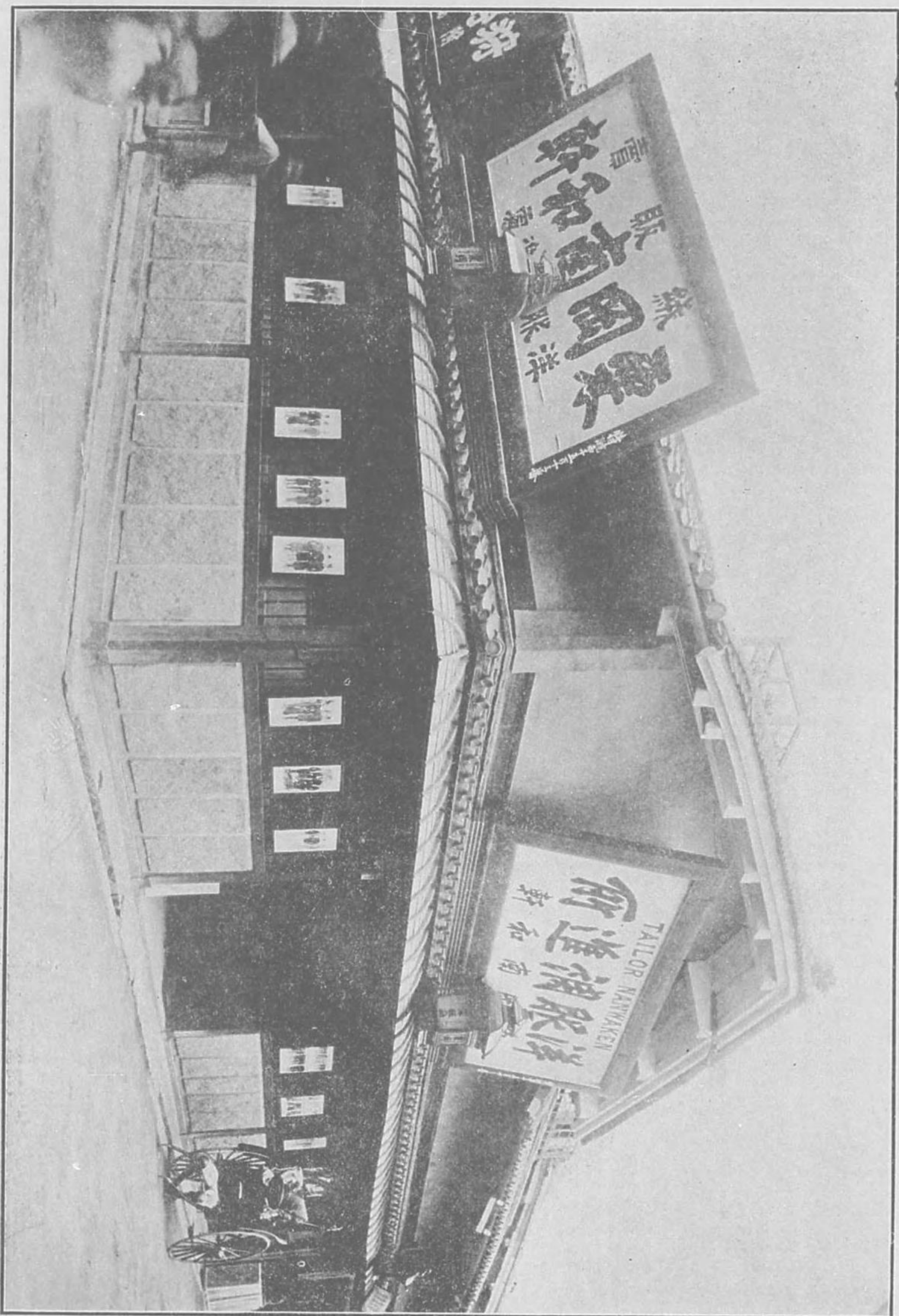
He was rewarded silver medal at the National Exhibition meeting for National Exhibition held in 1903 and several class silver medal in May 1904. His reputation is given as to new fashion, price and America, this house is well known to Japanese as well as foreigners.

三十四年四月、東京万国博覧會に出品して進歩賞銀牌を受領せり、其他共進會等に於て有功二等賞銀牌を受くること前後數回に及び、今や貴顯紳士の愛顧益々厚く米國式洋服高等裁縫商といへば必ず指を栗岡の二字に屈するに至る、之れ店主の業務に忠實あるの致す所豈に偶然ならんや。



Marutani, Dealer in Medical Instruments, Osaka.

(阪大) 店機療醫松鶴谷丸



Kurioka, Tailor and Outfitters, Osaka.

(阪大) 店服洋岡栗



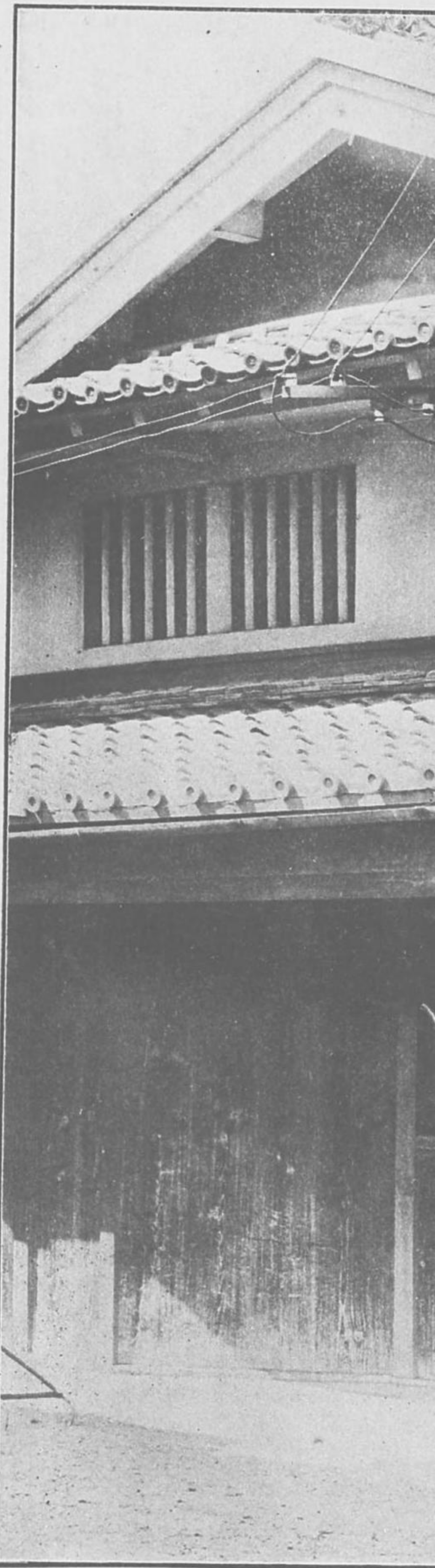
(阪大) 所造製器漆紙堂千百崎黒
Kurozaki Paper Lacquered ware Manufactory, Ōsaka.

紙製漆器商黒崎百千堂

(大阪市東區高麗橋
四丁目井池筋角)

從來紙製漆器と稱するものありと雖も張貫若くは一貫張
等の類にして實用に適するものあり芝川又右衛門氏夙に

之が改良を企圖し多年巨



紙製漆器黒崎百千堂

(大阪市東區高麗橋
四丁目井池筋角)

從來紙製漆器と稱するものありと雖も張貫若くは一貫張等の類にして實用に適するものありと雖も芝川又右衛門氏夙に

KUROSAKI MOMOCHIDO.
Kōraibashi Shichōme, Higashiku, Ōsaka.

Sold agent of Paper-Lacquer-Wares made by Mr. M. Shibakawa's paper-lacquer-ware were of as practical.

At beginning, the use for many years until Mr. Shibakawa wares had many defects and took the matter up and after several years of little practical use. Soon, Mr. Shibakawa experiment and expenses succeed in producing attention was taken in improving the present which to stand wet and dampness.

Gold Medals at the Paris International Exhibition and gold medale at the 35th years of Meiji Nathional Lacquer-Ware Exhibition, was on him.

All descriptions of lacquer ware are obtainable in this store.

之が改良を企圖し多年巨額の資を投じ刻苦經營の結果始めて善良なる紙製漆器を製作するに至れり、該品は能く水濕と乾燥とに耐え破損剝脱の憂なく堅牢にして高尚優美に美術工藝品中優に一頭地を現すものあり、先に佛國世界博覽會に出品して歐米人士の賞賛を博し、今又日本全國漆器共進會に於て共に名譽の金牌を受領せり、黒崎百千堂は實に之が專賣の本舗にして今同店製作品の重なるものを擧ぐれば左の如く

- 一 紅葉蒔繪丸盆
- 一 菓子器
- 一 茶盆
- 一 煙草盆
- 一 會席膳
- 一 吸物膳
- 一 酒宴盆
- 一 杯洗
- 一 給仕盆
- 其他種々あり。



關西コーク株式會社

(大阪市北區堂島濱通四丁目
電話特西二〇八番)

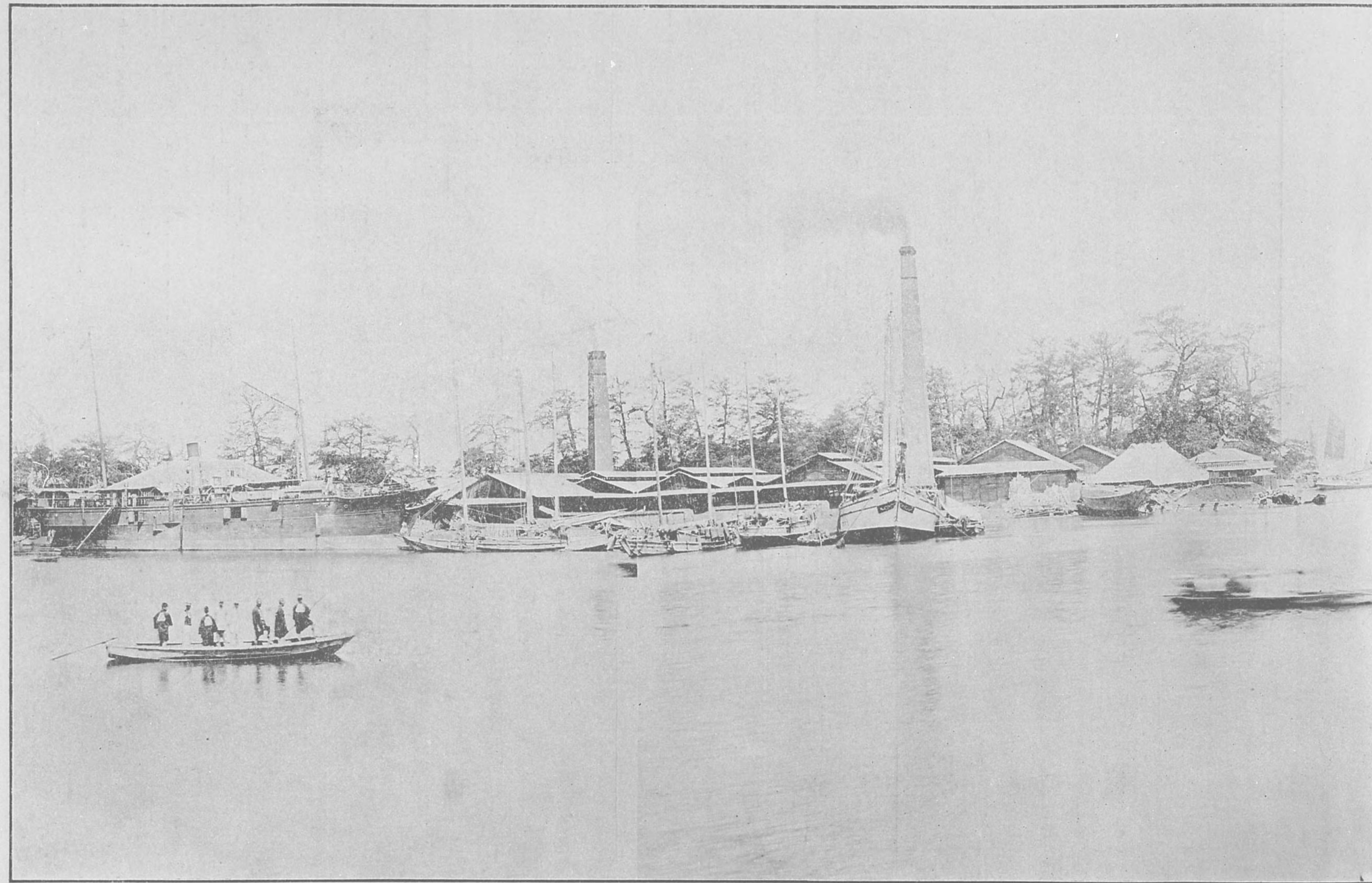
同社は明治十三年岡本辰次郎氏の創立に係り、廿八年迄經營し來りしが、今年十月株式組織をなし、關西コーク株式會社と稱し、着々事業の擴張を計り、原料に充つる爲め、筑前及肥前の兩國に於て炭

Kansai Coak Company.
Dōjima Hamadōri Shichōme,
Kitaku, Ōsaka.
Telephone special No. 208, west.
The company was established by Mr. T. Okamoto in 1879 called Kansai Coak Company. The company has coal mines in Kyūshū island and steamers for the navigation. It is largest in Osaka.

坑數個處を買収して盛に採炭に従事し、汽船及帆船を購入して顧客に對する製品の輸送に便する等、苦心慘憺經營尤も努めり。
今や所有原料石炭礦區壹百萬坪一ヶ年製造高五萬噸に及び斯業界の牛耳を取るに至れり。



坑數個處を買収して盛に採炭に従事し、汽船及帆船を購入して顧客に對する製品の輸送に便する等、苦心慘憺經營尤も努めり。
今や所有原料石炭礦區壹百萬坪一ヶ年製造高五萬噸に及び斯業界の牛耳を取るに至れり。



(阪大) 社會式株スケーコ西關
Kwansai Cokes Company, Ōsaka.

小西氏は累世外國藥品の

藥種問屋
洋酒問屋

小西儀助

大阪東區道修町二丁目
電話特東八拾五番
電話東貳百貳拾壹番



(阪大) 店賣販酒洋及種藥助儀西小

G. Konishi, Medicin and Wines, spirits Whobsaller, Ōsaka.



藥種問屋
洋酒問屋

小西儀助

大阪東區道修町二丁目
電話東貳百貳拾壹番

小西氏は累世外國藥品の輸入を以て業と爲す、主としてアルコール及び職工用、製造用の原料藥品を直輸入し、弘く内國各地に販賣せり、其の外國との取引は累世連綿たるを以て信用殊に確實あり、内國にて輸入藥品を販賣する商店は重もに本店に其供給を仰ぐを以て常と爲す。

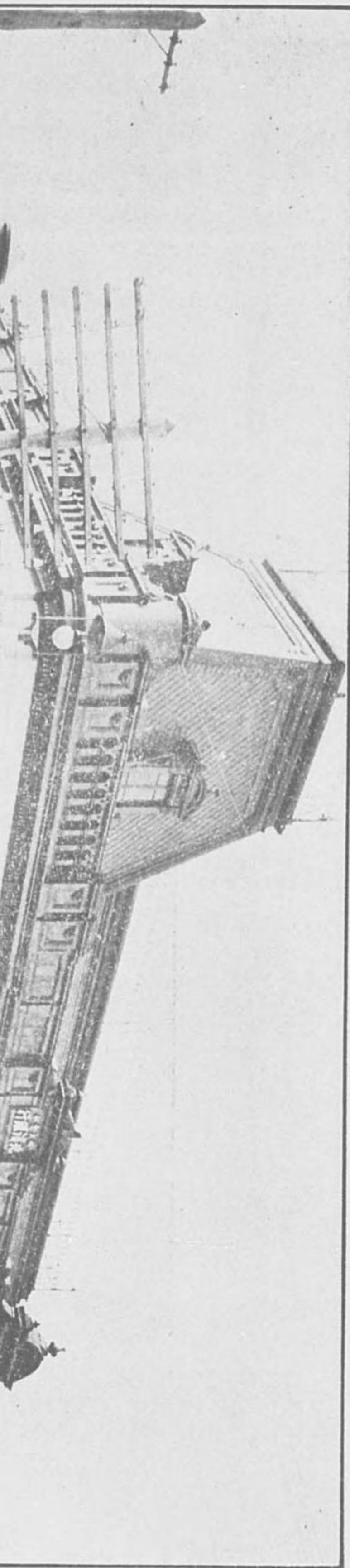
洋酒も亦大阪市中他に率先して直輸入を企てたるものにして、各種洋酒及びコンデンスミルク等の直輸入をかせり、就中赤門葡萄酒及び牛首印葡萄酒の如きは米國カリフォルニアより直輸入するものにして、其品質純良芳香佳美最も衛生家の飲料に適し、國の公私立病院及び陸海軍の需用年々歳々其額を増加し、目下全國に販賣する高は非常なる巨額に上れり、其他各洋酒、食料品等網羅残すなく其商勢旺隆を極むと云ふべし。

G. Konishi, Medicin, Wines and Spirits Wholesaler.

Doshōmachi Nichōme, Higashiku, Ōsaka.

Telephone No. 221, & special No. 15, east.

Mr. G. Konishi is oldest importer in Ōsaka, principal articles of his import are Archol and materials medical of factory's using. Many other store are calling their articles to him, also he was first importer of Wines, Sprits and Condensed Milk. Most famous Akamon and Ushikubi wines are imported directly from Carefolnia, United states America. He is contractor under the public and private hospital and naval and army department.



Tanatsugu Sewing Machine Store.

No. 35, Edobori Kamidōri Nichōme,
Nishiku, Osaka.

A perfect and cheap sewing machine is very few in Japan. The proprietor, Mr. Tanatsugu Tatsukichi, has invented several sewing machines as result of many year's experience amongst them, the patented machine is strong in construction and light in weight as well as beautiful in appearance. Its principal parts are most carefully made, so that it is easy to be worked by girls of 11 or 12 years old, and the price is very cheap.

The store sells any kind of knite works, shirts, gloves, neck-ties, handkerchiefs and all other manufactures of that patented sewing machines. They are exported to China, Corea, etc. besides home use.

現時百般事業の勃興に伴はれ斬新巧妙なる諸機械の發明せらるゝもの洵に多し殊に縫綴機械の製出の如きは其數頗る多きも獨り縫綴に要する機に至りては寧として其名を聞く慚し偶々是有りとすも構造粗大にして子女の使用に適せざるのみならず價格不廉にして一般同業者の意を充たす能はず實に斯業界の一大恨事なりとす柵次辰吉氏夙に見る處あり多年辛酸考慮の結果種々なる縫綴機械を發明せり就中特許縫綴機械の如きは既に其筋の特許を得たるものにして今其機械を一覽するに構造輕小堅牢にして外部の体裁甚だ優美其要所は精巧緻密に製作せられ而かも運轉快速にして變調の憂なく使用法の容易なるは能く妙齡十一二才の子女が尤も愉快に運用し居るを以て知らるべく若し夫れ價格の至廉なるに至ては全種機械の一大欠點を補ひたる新機軸を發明したるものと云ふべし尙全氏は自分發明の種々なる新機械を使用し意匠を凝らして優美と堅牢共に間然すべき處なきメリヤス、シヤツ、手袋及襟飾り、ハンカチーフ等を盛んに製造し内地は素より直接間接に清韓兩國へ多く販賣し頗る好評を博せり。

飾縫機店柵次辰吉

(大阪西區江戸堀上通
三丁目三十五番屋敷)

The Kitahama Bank.

Kitahama Sanchōme, Higashiku, Osaka.
Telephone No. 440, east.

The Kitahama Bank is a largest in Osaka which was established in 1897. with its Capital Yen 3,000,000. and Reserve funds Yen 295,000.

株式北濱銀行

(大阪市東區北濱三丁目
電話東四四〇番)

大阪は古來我國商業の中心地にして今や進んで東洋市場の中心點たらんとす、されば金融機關の設備尤も完成し信用あり確實なる大銀行亦鮮くとせず、北濱銀行の如き即ち其一かり、同行は明治三十年の設立にして資本金參百萬圓は既に拂込を了し、積立金貳拾九萬五千圓を有し、支店を北區堂島及京都市烏丸通、神戸市榮町に設け、盛に業務を擴張し開業日尙淺きにも拘らず、今や有數なる實業機關銀行とされり。

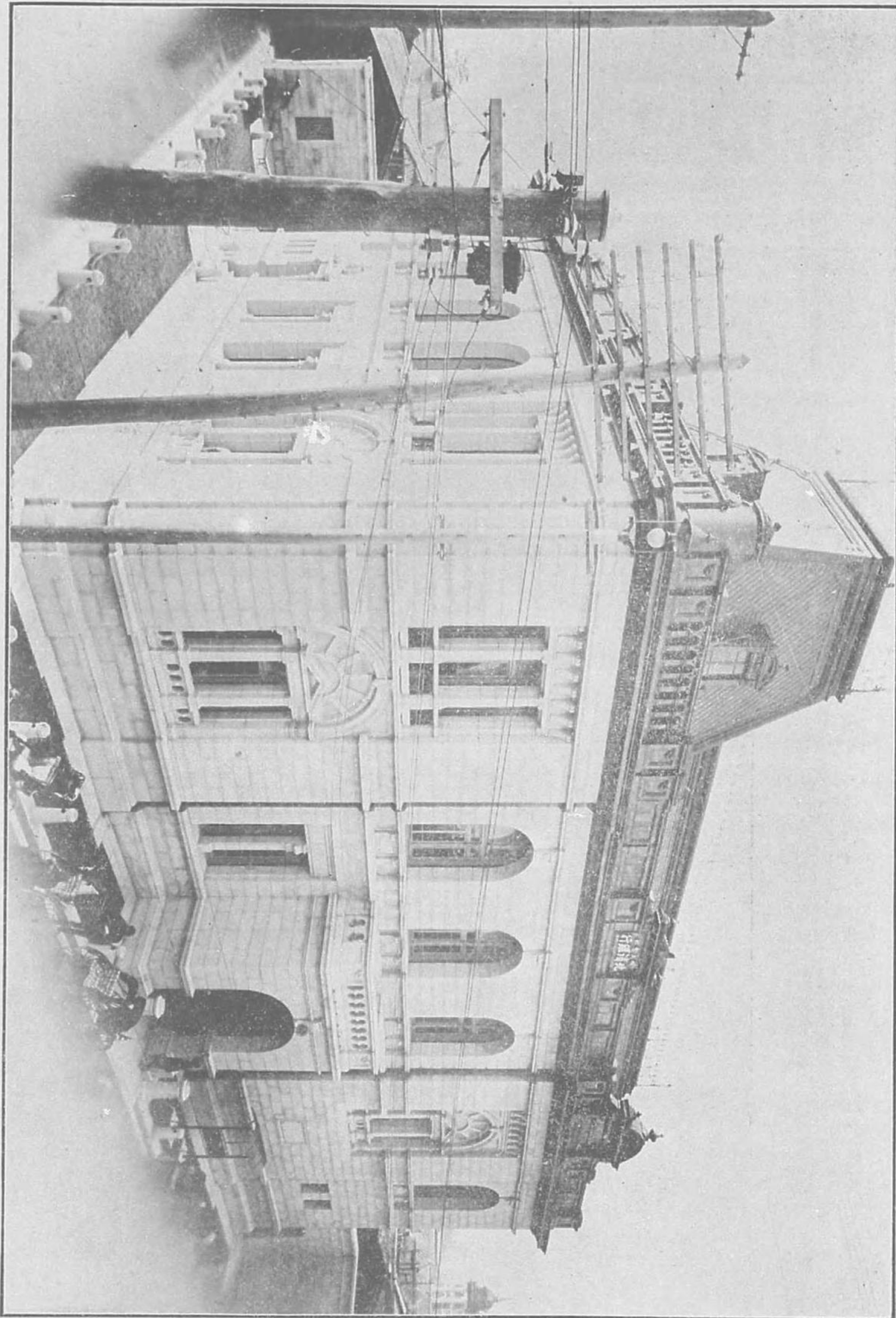
Tanatsugu Sewing M

No. 35, E

A perfect and cheap sewing machine is very
 Tanatsugu Tatsukichi, has invented several sewing
 experience amongst them, the patented machine
 weight as well as beautiful in appearance. Its p
 so that it is easy to be worked by girls of 11 or 12

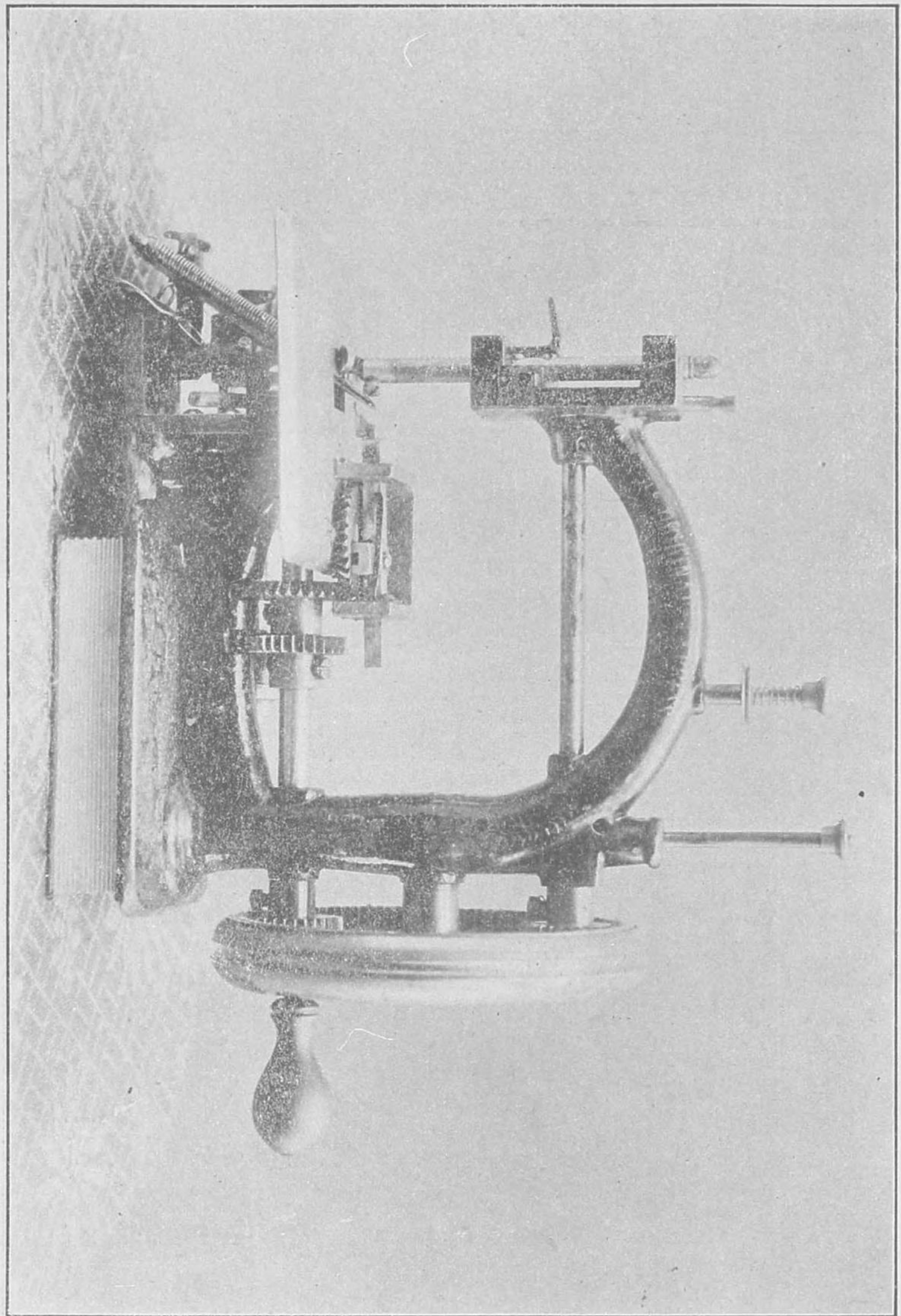
The store sells any kind of knite works, shirt
 all other manufactures of that patented sewing ma
 Corea, etc. besides home use.

氏房に見る處あり多年辛酉考慮の結身種々なる節綴機を
 發明せり就中特許節綴機の如きは既に其筋の特許を得た
 るものにして今其機械を一覽するに構造輕小堅牢にして
 外部の体裁甚た優美其要所は精巧緻密に製作せられ而か
 も運轉快速にして變調の憂なく使用法の容易なるは能く
 妙齡十一二才の子女が尤も愉快に運用し居るを以て知ら
 るべく若し夫れ價格の至廉なるに至ては全種機械の一大
 欠點を補ひたる新機軸を發明したるものと云ふべし尙全
 氏は自分發明の種々なる新機械を使用し意匠を凝らして
 優美と堅牢共に間然すへき處なきメリヤス、シャツ、手袋及
 襟飾り、ハンカチーフ等を盛んに製造し内地は素より直接
 間接に清韓兩國へ多く販賣し頗る好評を博せり。



Kishahama Bank, Osaka.

(阪大) 行銀濱北



Tanatsugu, Knitting Machine Factory, Osaka.

(阪大) 所造製機機スヤリメ次柳

靴靴店林大策

(大阪市北久太郎町四丁目)
電話東二千〇九拾番

氏は淡路の藩士あり、幼にして父を喪ひ阪神の間に流遇して商業を習得し明治二十三年初めて店舗を設け舶來雜貨を販賣せり、二十五年に至り翻然悟る所あり靴靴専門商となり工場を難波に設け自ら顧客と應接し職工を督する等日夜孳々として大に努めたりと雖も如何せん事意の如くからず屢閉店の厄に逢はんとせしも千挫不屈益勇を鼓し、廿九年工場を廢し市内に散在せる職工を使役し獎勵法を設けて事業



(阪大) 所造製靴靴策大林
D. Hayashi, Shoe and Trunk Factory, Ōsaka.



靴鞆商林大策

(大阪市北久太郎町四丁目
電話東二千〇九拾番)

氏は淡路の藩士あり、幼にして父を喪ひ阪神の間に流遇して商業を習得し、明治二十三年初めて店舗を設け舶來雜貨を販賣せり、二十五年に至り翻然悟る所あり靴鞆専門商となり工場を難波に設け自ら顧客と應接し職工を督する等日夜孳々として大に努めたりと雖も如何せん事意の如くならず屢閉店の厄に逢はんとせしも千挫不屈、益勇を鼓し、廿九年工場を廢し市内に散在せる職工を使役し獎勵法を設けて事業の革新を計れり、且氏は誠實を主とし客によりて價を二にし、或は見本と異なる等の事あきを以て是より業務大に振ひ販路日に拓け、今や盛に清國旅順、牛莊、上海、香港、印度、朝鮮、南洋諸島に及び、一年の産額優に貳拾萬圓に上るといふ、特に氏は最も鑑識に長し眼光透徹能く機微を察す、故に職工等に欺瞞せらるゝことかく、染色裁縫等に至る迄一々鑑査するを以て品質の良好なる市内比かといふ、三十三年大阪製産品評會に於て褒狀を、三十四年第五回内國勸業博覽會準備共進會に於て有功賞銅牌を、全年九月京都内國製産共進會に於て有功賞銅牌を、三十五年第二回全國製産品評會に於て有功銀牌を受領せるを視ても其品質精良の證左とすべし。

MR. D. HAYASHI.

Kitakyūtarōmachi Shichōme,
Higashiku, Ōsaka.
Telephone No. 2090, east.

Mr. D. Hayashi is a famous trunk merchant in Osaka. His products are exported to Port-Arthur, Newtuang, Shanghai, Hongkong, India, Corea etc. The annual production is 210,000 Yen. He has received many medals at various exhibitions.

林鞋、皮包鋪

林鞋皮包鋪係林大策君經營專出售鞋皮包等件名馳遠近現運售清國旅順牛莊上海香港印度高麗等各埠以及南洋群島銷路最廣每年出售價銀至洋二十萬元君最長鑑識眼底徹透染色裁縫共自查驗以是物美貨真更無二家在各地方所開博覽會並共進會辱賜賞牌及數種鋪設在大阪市北久太郎町四丁目

新大阪製燧社

(大阪市南區日本橋筋東一丁目
三三四番屋敷電話東六百〇五番)

新大阪製燧社は元大阪製燧株式會社の事業全部を繼承したるものにして該會社は明治七年又木治太郎氏等の起企に因り起業せられ殆んど本邦燧寸製造業の嚆矢とも云ふべく其目的たる實に外國製燧寸の輸入を防禦すると同時に我製品を海外に輸出し以て國力の富強を計り傍ら職なき窮民をして其業に就かしめ以て慈善の一助たらしめんとするに有りき此工業未開の時代に當り苦心經營百難を排し以て今日の盛況を見るに至りしもの社會の發達に伴ふ結果に依るなきにあらざれば云へ畢竟同社製作品の佳良なる此効果を收め得たるものと謂はざるを得ず其博覽會及諸種の品評會より受けたる褒賞枚舉に遑あらずと雖も曩に第三回内國勸業博覽會に於て一等有功賞牌を受け后又第四回内國勸業博覽會に於て進歩一等賞牌を受けし等實に其一例なり今や大阪製燧會社なる名譽ある名は過去に屬せりと雖も其實は永く後身者たる新大阪製燧社に於て事業を繼續し社主松田善七氏は銳意斯業の發達改善を策り聲價隆々本邦輸出燧寸の至る處殆んど同社の名を聞かざるはなし現時製作年額平均百五拾餘萬圓にして其拾數年前の製作年額に比すれば驥足の進歩實に隔世の感なきを得ず其製作する處の品種は安全製黃燧製硫黃製の各種にして目下専ら販路の擴張を圖り原料の精選機械力の應用等總て製品の改良を旨とし以て顧客に酬んとを期するものなり。

New Ōsaka Seisuisha Matce Manufacturing Co.

No. 3244, Nipponbashi-suji Higashi Itchōme,
Minamiku, Ōsaka.
Telephone No. 805, east.

The Company is successor of late Ōsaka Seisuisha Match Manufacturing Co. it was established in 1874. Founded by Mr. J. Matagi and others was as a first in Japan. The company is intending to export and rescue poor people beside of protect of imports of foreign make. Mr. J. Matsuda, founder of the company is very earnest and reformed his business. Produce articles of the company is valued 1,500,000. copecks. Name of articles are called "Safty, Yellow Phosphor, Sulpher" matches.

帝國ブラッシ株式會社

(大阪北區下福島
電話西拾五番)

帝國ブラッシ株式會社は各種ブラッシ製造及び海外直輸出

の專業かり。

明治二十二年の創業にして元と大阪盛業會社と稱し本邦に於けるブラッシ工業の元祖とす爾後斯業の次第に振興し晚近百萬圓に近き輸出を爲すに至り本邦の一大工業として注目せらるゝに至りたるもの皆同社が先導を爲したる力に歸せざるべからず現今同社に於ける一年の産額は三万グロスにして之が製造に従事する職工は二千人に達せりといふ。

Teikoku Blush Manufacturing Stock Co.

Shimofukushima,
Kitaku, Ōsaka.
Telephone No. 15, west.

Teikoku Blush Manufacturing Stock Company is a largest in Ōsaka. It was established in 1889. Annual production of the company is 30,000 gross of the blush. The bluch of the company are exported to Europe and America directly.